

第七十六回 帝國議會院議衆

# 貨家組合法案外一件委員會議錄(速記)第五回

昭和十六年二月十三日（木曜日）午前十時三十五分開議

出周委員方  
如之

委員長 添田敬一 良君

理事野口 喜一君 理事原 玉重君

青木 作雄君  
大内竹之助君  
川崎巳之太郎君

方島 貢司君  
月嶋巳之助貞君

田代 正治君 瀧澤 七郎君

杉山元治郎君  
土屋溝三郎君

三浦 虎雄君

日委員中山福藏君辭任ニ付其ノ補闕トシ  
地本基四郎君ヲ議長ニ於テ選定之リ

出席國務大臣左ノ如シ

**厚生大臣** 金光 **庸夫君**

出席政府委員左文如

厚生省衛生局長 加藤於菟丸君

厚生省社會局長 熊谷憲一君  
厚生書記官 高橋 敏雄君

厚生書記官 中島 賢藏君

日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

貧家綜合法案(政府提出)  
住宅營團法案(政府提出)

醫療保護法案(政府提出)

卷之二

○土屋(清)委員 前ノ委員カラ質問ガアリ、  
政府ノ方カラ御答辯ガアツタカモ知レマセ  
ヌガ、缺席致シテ居リマシタカラ、若シ重  
複ヲ致シテ居リマシタラ、其ノ點ハドウゾ  
簡単ニ御答辯ヲ願ヒマス、其ノ點御許シヲ  
願ヒタイト思ヒマス、第三條ノ「市町村及  
勅令ヲ以テ指定スル者ハ事業者トス」此ノ  
事業者ノ範圍ハ何々デゴザイマスカ

○熊谷政府委員 第三條ノ勅令ヲ以テ指定  
スル者ハ恩賜財團濟生會ノコトデアリマス、  
恩賜財團濟生會ハ、古イ貴イ沿革ヲ持ツテ  
居リマシテ、御承知ノヤウナ非常ニ廣イ仕  
事ヲヤツテ居ルノデアリマス、益、之ヲ根  
幹ト致シマシテ、明治天皇ノ御聖旨ニ副  
フ意味デ、斯ウ云フヤウナ事業者ニ致シタ  
譯デアリマス

○土屋(清)委員 サウ致シマスト救療ハ總  
テ市町村以外ハ濟生會デ統一スルト云フ御  
意思ト承ツテ宜シウゴザイマスカ

○熊谷政府委員 醫療保護法ノ事業者ハ、  
三條カラ五條マデニ指定シテアルノデアリ  
マス、市町村ト濟生會ハ相竝ンデ當然ナル  
醫療保護ノ事業者ト認ムルコトニ致シタノ  
デアリマス、醫療保護法ニ於テ市町村ヲ當  
然ノ事業者ト致シマシタノハ、其ノ市町村  
民ノ醫療ニ付キマシテノ給與ノ事務ハ、市  
町村ノ固有事務デアリマスシ、救護法ニ於  
キマシテモ、市町村ヲ救護事務ノ義務者ト  
致シテ居ルヤウナ沿革ガアリマス、母子保

デアリマス、市町村ト濟生會ヲ以チマシテ  
法律上當然ノ事業者ト、斯ウ云フ風ニ致シ  
タノデアリマス、其ノ外第四條ニ「道府縣及  
主務大臣ノ指定スル者ハ事業者ト爲ルコト  
ヲ得」トアリマシテ、主務大臣ノ指定スル  
者ト云フノハ醫師會、齒科醫師會ヲ申スノ  
デアリマス、道府縣ナリサウ云フ醫師會、  
齒科醫師會ハ若シ醫療保護ヲヤラウトスレ  
バヤツテモ宜シイ、ナルコトヲ得ト云フコ  
トニ致シテ居リマス、第五條ハ其ノ外ノ公  
共團體、或ハ公益法人、或ハ私人デアリマ  
シテ、醫療保護ヲヤラウト致シマス者ハ、  
主務大臣ノ認可ヲ受ケマシテ事業者トナル、  
是等ハ法律上多少ノ程度ノ差ハアリマスガ、  
事業者ト致シマシテ醫療保護ノ普及徹底、  
圓滑ナル運營ヲ圖リタイ、サウ云フ風ニ考  
ヘテ居リマス

ムモノデアリマシテ、第一種「カード」階級ト申スノハ、其ノ日／＼ノ生活ノ出來ナ  
生活不能者ヲ言フノデアルマス、第二種「カ  
ード」階級ト言ヒマスノハ、何トカ其ノ日  
其ノ日食フコトハ出來ルケレドモ、病氣ニナ  
ルト直グ困ルト云フ者ヲ指スノデアリマス、  
第一種「カード」階級ニ付キマシテハ、全然  
醫療費ヲ一錢モ負擔セシメズシテ、醫療ヲ  
受ケサセルヤウニ致シタイ、第二種「カ  
ード」階級ニ付キマシテハ、多少ノ餘力ガア  
リマスシ、又濫救等ニ流レナイ爲ニ、多少  
ノ費用ヲ一部負擔サセマシテ醫療ヲ受ケサ  
セヨウ、斯ウ云フヤウナ積リデアリマス  
○土屋(清)委員 其ノ所謂第一種「カード」  
階級、第二種「カード」階級トモ、全部此ノ  
法律デ保護スル見込ミデアリマスカ  
○熊谷政府委員 原則ト致シマシテ、此ノ  
法律ヲ以テ醫療保護ヲヤリタイト考ヘテ居  
リマス、併シナガラ御承知ノヤウニ、此ノ  
法律ニモ書イテアリマスガ、特別ニ救貧法  
ト云フ譯デハアリマセヌケレドモ、或ハ結  
核豫防法モアリ、精神病豫防法モアリ、「ト  
ラホーム」豫防法モアリ、癪豫防法モアル、  
其ノ他社會保險ノ被保險者デ、醫療ヲ受ケ  
ラレル者モアリマセウシ、サウ云フモノニ  
依ツテ醫療ヲ受ケラレル方法ガアリマスモ  
ノニ付キマシテハ、本法ノ救濟ハ之ヲ差控  
ヘタイト考ヘテ居リマス、尙ホ第五條ノ事  
業者ノ中デ、先程申上ゲマシタヤウニ、公  
益法人或ハ私人ガ醫療保護事業ノ事業者ニ

---

Digitized by srujanika@gmail.com

貸家組合法案（政府提出）（第三七  
號）  
住宅營團法案（政府提出）（第三八  
號）  
醫療保護法案（政府提出）（第三九  
號）

ナルノデアリマシテ、此ノ醫療保護法デ事業ト言ヒマスノハ、第二條ニアリマスヤウニ、醫療券ヲ發行シテ、醫療又ハ助産ヲナスモノデアリマスガ、其ノ他醫療券ヲ發行セズシテ、任意ニ來タ者ハ診テヤラウト云フヤウナ方法デ、診ル者モアラウカト思フノデアリマス、大體ニ於キマシテハ本法ニ依リマシテ救濟ヲ致スノデアリマスガ、サウ云フ特別ナ方法ニ依ツテ救濟サレルコトモ、相當アラウカト考ヘテ居リマス。○土屋(清)委員 サウ致シマスルト、今マデ開業醫ガ任意ニヤツテ居ル施療ニ付テハ、ドウ云フコトニナリマスカ

○熊谷政府委員 開業醫ノ方デ、醫療保護ヲ任意ニヤツティラツシヤル方ハ相當アルノデアリマス、若シ本法ノ各條項ヲ讀マレマシテ、本法ニ依ル醫療救濟ヲヤリタイト云フ方ハ、第五條ニ依リマシテ主務大臣ノ認可ヲ受ケ、其ノ範圍ニ基イテオヤリニナツテモ差支ヘアリマセヌシ、又醫療券ヲ出シテヤルヤウナコトハ自分ハシタクナイ、其ノ他ノ方法デヤリタイト云フ開業醫ノ方デアリマスレバ、其ノ他ノ方法ニ依ツテ戴イテ、決シテ差支ヘナイノデアリマス○土屋(清)委員 ソコデ私醫療ニ付テノ政府ノ御方針ヲ承リタインデアリマス、私ハ議員生活ヲ致シマシテ以來、初メカラノ希望ハ別ニ政治上ノ大キナ野心ヲ持ツテ居ル譯デモ何デモナイ、自分ノ體驗カラシテ、同ジ日本國民デアルナラバ、貧乏デ食ヘナイヤウナ者ガナク、病氣デ醫療ヲ受ケラレニ者ノナイヤウニシタイト云フノガ自分ノ念願デアリマシタ、隨テ貧乏ト醫療ノ問題ハ始終私ノ頭カラ離レナイ問題デアリマス、此ノ醫療ヲ國民ニ普クスルト云フコトニ付

答申ニナリマシタ問題ハ、今マデ醫療ト云フモノハ、所謂開業醫制度ヲ原則トシテ、開業醫ニヤラスコトニナツテ居タノデアルガト云フモノハ開業醫制度デハイカヌノダ、醫療開業醫制度ト云フモノハ營利的モノデアルカラ、公營ニシナケレバイカヌ、行クノハ國營ニスベキモノデアルト云フ見地カラハ出發シテ、其處ニ到達スルマテノ間、醫療ヲ從來ノ開業醫制度ノ外ニ、地方ニ於テハ府縣營、大都市ニ於テハ市營、當分此ノ二本建デ行ツテ、終ヒニハ之ヲ國ノ經營ニ移ス、斯ウ云フ趣旨デアノ案ガ立テラレマシタ、サウシテ文字ニ多少ノ置換ヘハアリマシタ云フコトヲ考へマスト、容易ニ贊成ガ出来兼ネルト思ヒマス、今救療問題ヲ見マシテモ、此ノ法律、此ノ制度デ現在困ツテ居ト云フヤウナコトハシナイ、段々世ノ中ガル階級ガ救ハレルカト云フト、私ハヤハリ一部ダケデハナイカト思フ、開業醫ハ昔カラノ習慣デ、金ヲ持ツテ來ナイカラ診ナイト云フヤウナコトハシナイ、セチ辛クナツテ、サウ云フ醫者モ出來テ参リマシタケレドモ、醫者ト云フ氣持カラ言ヒマスト、ヤハリ金ノアル者カラ呼バレバ喜ンデ行ク半面ニ、又實際困ツテ居ル者ツテ禮ノ言葉ヲ受ケル愉快ハ、金持カラ餘計拂ハレタノト、氣持ニ於テ差ガアリマセル、緒方洪庵ガ「オランダ」ノ「フェヒラン

レナイ、斯ウ云フ風ニショウト云フ案ノ趣旨ト、私ハ承ツタノデアリマス、サウシマスト今マデ開業醫ト云フモノハ、金ノアル者カラ餘計取ルコトガ出來タ、コチラカラ報酬制度ヲ只今申シタヤウニシテ行キマスト、今マデ良心的ニ困ル者ニヤツテ居ツタ施療ト云フモノハ、段々出來ナクナル、是ハ醫者ノ方デアリマスガ、患者ノ方カラ見マスト、三井、三菱ノ主人モ裏店ノ労働者モ、同ジ報酬デ治療ヲ受ケルコトニナル、三井ノ方カラ餘計持ツテ行ケバ——收賄罪ニハナラナイデアリマセウケレドモ、規定デハ出來ナクナル、ソレカラ貧乏人ノ方デモ、セヌケレドモ、ヤハリ其ノ規定ダケハ拂ハナケレバナラヌノデアリマスカラ、結局下ノ方ノ階級ノ者ハ、富メル者ノ階級ト同ジ負擔ヲスルコトニナリ、社會的ニ非常ニ惡イ結果ヲ來スノデハナイカ、即チ醫藥制度調査會ノ答申ノ通りニヤラレルト、世ノ由ニ非常ニ惡イ氣持ヲ起ス、斯ウ云フ風ニ者ヘル、一面ニ今マデノ開業醫ノ施療ト云フモノガ出來ナクナル、無論醫藥制度調査會ノデア云フ案ヲ立テラレタ當局者ハ、主トシテ「ドイツ」等ニ於ケル醫療報酬規定等ヲ基準ニシテ立案サレタヤウデアリマス、レドモ、「ドイツ」ニ於キマシテモ、醫療報酬規定ト云フモノハ、アレハ訴訟等ノ起ツタ場合ニ、裁判所ニ於テ判決ノ標準ニナルノデアツテ、決シテソレヲ以テ總テノ醫師ノ受クル報酬、總テノ人ノ醫師ニ支拂フ報酬ヲ拘束シタモノデハナイ、サウ云フ報酬

者カラハ眼ノ玉ノ飛ビ出ルヤウナ報酬ヲ請  
求スル、現ニ日本カラ向フニ行ツテ居ツタ  
人ノ話ヲ聽キマシテモ、「ドイツ」ノ醫者ニ  
掛カルニハ、掛カル前ニ先ヅ駆引デ報酬ヲ  
決メテヤラナイト、ウツカリ治療ヲ受ケラ  
レナイ、斯ウ言ツテ居ルノデアツチ、向フ  
デハ標準ニナツチテ居ル、所ガ醫藥制度調査  
會ニ於テハ、之ヲ強制スル目的ヲ以テ、ア  
ア云フ答申ヲサレテ居ル、若シアレガ行ハ  
レルト云フコトニナルト、今マデ施療ヲヤ  
ツテ居ツタ醫者モ、經濟上ヤレナクナルシ、  
醫者ガ普通ノ商賣ト同ジヤウニ、物品賣買  
ノ商人化シテシマフ、斯様ニナルト今マデ  
開業醫ガ、乏シイ中カラモ貧シイ者ノ爲ニ  
ハ進ンデ、或ハ向フノ話ヲ聽イテ施療ヲヤ  
ツテ居ツタト云フコトガ出來ナクナルノデ  
ハナイカ、而モ此ノ保護法ガ制定サレマシ  
テ、何處マデヤレルカ知レマセヌケレドモ、  
現在我が國ニ於テ救療ヲ要スル國民ノ數ハ、  
大體四百五十万カラ五百万ノ推定ト聽イテ  
居リマスガ、其ノ中ニ政府ノ色々々ノ施設、  
公ノ色々々ナ施設、或ハ救療事業、社會事業  
ヲヤツチ居ルモノノ諸施設デ救ハレテ居ル  
者ハ、約其ノ三分ノ一ノ百五十万位シカナイ  
ト云フ、アトノ三百万ト云フモノハ、大體  
昔カラノ習慣ガ其ノ儘殘ツテ、開業醫ニ依  
ツテヤツチ居ルト云フコトデアリマスガ、  
其ノ三百萬ノ人ヲ此ノ保護法デヤツチ行ケ  
ルカト云フト、中々私ハ難シイト思フ、ソ  
レカラ患者ノ方カラ見マジテモ、ヤハリ自  
分ノ信賴スル、自分ニ同情シテ吳レル者ノ  
アリマス、ソコデ問題ニナリマスノハ、今マ

公營ニ移シテ行ク、地方ニ於テハ縣立ノ診療所、綜合病院ガ、所謂無醫村對策デ、町村民ノ大部分ノ治療ヲヤツテ行クト云フコトニナル、都會ニ於テハ無醫階級救濟ノ名ニ於テ、市ノ診療所或ハ綜合病院デヤツテ行クト云フコトニナリマスト、今マデノ開業醫ガ救療シテ居ツタ形ハ、段々御役所的ニナツテ行クノデハナイカ、斯ウ考ヘマスガ、此ノ點ドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居リマスカ、長イコトヲ申シマシテ、或ハ御諒解ニ困難カモ知レマセヌガ、簡單ニ申シマスト、一ツハ醫藥制度調査會ニ於テ答申サレタ報酬公定ニ關スル規定ヲ、其ノ儘將來御採用ニナツテ行ク御考ヘデアルカドウカ、今度ノ議會ニ出マセヌカラ其ノ點ヲ一ツ伺ヒタイ、ソレカラ今一ツハ日本ノ醫療ト云フモノヲ、將來開業醫カラ公營ニシテ行ク考ヘデアルカ、經濟政策ノ方カラ行キマシテモ、段々民營ノモノヲ公營ニシテ行クト云フ考ヘヲ持ツテ居ル者ハ、世ノ中ニ相當アルガ、民間カラハ企業ト云フモノハ何處マデモ民營ニシテ、政府ハ政府ノ方針ニ依ツテ之ヲ指導監督シ、民間ノ企業者ヲ鼓舞激励シテ、國策ニ沿フヤウニヤツテ行クト云F意見ガ、民間カラ出テ居ルト同じヤウニ醫者ノ間カラモ、ヤハリサウ云フコトヲ希望シテ居ルノデアリマスガ、醫藥制度調査會ノ方デハ、開業醫制度ヲ段々止メテ行ツテ、公營ニシテ行キ、行ク／＼ハ之ヲ國營ニシテ行ク、斯ウ云フコトニナツテ居ルガ、其ノ通リデアルカ、或ハ開業醫制度ヲ依然尊重シテ、從來ノ政府ノ方針ノ如ク、開業醫制度ヲ根幹トシテ行クト云フノデアルカ、此ノニツノ點ヲ伺ヒタイト思フ

本ノ醫療制度ト云フモノハ、開業醫制度ト言ヒマスカ、開業醫ト云フモノニ依ツテ行ハレテ來タノデアリマス、所ガ此ノ開業醫ノ制度ト云フモノハ、自由ニヤレルト云フコトノ結果トシテ、醫師ノ非常ナ偏在ト云フモノガ生ジテ來タト云フコトハ、土屋君ノ能ク御承知ノ通リデアリマシテ、益、醫者ノ數ガ殖エルノニ、無醫村ノ數ト云フモノハ一層甚ダシクナリ、今日ニ於テハ三千六百位ノ無醫村ガアルト云フヤウナ狀態ニアリマシテ、之ヲ唯從來ノヤウニ開業シタイ者ハ、何處ヘデモ行ツテ開業スペシ、サウシテ日本ノ醫療組織ハ、ソレニ任シテ置クノダト云フコトデハ、國民ニ對スル醫療ノ普及徹底ト云フコトハ、期シ難イト云フコトヲ以チマシテ、無醫村ノ對策ニ對シテハ、大體公營ノ行キ方ヲスルト云フコトニ相成ツタノデアリマシテ、今御話ノ醫藥制度調査會ニ於テ、色々議論ヲサレル過程ニ於テハ、恐ラク色々ナ議論ガアツタラウト思ヒマスガ、醫藥制度調査會ノ答申トシテ出テ居リマス結論ニ於テハ、畢竟從來ノ開業醫制度ト云フモノハ、其ノ儘之ヲ存置シテ行ク、而シテ其ノ開業醫制度ヲ以テシテハ、醫療ノ普及ヲ期シ難イト云フ部面ニ對シテハ、是ハ開業醫ノ自由ニ任シテ置イタ所ガ、之ヲ満足スルコトハ出來ナイ分野ナンデアリマスカラ、之ニ對シテ公營ノ醫療組織ヲツタヤウナ答申ガ出テ居ル、又此ノ行キ方ガ現在ノ所適當ナンデハナイカ、斯様ニ私共考ヘルノデアリマス、モウ一つハ近來ノ國家經濟ト云ヒマスカ、社會經濟ノ影響ニ因リマシテ、段々醫療ヲ受ケ得ラレナイ、

云フ階級ガ殖エテ來テ居ル、而シテ産業、經濟、社會生活ノ色々ノ影響カラ、病氣ト云モノガ非常ニ殖エル、是ガ又延イテ貧ヲ人ヲ製造スルト云フヤウナ次第デ、斯ウ云フ者ニ對シテ醫療ノ手ヲ差シ仲ベルト云コトハ、國民保健ノ見地カラ致シマシテモ、或ハ國民生活ノ安定ヲ期スルト云フ上カラ致シマシテモ、絕對ニ必要ナコトデアルト云フコトカラ致シテ、社會保險ノ制度ト云フヤウナモノガ設ケラレテ居ルノデアリマスガ

題ニ付キマシテハ、醫藥制度調査會デヘ、  
藥價令ヲ定メロト云フコトガ、答申ニ一應  
ナツテ居リマスガ、マダ他ノ特別委員會ノ  
審議モ濟ンデ居ラナイト云フ譯デアリマシ  
テ、特ニ或ル定メラレタ藥價ト云フヤウナ  
モノガ、答申ニナツテ居ル譯デハゴザイマ  
セヌ、隨テ藥價令ト云フモノヲ、ドウ云フ  
風ニ取扱フカ、其ノ中味ヲドウスルカト云  
フヤウナコトハ、是カラノ研究ノ問題デア  
リマスガ、併シ大體カラ申セバ、藥價ト云  
フモノガ相手次第デ決メラレルダト云フ  
コトデアリマシテハ、

〔原(玉)委員長代理退席、委員長着席〕

果シテ自分ガ一體ドレダケノ藥價ヲ取ラレ  
ルモノカ、ドレ位ノ醫療費ガ掛カルモノカ、  
醫者ニ掛カツテ差支ナイモノカドウカト云  
フ不安ハ、依然トシテ殘ル譯デアリマシテ  
ヤハリ一定ノ基準ト云フモノヲ定メルト云  
フコトハ、是ハ必要デハナイカト私共考ヘ  
ルノデアリマス、其ノ決メ方ヲドウ云フ風  
ニスルカト云フコトハ、是カラ十分ニ検討  
ヲシナケレバナラヌコトデアリマスガ、畢  
トハ、是ハ已ムヲ得ナイ所デアリマシテ、  
モ餘リ支障ナク取レルヤウニ、掛カル人ニ  
ハ餘リ苦痛ヲ與ヘナイヤウニト云フ程度ヲ  
考ヘマシテ、決メテ行クコト思フノデア  
リマスガ、ソレニ致シマシテモ、到底之ヲ  
以テ醫療ヲ受ケ得ナイト云フ者ガ出來ルコ  
トハ、是ハ已ムヲ得ナイ所デアリマシテ、  
サウ云フ方面ニ對シテハ、醫療保護ノ制度  
ヲ以テ之ヲ補ツテ行く、斯ウ云フコトニ相  
成ルコトト考ヘテ居リマス

シテ居ルノデス、藥價ハ薬ダケ、診察、手術、  
併シ此處ニモ矛盾ガアツテ、田舎デハ從來  
ノ通リト云フコトニナツテ居リマス、ソレ  
ハ絡ガラカルカラ其ノ邊ニシマシテ、私ノ  
申上ゲルノハ、醫師ニ對スル診療報酬ノ標  
準ヲ決メルコトハ、結構ダト思ヒマス、裁  
判ノヤウナ特別ノ場合バカリデナク、一般  
ノ庶民大衆ガ醫療ヲ受ケルノニ、一體ドレ  
位拂ハナケレバナラヌカト云フコトヲ、一々  
心配シテ行クト云フコトハ困ルコトデア  
リマスカラ、標準ヲ決メルト云フコトハ、  
私ハ結構ダト思ヒマスガ、私共醫藥制度調  
査會ノ、此ノ問題ニ對スル不満ハ、富豪力  
ヲ餘計支拂ハセルコトガ何ガ惡イカト云フ  
コトナンデス、醫藥制度調査會當時ニ於ケ  
ル幹事ノ説明ニ依リマスレバ、ソレ以上取  
ラセナイ、ソレ以上取ルナラバ此ノ規定ハ  
何モナラヌト云フ、是デヘ所謂公定相場デ、  
ソレ以上ハ取ラセナイ、其處ニ非常ナ大キ  
ナ問題ガアル、世界中何處ノ國デモ、醫者  
ノ報酬ヲサウ云フ風ニ強制シテ、ソレ以上金  
持カラ取ラセナイト云フコトヲヤツテ居ル國  
ハナイ、御承知ノ通り「イギリス」ニモ共產  
主義ガ、ドン～入ツテ來タガ、彼處デソレ  
ガ蔓延シナインハ何處デアルカト云フコトヲ  
段々聞イテ見マシタ所ガ、「イギリス」ノ富豪  
ト云フモノハ、自分等ガ今日ノ富ヲ蓄積シタノ  
人々ノ爲ニ十分ナ酬ヒヲスル所ノ義務ガアル  
ト云フ考へカラ主トシテ困ツテ居ル階級ノ人デ  
病氣ニナツタ場合ニ施療ヲ受ケラレルヤウ  
ニ、彼等ハドン～租稅以外ニ自分等ノ名  
譽税、社會稅トシテ救療ノ費用ヲ毎年豫算

ヲ組ンデ寄附ヲシテ居ル、サウンシテ立派ナ  
病院ヲ經營サセル、寄附ヲシタ所ノ富者ハ  
決シテ其處デ治療ヲ受ケナイ、自分ガ病氣  
ニナツタ時ハ、掛リ付ケノ開業醫ニ治療ヲ  
受ケル、ソシテ其處ニウント報酬ヲ拂フ、  
ソレデアリマスカラ貧民ハ病氣ニナツタ場  
合ニハ、富豪ノ寄附ニナル完全ナ設備ノ病  
院デ安心シテ治療ヲ受ケルコトガ出來ルシ、  
又開業醫ガ富者ヲ治療シタ場合ハ、ウント  
報酬ヲ受ケルノデ、困ツテ居ル階級ニハ自  
分デ進ンデ治療ヲシテヤルコトガ出來ル、  
是ハ「イギリス」デモ、「アメリカ」デモ、「フ  
ランス」デモ、「ドイツ」デモ同様デアル、  
「アメリカ」ナドデモアノ拜金宗ノ國デアリ  
ナガラ、醫者ハ困ツテ居ル者ニハ隨分安ク  
ヤツテ居ル、其ノ代リ金持カラハウント取  
ル、先年「フォード」ノ息子ガ指ヲ自動車デ  
ドウトカシテ一寸傷ヌタノデ、或ル病院デ  
簡單ナ處置ヲシテ貰ツタ、後デ祕書ガ其ノ  
謝禮ヲ聽イタ所ガ二万「ドル」ヲ要求シタ、  
ソコデソレハ高イデヤナイカト反問シタ所  
ガ、「フォード」ノ子息ナラ是レ位ハ當然ダ  
ト言ツタ、又日本カラ「シカゴ」ノ大學ヘ行  
ツテ居ツタ學生ガ盲腸炎デ治療ヲ受ケタ時  
ニ、君ノ家ハ資産家カドウカト聽イタ、資  
産家ダト答ヘタラ一万「ドル」ト言フ、ソコ  
デ私ガ資産家ダト言フノハ、日本ノ田舎ノ  
資産家デアツテ、此處デ學ブニハ差支ヘナ  
イケレドモ、今手術ヲ受ケテ一万「ドル」モ  
レデヤ只ニシテヤラウト云フコトデアツタ、  
其ノ氣持ハ一體「アメリカ」ノ醫者ニハ理由  
ガアル、是ハナゼカト言ヘバ、富豪ハウント  
拂フノデアル、富豪階級デ醫者ニ十分ナ支

イ、サウ云フヤウニ金持ガウント取ラレル  
労働階級、貧シイ階級ノ爲ニドンヽサウ  
云フ寄附ヲスルカラ、貧シイ者ト富メル者  
トノ間ニ、自ラ心ニ融和ガ出来テ來ルノデ  
アル、所ガ日本ニモ昔カラソレガアツタノ  
ヲ、今度ノ醫藥制度調査會デハ、ソレニ一  
ツノ基準ヲ拘ヘテ、ソレヲ強制シヨウト云  
フ所ニ私共ノ非常ナ心配ガアリ、又反對セ  
ザルヲ得ナイ所ガアル、先年「ヨーロッハ」  
戰爭ノ後デアリマシタカ、病院ノ報酬問題  
ガ起リマシタ時ニ「ニユーヨーク」ノ或ル新  
聞ガソレニ付テ面白イ批評ヲシテ居ル、醫  
者ト宗教家ト云フモノハ全ク社會奉仕ノ事  
業デアルカラ、社會ハサウ云フ者ノ生活ヲ  
困ラナイヤウニシテヤナラケレバナラナイ、  
所ガ世ノ中ガマダ其處マデ進ンデ居ナイカ  
ラ、醫者ハ宜シク義賊ノ氣持ニナツテ、金  
持カラウント取ツテ、困ル者ノ爲ニヤツテ  
ヤルノガ當然デアルト批評シテ居ル、洵ニ  
面白い批評ダト私ハ思フ、サウ云フ意味デ  
「アメリカ」アタリノ醫學雜誌ヲ見マシテモ、  
未亡人ガ死ンデ是ダケノ遺産ヲ病院ニ寄附  
シタ、或ル富豪ガ自分ノ業ヲ仕遂ガタ爲ニ、  
是ダケノ金ヲ病院ニ寄附シタカ、金持ガ  
救療ノ爲ニ寄附ヲシテ居ルノヲ毎週或ハ隔  
週位ニ見ル、此ノ状態ヲ日本ノ現状ト比ベ  
マスト、日本ノ金持トハ餘程考ヘガ違ツテ  
居ル、三井病院ナドハサウデナインデアリ  
マスケレドモ、三井ノ富カラ見ルトアンナ  
モノハ何デモナイ、大阪アタリニハ割合感  
心ナ人ガ居リマスガ、數ニ於テハ寥々タル

モノデアル、斯ウ云フ場合ニハ寧ロ救療ノ  
カラ進ンデ寄附サセルヤウニスルコトガ必  
要デアツテ、又開業醫ニ對シテハ醫ハ仁術  
ナリト云フ精神ヲ鼓舞シテ、彼等ヲシテ進  
ンデ困ル者ノ爲ニハ、自分等カラドンヽ  
ヤラスヤウニスルコトガ必要デハナイカ、  
往年 明治天皇ガ其ノ點ヲ非常ニ御心配ニ  
ナラレテ、苟クモ國內ニ於テ病ンデ醫ヲ受ク  
ルコトガ出來ナイ者ガアツテハナラナイト  
云フノデ、御内帑金ヲ多額ニ賜ヘツテ恩賜財團  
濟生會ト云フモノモ出來マシタガ、アノ當  
時富豪ハ政府ノ方カラ要望サレテ、相當出シ  
マシタガ、中ニハ約束ノ年賦金モ支拂ハズ  
ニ終ツタ者モアツタヤウニ私ハ聞キマシタ、  
其ノ後段々濟生會ハ資金ガ少クシテ思フ通  
リノ仕事が出來ナイデ、政府ノ方ニ補助ヲ  
多ク貰フヤウニ、慥カ請願書ヲ出シタコト  
モアツタト思ヒマスガ、斯ウ云フコトデハ  
ドウモイカスト私ハ思フ、デアリマスカラ  
報酬規定ヲ強制スルコトナク、一ツ金持方  
病氣ノ治療ヲ醫者ニシテ貰ツタ時ハドンド  
ン出サセルヤウニシテ、サウ云フ開業醫ハ  
貧困者ニ對シテハ自分ノ名譽トシテ、昔ノ  
通リドンヽ施療ヲヤルト云フヤウニスレ  
バ、成績ガ大變るルデヤナイカ、今日ノヤ  
ウニ開業醫ライヂメテ、其ノ收入ガ入ラナ  
イヤウニシテ、貧困者ノ治療ヲ今マデノヤ  
ウニヤルコトガ出來ナイヤウニシテ、政府  
ガ多額ノ費用ヲ醫療救護ノ爲ニ出シテヤラ  
ナケレバナラスト云フコトハ、政府トシテ  
モ詰ラナイコトデヤナイカト思フ、結論カ  
ラ見マスト庶民大衆ニ醫療救護ノ費用ヲ負  
擔サシテ、經濟上ニ利益ヲ受ケル者ハ富豪  
階級ト云フコトニナル、而モサウ云フコト

ガ段々分ツテ來マスト、怨マレル者ハ富豪ト開業醫デアリマス、私ハ先程市町村以外ニ恩賜財團濟生會ヲ事業者ニシテ行クト云フコトヲ承ツテ非常ニ宜イコトダト思ヒマスガ、先年亡クナラレタ山室軍平君ガ、救世軍デ醫療ヲヤリマシタ體驗カラ、私ニ書面ヲ寄越シタコトガアリマシタ、今ナクシマシタガ、自分ノ色々ノ経験カラドウカ救療事業ニ付テハ何處マデモ民間ノ事業ニシテ、且ツ是ハ總テ恩賜財團濟生會ノ下ニ統一シテヤツテ貴フコトガ宜イ、即チ救療事業ニ從事スル醫師モ、産婆モ、看護婦モ總テ自分等ハ恩賜ノ仕事ヲヤル者デアルト云フ考ヘデ眞面目ニヤルヤウニナリ、治療ヲ受ケル患者モ全ク是ハ皇室ノ有難イ御蔭デアルト云フ氣持ヲ持ツコトハ、皇室ニ對スル感謝ノ念ト醫療ニ對スル信賴トヲ一層厚クスルモノデアル、斯ウナレバ富豪モヨツ覺マシテドシヽ濟生會ニ寄附ヲシテ行クデセウシ、隨テ救療問題モ段々解決シテ來ルデヤナイカト云フコトヲ言ツテ居リマシタガ、ヤハリ自分ガ救療事業ヲヤツテ苦勞シタダメケアツテ洵ニ傾聽スペキ言葉デアルト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、所ガ今モ御答辯ガアリマシタガ、ドウモ地方ニ於テハ無醫村ガ三千何百モアツテ、ソコニ醫者ガ普及シナイカラ公營デヤルト云フコトデアリマスガ成程數ニ於テハサウデアリマスケレドモ、實情ハ非常ニ違フ、田舎ノ町ニハ開業醫ガ澤山居ルガ、其ノ直グ周圍ノ村ニハ開業醫ハナニ、是ハナクテモ差支ヘナイ、直グ町ノ醫者ニ掛レルカラ自然無醫村ニナル、真ノ無醫村ト云フモノハ實際僻村デアツテ、交通不便ノ地デアル、サウ云フ所デ無醫村デ困ルト云フノハ、是ハ政府ノ方デモ御調

ベニナツテ居ルデアリマセウガ、全國デ五百位ト私ハ記憶シテ居ル、而モソレ等ノ所ニモ國民健康保険組合ノ出來タ所ハ醫師ニ對スル支拂ニ差支ヘナクナツテ、無醫村問題ハ自然ニ解決シテ居ルノデアル、ソレデスカラ國民健康保険制度ヲ速カニ眞ノ無醫村ニ普及スレバ、公營ニシナイデモ、府縣立ノ診療所ヲ建テナイデモ、自然ソコニ眞面目ナ開業醫ガ落着イテ無醫村問題ハ解決スルノデハナイカ、現ニ先般保險院長モ私ノ問ヒニ對シテ、各地ニ於テ非常ニ評判ガ好イカラ、出來ルダケ早ク普及スル考ヘデアルト言ハレタノデアリマスガ、ソレト今ノ醫薬制度調査會ノ無醫村ガ多イカラ、ソコ等ニ縣立ノ診療所ト、縣立ノ綜合病院ヲ建テルト云フ御考ヘハドウモ同ジ厚生省内デアリナガラ一方ハ實情ニ副ハナイヤウニ私ハ考ヘル、ノミナラズ縣立ノ診療所ハ今マデ方々ニデヤツタ所ヲ御承知デアリマセウガ、醫者ガドウモ落着カナイ、來ル醫者モ來ル醫者モ「ルンペン」ノ醫者ガ來テ、眞面目ナ治療ヲシナイ、私ノ縣モソレヲヤツテ村長ナドハ懲リテ居ル、晝前ハ宅診、晝カラハ往診、朝遲ク出テ來テ、晝カラハ往診ガナケレバ鮎釣カ何カニ行ツテシマツテ、呼ビニ行ツテモ中々出テ來ナイ、ソレヲヤカマシク言フト、居ナクナル月給デ雇フ醫者デアルカラ、ソンナコトニナル、是ガ國民健康保險組合ガ出來テ、村ノ者カラ頼マレテ入モ殖エ、自分等ノ生活モ安定シ、子弟ノ教育ニモ差支ヘナイト云フコトヲ見込メバ開業醫トシテ一生懸命ニヤル者ト違フ點ア、月給デ雇ハレタ縣立ノ診療所ト云フモノハ

得テサウ云フ状態デアリマス、縣立ノ診療所、綜合病院ト云フモノハモウ試驗濟デアリマス、ノミナラズ醫療ヲ今日公營デヤツテ居ルノハ世界デ「ロシヤ」デアリマスケレドモ「ロシヤ」ハ御承知ノ通り、主義ノ上カラ醫療モ國營ニシテ居ルノデアリマスガ、其ノ「ロシヤ」デスラモ、官ノ醫者ヘ町村ニ派遣シテ置イテモ役人根性デ眞面目ナコトヲヤラナイ、一生懸命ニ骨ヲ折ラウガ、怠ケヨウガ自分ノ收入ニハ關係ナイ、唯上長ノ鼻息ヲ窺ヘバ足ルト云フコトデアリマスカラ、醫術ハ進歩セズ、醫者ノ素質ハドンヽ退化シテ來ル、ソコデ今日ハ「ロシヤ」モ仕方ガアリマセヌカラ、政府ノ方ニ於テ任命シタ醫者ニ對シテモ、時間外ニ自分ノ開業ヲ許ス、其ノ外ニ自由ノ開業醫ト云フモノヲ認メテ、漸次醫療國營、公營カラ開業醫制度ニ移ラントシツツアル、サウ云フ場合ニ於テ我國ハ無醫村ガ多イ、是ハ自由主義ノ結果デアル、醫者ガ營利的ダカラト云フダケノ考ヘデ、直グ一足飛ビニ公營ニ持ツテ行クコトハ私ハ考ヘモノデハナイカト思フ、無醫村ノ起ツタ原因ガ經濟的ノ關係アルト云フコトヲ考ヘテ、ソレヲ解決スル爲ニ國民健康保険制度ヲ布イタ以上ハ之ヲ十分徹底サシテ、サウシテ尙ホ足ラナカツタ時ニハ公營主義ト云フコトモ第二段ニ考ヘラレマセウケレドモ、サウデナク今マテノ日本ノ良イ開業醫制度ヲ直グ捨テ、公營ニ移スト云フコトヘ、ドウ云フモノデアラウカト私ハ考ヘルノデアリマス、先達テ私ハ非常ニ畏多イ有難イコトダト思ツタ手紙ヲ見タノデアリマスガ、ソレハ東舞鶴ノ岸本仙次ト云フ醫師カラ、先般醫道報國全體醫師大會ヲ開イタ時、其ノ議長ノ西起三

郎君ニ宛テタ手紙デアリマスガ、其ノ中ニ斯ウ云フコトガアル、京都ニ在住シテ居ル小兒科醫ノ三宅宗詮氏ハ、一昨年東京ノ宮中ニ御呼出ニ相成リ親シク、今上陛下ヨリ有難キ御葉ヲ賜ハリ且ツ其ノ節我ガ國ノ醫風、即チ醫師對患者ノ關係ヘ、洵ニ良キ習慣ニシテ我ガ國ニ永ク此ノ良キ習慣ヲ傳ヘタキ旨仰セラレタリト仄聞致シ候、然ルニ醫藥制度調査會ガソレニ副ハザル制度ヲ採用スルコトハ洵ニ遺憾ニシテ吾等ハ上御一人ノ御趣旨ニ反スル制度ハ絶對ニ之ヲ避ケテ、何處マデモ日本古來ノ美風ヲ旨ト致シ度、猶ホ此ノ三宅宗詮ト云フ醫師ノ先々代、即チ祖父宗純ト云フ人ハ、其ノ昔明治天皇御幼少ノ御頃親シク御治療申上げ御經過良ク御全治遊バサレタル記錄ガ宮中ニモ、三宅氏方ニモ、有之候由ニ爲ニ當主宗詮氏ヲ御呼出ニ相成リ畏クモ御葉ヲ賜ハリタリテ感涙ニ咽ンダノデゴザイマス、斯ウ云フ醫師大會ガ今度起ツタノモ、ヤハリ皆ガ此タ醫師、其ノ時ニ集マツタ者ハ一同襟ヲ正シト傳聞致シ候、所謂天恩枯骨ニ及ブト申スペキカト、斯ウ言ツテ居リマス、之ヲ傳ヘ聞イタ醫師、其ノ時ニ目覺メテ、醫師ト云フモノハ何處モ世ノ爲メ、人ノ爲ニ盡スベキモノデアツテ、金ガナイカラドウ、金ガアルカラドウト云フヤウナ考ヘヲ持ツテハナラナイト云フコトニ、段々開業醫ガ目覺メテ參ツタ、サウ云フ場合デアリマスシ、幸ヒ醫療ニ付テハ別ニ從來ノ大臣ガドウト言フノデハアリマセケレドモ、從來ノ大臣ハ餘リ厚生省ノ内輪ノ問題ニ付テハ心配ヲサレナカツタガ、今ノ金光大臣ハ非常ニ熱心ニ御心配ニナツテ居ラレルノデアリマスカラ、時局ニ御エテ、一意報國ノ誠意ニ燃エテ、大會ヲ開イテ

相談スルト云フ彼等醫師ノ氣持ヲ生カシテ、彼等ヲ鼓舞激勵シテ、醫療報國ニ奮進サセルヤウニ指導サレマスナラバ、此ノ醫療保護法ノ制定ト相俟ツテ、オ互ヒニ足ラザル所ヲ補ツテ行ツテ、軽テハ・明治天皇ノ御輶念遊バレタヤウニ、國內一人トシテ病ンデ醫療ノ恩恵ニ浴シナイ者ガナイト云フ時ガ來ル、斯ウ私ハ考ヘルノデアリマス、其ノ意味ニ於キマシテ、醫療公營ト云フ制度ヲ、醫藥制度調査會ノ答申ノ如ク、一本建デ行クト云フコトハ、モウ一應御考ヘヲ願ヒタイ、固ヨリ病氣ノ性質ニ依リマシテ、或ハ結核デアルトカ、癩デアルトカ、精神病デアルトカ、民間ノ醫療ノ足ラザル所ニ對シテ急速ニ之ヲ救濟シナケレバナラスト云フ場合ニ、公營ヲ採用スルコトハ、今まで通リ已ムヲ得ナイコトデアリマスケレドモ、一般國民ノ醫療ノ制度トシテハ、何處マデモ醫師ト患者トノ信賴、醫師ト云フモノハ社會ノ爲ニ奉仕スルモノデアルト云フ、此ノ傳統開業醫ノ精神ヲ活カシテヤツテ、之ヲ指導鼓舞シテ行クコトガ必要ダト考ヘルノデアリマス、尙ホ之ニ付テ御氣付ノコトガアリマシタラ承リタイト思ヒマスノ時局ニ目覺メテ、醫師ト云フモノハ何處モ世ノ爲メ、人ノ爲ニ盡スベキモノデアツテ、金ガナイカラドウ、金ガアルカラドウト云フヤウナ考ヘヲ持ツテハナラナイト云フコトニ、段々開業醫ガ目覺メテ參ツタ、サウ云フ場合デアリマスシ、幸ヒ醫療ニ付テハ別ニ從來ノ大臣ガドウト言フノデハアリマセケレドモ、從來ノ大臣ハ餘リ厚生省ノ内輪ノ問題ニ付テハ心配ヲサレナカツタガ、今ノ金光大臣ハ非常ニ熱心ニ御心配ニナツテ居ラレルノデアリマスカラ、時局ニ御エテ、一意報國ノ誠意ニ燃エテ、大會ヲ開イテ

相談スルト云フ彼等醫師ノ氣持ヲ生カシテ、彼等ヲ鼓舞激勵シテ、醫療報國ニ奮進サセルヤウニ指導サレマスナラバ、此ノ醫藥制度調査會ノ答申ノ如ク、一本建デ行クト云フコトハ、モウ一應御考ヘヲ願ヒタイ、固ヨリ病氣ノ性質ニ依リマシテ、或ハ結核デアルトカ、癩デアルトカ、精神病デアルトカ、民間ノ醫療ノ足ラザル所ニ對シテ急速ニ之ヲ救濟シナケレバナラスト云フ場合ニ、公營ヲ採用スルコトハ、今まで通リ已ムヲ得ナイコトデアリマスケレドモ、一般國民ノ醫療ノ制度トシテハ、何處マデモ醫師ト患者トノ信賴、醫師ト云フモノハ社會ノ爲ニ奉仕スルモノデアルト云フ、此ノ傳統開業醫ノ精神ヲ活カシテヤツテ、之ヲ指導鼓舞シテ行クコトガ必要ダト考ヘルノデアリマス、尙ホ之ニ付テ御氣付ノコトガアリマシタラ承リタイト思ヒマスノ時局ニ目覺メテ、醫師ト云フモノハ何處モ世ノ爲メ、人ノ爲ニ盡スベキモノデアツテ、金ガナイカラドウ、金ガアルカラドウト云フヤウナ考ヘヲ持ツテハナラナイト云フコトニ、段々開業醫ガ目覺メテ參ツタ、サウ云フ場合デアリマスシ、幸ヒ醫療ニ付テハ別ニ從來ノ大臣ガドウト言フノデハアリマセケレドモ、從來ノ大臣ハ餘リ厚生省ノ内輪ノ問題ニ付テハ心配ヲサレナカツタガ、今ノ金光大臣ハ非常ニ熱心ニ御心配ニナツテ居ラレルノデアリマスカラ、時局ニ御エテ、一意報國ノ誠意ニ燃エテ、大會ヲ開イテ

相談スルト云フ彼等醫師ノ氣持ヲ生カシテ、彼等ヲ鼓舞激勵シテ、醫療報國ニ奮進サセルヤウニ指導サレマスナラバ、此ノ醫藥制度調査會ノ答申ノ如ク、一本建デ行クト云フコトハ、モウ一應御考ヘヲ願ヒタイ、固ヨリ病氣ノ性質ニ依リマシテ、或ハ結核デアルトカ、癩デアルトカ、精神病デアルトカ、民間ノ醫療ノ足ラザル所ニ對シテ急速ニ之ヲ救濟シナケレバナラスト云フ場合ニ、公營ヲ採用スルコトハ、今まで通リ已ムヲ得ナイコトデアリマスケレドモ、一般國民ノ醫療ノ制度トシテハ、何處マデモ醫師ト患者トノ信賴、醫師ト云フモノハ社會ノ爲ニ奉仕スルモノデアルト云フ、此ノ傳統開業醫ノ精神ヲ活カシテヤツテ、之ヲ指導鼓舞シテ行クコトガ必要ダト考ヘルノデアリマス、尙ホ之ニ付テ御氣付ノコトガアリマシタラ承リタイト思ヒマスノ時局ニ目覺メテ、醫師ト云フモノハ何處モ世ノ爲メ、人ノ爲ニ盡スベキモノデアツテ、金ガナイカラドウ、金ガアルカラドウト云フヤウナ考ヘヲ持ツテハナラナイト云フコトニ、段々開業醫ガ目覺メテ參ツタ、サウ云フ場合デアリマスシ、幸ヒ醫療ニ付テハ別ニ從來ノ大臣ガドウト言フノデハアリマセケレドモ、從來ノ大臣ハ餘リ厚生省ノ内輪ノ問題ニ付テハ心配ヲサレナカツタガ、今ノ金光大臣ハ非常ニ熱心ニ御心配ニナツテ居ラレルノデアリマスカラ、時局ニ御エテ、一意報國ノ誠意ニ燃エテ、大會ヲ開イテ

アリマスガ、唯醫療保護ヲ初メ社會事業全體ノ考へ方ト云ヒマスカ、行キ方ガ餘程變ツテ來タト云フカ、或ハ體系ガ整備サレル情勢ニアルト云ヒマスカ、唯相手ノ氣ノ毒是ハ固ヨリ必要デアリマスガ、モツト廣い見地カラ、所謂人的資源ノ確保ト云ヒマスカ、資質ノ向上ト云フヤウナ廣い見地カラ、一ノ政策ト云フモノガ施サレナケレバナラナイト云フ考へ方ヲ以チマシテ、今回斯致シタノデアリマシテ、斯ウ云フ行キ方ト云フモノハ、又此ノ時勢ニ應ジテサウシタ進メ方ヲ根幹トシテ行カナケレバナラヌデハナイカ、斯様ニ考へテ居ルノデアリマスガ、併シ決シテ個々ノ醫師ノ仁術ヲ阻碍スル考へハ毛頭アリマセヌ、依然トシテ醫ハ仁術ト云フ氣持ヲ以テヤツテ戴キタイ、斯様ニ考ヘルノデアリマス

○土屋(清)委員 私ノ心配スルノハ、日本ノ醫療制度ト云フモノハ、從來ハ政府ハ一貫シテ開業醫制度ヲ根幹ニスルト云フコトヲズツ通シテ來ラレタ、ソレガ醫藥制度調査會ガ出來テ、今ノヤウニ將來ハ國營ニスルト云フコトヲ言ハレテ來タ、其ノ間所謂公私二本建、斯ウ云フ工合ニナツテ居リマスノデ、開業醫ト云フモノハ、將來醫療ハノ開業ニナルノデハナイカト云フノデ、現在何代ヤツクアコ調べテ見タラ二十何代ヤ十居ル、新聞デ見マスト、富山縣デハ開業醫ヲ以テ奉仕スルト云フ氣持ハ大變宜イト思

ビマスガ、サウ云フコトナドモ、將來公營ニシテ行クコトニナルト、皆壞サレテシマヒ、醫學ニ志ス子弟ノ氣持ヲ非常ニ壞シテ是ハ固ヨリ必要デアリマスガ、モツト廣い見地カラ、所謂人的資源ノ確保ト云ヒマスカ、資質ノ向上ト云フヤウナ廣い見地カラ、一ノ政策ト云フモノガ施サレナケレバナラナイト云フ考へ方ヲ以チマシテ、今回斯致シタノデアリマシテ、斯ウ云フ行キ方ト云フモノハ、又此ノ時勢ニ應ジテサウシタ進メ方ヲ根幹トシテ行カナケレバナラヌデハナイカ、斯様ニ考へテ居ルノデアリマスガ、ソレガ、ソレカトモウ一つ報酬ノ問題モ、標準ヲ作ルコトハ是ハドウシテモ必要デアリマスガ、ソレヲ物價停止令ノヤウニ公定シテ、ソレ以上ニ向フカラ持ツテ來テモ、取ツテハイカヌト云フコトニナツテシマヒマスト、何トシマシテモ醫者ノ生活ニ餘裕ガナクナリマスカラ、隨て困ツテ拂ヘナイト云フ者ニ對シテモ、追求シテ之ヲ督促シナケレバナラヌシ、富豪ノ方カラ特別ニ餘計ノ報酬ヲ受ケルコトモ出來ナイト云フコトニナリマスレバ、醫ハ仁術デアルカラ今マデノ通りニヤレト言ツテモ、ソレハ出來ナイト云フコトニナル、隨て報酬ト云フモノハ、單ニ標準ヲ決メルニ過ギナインデアツテ、患者ガ進ンデ持ツテ來ルモノニ對シ、又十分支拂ヒ得ル富豪ニ對シテ餘計請求スルコトハ差支ナイ、斯ウ云フコトデアレバ、私ノ心配ハナクナルノデアリマス、即チ公營問題ト報酬問題ヲ、只今申シマシタ通り心得テ宜シウゴザイマセウカ

○兒玉政府委員 標準ヲ定メルト申シテモ、ソレ以上ニ相手ノ顔ヲ見テ請求スルコトガ不安デアリマスカラ、相手ノ懷口ガアリスカ、相當請求スル、十分支拂ヒ得ル能ニシテ行クコトニナルト、皆壞サレテシマヒ、醫學ニ志ス子弟ノ氣持ヲ非常ニ壞シテ是ハ固ヨリ必要デアリマスガ、モツト廣い見地カラ、所謂人的資源ノ確保ト云ヒマスカ、資質ノ向上ト云フヤウナ廣い見地カラ、一ノ政策ト云フモノガ施サレナケレバナラナイト云フ考へ方ヲ以チマシテ、今回斯致シタノデアリマシテ、斯ウ云フ行キ方ト云フモノハ、又此ノ時勢ニ應ジテサウシタ進メ方ヲ根幹トシテ行カナケレバナラヌデハナイカ、斯様ニ考へテ居ルノデアリマスガ、ソレガ、ソレカトモウ一つ報酬ノ問題モ、標準ヲ作ルコトハ是ハドウシテモ必要デアリマスガ、ソレヲ物價停止令ノヤウニ公定シテ、ソレ以上ニ向フカラ持ツテ來テモ、取ツテハイカヌト云フコトニナツテシマヒマスト、何トシマシテモ醫者ノ生活ニ餘裕ガナクナリマスカラ、隨て困ツテ拂ヘナイト云フ者ニ對シテモ、追求シテ之ヲ督促シナケレバナラヌシ、富豪ノ方カラ特別ニ餘計ノ報酬ヲ受ケルコトモ出來ナイト云フコトニナリマスレバ、醫ハ仁術デアルカラ今マデノ通りニヤレト言ツテモ、ソレハ出來ナイト云フコトニナル、隨て報酬ト云フモノハ、單ニ標準ヲ決メルニ過ギナインデアツテ、患者ガ進ンデ持ツテ來ルモノニ對シ、又十分支拂ヒ得ル富豪ニ對シテ餘計請求スルコトハ差支ナイ、斯ウ云フコトデアレバ、私ノ心配ハナクナルノデアリマス、即チ公營問題ト報酬問題ヲ、只今申シマシタ通り心得テ宜シウゴザイマセウカ

○添田委員長 土屋君、開業醫問題ハ成ベク簡單ニ結論ヲ付ケテ下サイ

○土屋(清)委員 私ノ御尋ネシタノハ、主

○添田委員長 土屋君ニ申シマスガ、マダ

○土屋(清)委員 是ガ洵ニ煩ハシイ問題デ

ナツテ居リマス、私共考ヘルノニ、醫師モ  
薬剤師モ等シク衛生ノ業ニ携ハル者ハ、互  
ニ提携シテ國民衛生ノ爲ニ御奉公シテ行カ  
ナケレバナラスト思フ、斯ウ云フ際ニ斯  
ノ如キ問題ガ起ツテ参リマスコトハ洵ニ  
遺憾ニ思フノデアリマス、醫者デアツテ  
モ薬剤師ノ親戚ヲ持チ、藥剤師デアツテ  
モ醫者ノ親戚ヲ持ツテ居ルノニ、ソレ  
ガ互ニ別レテ長イ間相争ツテ居ルト云フ  
コトハ、洵ニ困ツタ問題デアルト思ヒマ  
ス、ソコデ私ハ此ノ醫藥分業ノ問題ニ付テ  
ハ、政府ノ方ニ於テ考ヘテ貰ヒタクナイ  
ガ、ドウデアルカ、是ガ私ノ質問ノ趣旨デ  
アリマス、ト申シマスノハ醫藥分業ハ「ヨー  
ロッパ」ニ於テ發達シタ、即チ醫者ト藥  
ヲ作ル者トハ、全然初メカラ別ニ發達シテ  
參ツタ爲ニ、醫藥分業ト云フコトニナツテ  
居ル、所ガ東洋ニ於テハ醫者ハ必ズ藥箱ヲ  
持ツテ患家ヲ訪ネタモノデアツテ、醫者ト  
藥ト云フモノハ、昔カラ不可分ノ關係ニ於  
テ、一つノモノトシテ發達シテ來タモノデ  
アル、而モ段々醫術ガ進ンデ参リマスト、  
ドウシテ醫者ハ自分自身デ藥ヲ調合シテ、  
患者ニ投藥シオケレバ、本當ノ治療ハ出來  
ナイ、殊ニ劇藥、毒藥等ニ至ツテハ、自ラ  
之ヲ調劑シテ注射ナリ何ナリシナクテハナ  
ラヌ、昔ノヤウニ醫者ガ處方ヲ書キ、ソレ  
ニ依ツテ藥局デ調劑シテ投藥スルト云フコ  
トハ、全ク舊時代ノヤリ方デアル、ソレデ  
今日ハ列強ニ於テモ、醫藥分業ヲヤツテ居  
ルノハ、「ドイツ」及ビ「ドイツ」ノ流レヲ汲  
ム極ク少數ノ國ダケデアツテ、而モ其ノ「ド  
イツ」ニ於テスラモ、田舎ニ於テハ藥剤師  
ガ居リマセスカラ、今日デハ「ドイツ」デモ  
都市ニノミ舊體制トシテ昔ノ醫藥別業ノ形

態ガ存シテ居ルニ過ギナインデアリマス、  
本來醫藥一元デ發達シタ東洋ニ於テ、而モ  
藥等ハ直接ニ調劑シテ、患者ニ注射ナリ何  
ナリシテ、治療ノ完璧ヲ期スルコトガ、寧  
ロ本則ニナツテ居ル此ノ際ニ、昔ノ考ヘヲ  
其ノ儘ニ行ハントシテ、醫師ト藥劑師トノ  
間ニ、無用ノ爭ヲ繰返サスト云フコトハ、  
國家ノ爲ニモ洵ニ遺憾ニ存ズル次第デアリ  
マス、私ハ藥劑師ノ方トモ始終話ヲシマシ  
テ、今日ハ醫師、藥劑師共ニ協力シテ、政  
府ノ方針ノ下ニ國民衛生ノ改善ノ爲ニ進ミ  
タイト云フコトヲ、日本藥劑師會長ノ河合  
博士ニモ屢々話シ、向フデモ同感デアルト言  
ハレテ居リマス、偶々斯ウ云フ問題ガ取上げ  
ラレル爲ニ、兩方ノ間ニ溝ガ出來テ、今日  
ノヤウナコトニナツテ來ル、醫藥制度調査  
會ト云フモノハ、本來國家國民ノ醫療及び  
其ノ制度ヲ、ドウシテ行クカト云フ大本ヲ  
決メテ行くベキモノデアツテ、サウ云フ舊  
イ制度ヲ今更取上ゲテ、處方箋ヲ出シテ之  
ヲ解決シヨウト云フヤウナ姑息ナコトデ行  
承知ヲ願ヒマス

○土屋(清)委員 方角ヲ變ヘマシテ、一番  
大事ナ問題デアリ、又厚生省トシテモ一番  
御考ヘナラナケレバナラスト云  
フコトハ、理窟ニ合ハナイノデス、醫藥制  
度調査會ハ、不幸ニシテアア云フ結論ヲ得  
マシタガ、厚生大臣トシテハ、斯ウ云フ點  
ヲ御考ヘニナラレテ、アア云フ將來醫藥兩  
界ニ摩擦ヲ繰返スヤウナ問題ハ放棄シテ、  
醫師モ藥劑師モ協力シ提携シテ、國策ニ副  
シテモ賢明デハナイカト考ヘルノデアリマ  
ス、今度ノ議會ニハ時局ニ直接必要ノナイ  
法案ハ、政府トシテ見合セルト云フ中ニア

ノ法案モ含マレテ出ナカツタコトハ、私ハ  
洵ニ仕合セダト思ヒマスケレドモ、來年ハ  
ト云フコトハ、洵ニ好マシクナイコトデア  
ルト考ヘマスカラ、此ノ點ニ付テ特ニ厚生  
大臣ノ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、此ノ  
際御所見ヲ承ルコトガ出來レバ幸ヒデアリ  
マス

○金光國務大臣 只今土屋君ヨリノ醫藥分  
業ニ關シタ御尋ねハ、昨日モ御答ヘシマシ  
タ次第デアリマスガ、土屋君ハ、醫藥分業  
ナドニ關スル問題ハ、政府ハ考ヘルナト仰  
セラレタノデアリマス、サウシテ其ノ次ニ  
ハ答申案ニ付テハ十分考ヘロト仰セラレル、  
私ハ篤ト考ヘルト云フコトニ致シタイト思  
フノデアリマス、考ヘルナト仰セラレテモ、  
サウ簡単ニハ行キマセヌ、答申案モ、土屋  
君ノ御意見モ能ク考ヘ合セテ、最後ノ決定  
ヲ致シタイト思ヒマス、今日ハ尙ホ研究中  
デアリマス、一日ヲ争フ問題デモナイト思  
ヒマスカラ、十分ノ考慮ヲ廻ラシテ、採否  
ヲ決定致シタイト思ヒマス、ドウゾ左様御  
承知ヲ願ヒマス

○土屋(清)委員 方角ヲ變ヘマシテ、一番  
大事ナ問題デアリ、又厚生省トシテモ一番  
御考ヘナラナケレバナラスト云  
フコトハ、理窟ニ合ハナイノデス、醫藥制  
度調査會ハ、不幸ニシテアア云フ結論ヲ得  
マシタガ、厚生大臣トシテハ、斯ウ云フ點  
ヲ御考ヘニナラレテ、アア云フ將來醫藥兩  
界ニ摩擦ヲ繰返スヤウナ問題ハ放棄シテ、  
醫師モ藥劑師モ協力シ提携シテ、國策ニ副  
シテモ賢明デハナイカト考ヘルノデアリマ  
ス、今度ノ議會ニハ時局ニ直接必要ノナイ  
法案ハ、政府トシテ見合セルト云フ中ニア

スガ、併シ自分ノ體驗カラ申シマスト、病  
氣ノ大部分ハ金ヲ掛ケナイ方ガ病氣ニナラヌト云フ途  
出ルト云フ不安ヲ、醫藥兩界ニ與ヘテ置ク  
ト云フコトハ、洵ニ好マシクナイコトデア  
ルト考ヘマスカラ、後ニ弊害ヲ起  
ガ出テヤツテ居ル、其ノ前ニモ精神總動  
員デヤツテ居リマシタガ、アレハ誰カガ氣  
ガ付イタ部分ダケヲ非常ニ強調シテヤル、  
オヤリニナツタヤウデアリマス、又最近ノ  
大政翼賛會アタリニ、生活指導部ト云フノ  
點カラ考ヘルト、今マデ厚生省デモ色々  
ト云フコトハ、洵ニ好マシクナイコトデア  
ルト考ヘマスカラ、此ノ點ニ付テ特ニ厚生  
大臣ノ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、其ノ  
際御所見ヲ承ルコトガ出來レバ幸ヒデアリ  
マス

○金光國務大臣 只今土屋君ヨリノ醫藥分  
業ニ關シタ御尋ねハ、昨日モ御答ヘシマシ  
タ次第デアリマスガ、土屋君ハ、醫藥分業  
ナドニ關スル問題ハ、政府ハ考ヘルナト仰  
セラレタノデアリマス、サウシテ其ノ次ニ  
ハ答申案ニ付テハ十分考ヘロト仰セラレル、  
私ハ篤ト考ヘルト云フコトニ致シタイト思  
フノデアリマス、考ヘルナト仰セラレテモ、  
サウ簡単ニハ行キマセヌ、答申案モ、土屋  
君ノ御意見モ能ク考ヘ合セテ、最後ノ決定  
ヲ致シタイト思ヒマス、今日ハ尙ホ研究中  
デアリマス、一日ヲ争フ問題デモナイト思  
ヒマスカラ、十分ノ考慮ヲ廻ラシテ、採否  
ヲ決定致シタイト思ヒマス、ドウゾ左様御  
承知ヲ願ヒマス

○土屋(清)委員 方角ヲ變ヘマシテ、一番  
大事ナ問題デアリ、又厚生省トシテモ一番  
御考ヘナラナケレバナラスト云  
フコトハ、理窟ニ合ハナイノデス、醫藥制  
度調査會ハ、不幸ニシテアア云フ結論ヲ得  
マシタガ、厚生大臣トシテハ、斯ウ云フ點  
ヲ御考ヘニナラレテ、アア云フ將來醫藥兩  
界ニ摩擦ヲ繰返スヤウナ問題ハ放棄シテ、  
醫師モ藥劑師モ協力シ提携シテ、國策ニ副  
シテモ賢明デハナイカト考ヘルノデアリマ  
ス、今度ノ議會ニハ時局ニ直接必要ノナイ  
法案ハ、政府トシテ見合セルト云フ中ニア

スガ、併シ自分ノ體驗カラ申シマスト、病  
氣ノ大部分ハ金ヲ掛ケナイ方ガ病氣ニナラヌト云フ途  
出ルト云フ不安ヲ、醫藥兩界ニ與ヘテ置ク  
ト云フコトハ、洵ニ好マシクナイコトデア  
ルト考ヘマスカラ、後ニ弊害ヲ起  
ガ出テヤツテ居ル、其ノ前ニモ精神總動  
員デヤツテ居リマシタガ、アレハ誰カガ氣  
ガ付イタ部分ダケヲ非常ニ強調シテヤル、  
オヤリニナツタヤウデアリマス、又最近ノ  
大政翼賛會アタリニ、生活指導部ト云フノ  
點カラ考ヘルト、今マデ厚生省デモ色々  
ト云フコトハ、洵ニ好マシクナイコトデア  
ルト考ヘマスカラ、此ノ點ニ付テ特ニ厚生  
大臣ノ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、其ノ  
際御所見ヲ承ルコトガ出來レバ幸ヒデアリ  
マス

○金光國務大臣 只今土屋君ヨリノ醫藥分  
業ニ關シタ御尋ねハ、昨日モ御答ヘシマシ  
タ次第デアリマスガ、土屋君ハ、醫藥分業  
ナドニ關スル問題ハ、政府ハ考ヘルナト仰  
セラレタノデアリマス、サウシテ其ノ次ニ  
ハ答申案ニ付テハ十分考ヘロト仰セラレル、  
私ハ篤ト考ヘルト云フコトニ致シタイト思  
フノデアリマス、考ヘルナト仰セラレテモ、  
サウ簡単ニハ行キマセヌ、答申案モ、土屋  
君ノ御意見モ能ク考ヘ合セテ、最後ノ決定  
ヲ致シタイト思ヒマス、今日ハ尙ホ研究中  
デアリマス、一日ヲ争フ問題デモナイト思  
ヒマスカラ、十分ノ考慮ヲ廻ラシテ、採否  
ヲ決定致シタイト思ヒマス、ドウゾ左様御  
承知ヲ願ヒマス

○土屋(清)委員 方角ヲ變ヘマシテ、一番  
大事ナ問題デアリ、又厚生省トシテモ一番  
御考ヘナラナケレバナラスト云  
フコトハ、理窟ニ合ハナイノデス、醫藥制  
度調査會ハ、不幸ニシテアア云フ結論ヲ得  
マシタガ、厚生大臣トシテハ、斯ウ云フ點  
ヲ御考ヘニナラレテ、アア云フ將來醫藥兩  
界ニ摩擦ヲ繰返スヤウナ問題ハ放棄シテ、  
醫師モ藥劑師モ協力シ提携シテ、國策ニ副  
シテモ賢明デハナイカト考ヘルノデアリマ  
ス、今度ノ議會ニハ時局ニ直接必要ノナイ  
法案ハ、政府トシテ見合セルト云フ中ニア

バカリ食ハシテ、副食物ヲ極ク簡単ニスル、  
ダカラ貧民ノ兒童ハ「ヴィタミン」ノ缺乏ヲ  
來タス、米ノ食ヒ過ギカラ偏食ニ陷ル、使  
用人ナドモ、都會ハ野菜ガ少ク魚ガ多イ  
カラ、魚ヲ餘計食ベサセラレテ「ヴィタミ  
ン」缺乏症ヲ起シテ脚氣ニナル、ソレカラ  
富豪ノ子弟ハ、甘イ物ヲ食ベタイト言ヘバ、  
言フガ儘ニ乳母ヤ子守カラ甘イ物ヲ興ヘラ  
レ、其ノ他色々ナ物ヲ食ベサセルカラ、食  
事時ニナルト餘リ食べラレナイ、甘イ物、  
殊ニ糖分ヲ餘計食べサセラレルカラ、其ノ  
糖分ニ對抗スル爲ニ、身體ノ中ノ石灰分ガ  
段々消耗サレテ、齲齒ガ多クナリ、骨ガ細  
ク、ヒヨロ／＼シタ人間が出來ル、是等ハ  
榮養ノ指導ガ宜シキヲ得ナイ結果カラ生ズ  
ルコトデアル、ソレカラ着物ノ方ヲ見マシ  
テモ、子供ノ時カラ無暗ニ着セル爲ニ、非  
常ニ皮膚ガ弱クナツテ、冬ニナルト直キニ  
肺炎ヲ起ス、乳幼兒ノ死亡ノ原因ハ、消化  
不良ト肺炎ガ一番多くノデアリマスガ、是  
等モ着物ヲ無暗ニ着セルコトト、部室ヲ密  
閉シテ、炭ガ焚イテ空氣ヲ汚損シテ、新シイ  
空氣ノ交換、供給ヲヤラナイ、ソレガ一番  
原因ニナツテ居リマスガ、子供バカリデナ  
ク、大人ニシテモ着過ギル「ワイシヤツ」ノ  
下ニ「ネル」ノ「シヤツ」ヲ着テ居ル、議員デ  
モ大部分ガサウデアル、寒イ／＼ト幾ラ着  
テモ、着レバ着ル程、皮膚ハ天然ノ保護力ナ  
ク、大人ニシテモ着過ギル「ワイシヤツ」ノ  
管支「カタル」、肺炎、結核ガ多クナルバカ  
リデナク、鼻ノ病氣、喉ノ病氣、皆皮膚ガ  
弱クナツテ來ルノデアリマシテ、冬ニナツ  
テ風邪ヲ引キ易イ、都會ト田舎ヲ比ベルト、

都會ノ者ハ風邪ヲ引キ易クテ、鼻ヤ喉ノ病ニ當ラナイコトト、日光ニ十分ニ當リ得ナイコト、是ガ原因デス、私ハ今マデ散々色々ナ病氣ヲヤリマシタ、肺炎デ死ニ掛ツタコトモアルシ、「チフス」デ死ニ掛ツタコトモアル、「ジフテリア」モヤツタシ、脚氣モヤリマシタ、可ナリ凡ユル病氣ヲヤリマシタガ、其ノ結果人間ト云フモノハ動物ノ一種類デアルカラ、成ベク自然ノ環境ニ近ク生活スルコトガ必要ダト云フ考ヘデ、夏ハ外ニ出ル以外ハ、始終裸デ生活スル、冬デモ朝晩ハ三十分ヤ一時間位ハ裸デ生活ヲシテ居ル、サウスルト實際外套モ要ラナケレバ下ノ「シャツ」モ要ラナイ、ソレデ急ニサウヤツクノデハ駄目ダラウト言ヒマスクレドモ、私ガ今日マデ教ヘタ人デモ、一週間ヤルト皆ソレガヤレル、子供ナドハ薄イ「シャツ」ト薄イ洋服一ツデ、脛カラ下ハソツクリ出シテ霜ノ中ヲドン／＼學校ニ行ツテ居ル、サウスルコトガ身體ノ抵抗ヲ強クシ、病氣ニ罹ラナイ原因ナンデス、飽食暖衣ト云フコトガ、一番病氣ノ原因デアリマス、着物ヲ餘計着ル爲ニ、又火鉢ニ炭ヲカン／＼起シテ部屋ノ内ヲ温メル爲ニ、皮膚ガ弱クナツテ冬ノ病氣ヲヨクヤル、又餘計食ヒ過ギル爲ニ、上層階級ノ人ハ血壓ガ年齢マデ發育シタナラバ、唯ソレヲ補給スレバ足ル、殊ニ四十以上ニナレバモウ三分ノ一位澤山、ソレヲドン／＼食フ爲ニ、

身體ヲ弱クシテ壽命ヲ縮メル、食糧問題ガヤカマシイ最中ニ一律ニ食事ノ量ヲ減ラスト云フコトハ困難ニアリマセウケレドモ、少年時代ノ者ト違ツテ、成年以上ノ者ハ、殊ニ壯年以後ノ者ハ、ズツト食事ノ量ヲ減ラスコトガ、健康保持ノ最モ良イ方法ニアリマズ、ツレカラ先程モ申シマシタガ、米ガ足ラナイ、米ガ足ラナイト言ツテ居ラレマスガ、米其ノモノハ榮養上、決シテ非常ニ大事ナモノデハナイ、是ハ政府ガ——厚生省デ農林省デモ米々ト言ツテ、米バカリニ主力ヲ注イデヤカマシク言ヒマシタ爲ニ、國民ノ耳目ガソレニ向ケラレ、米ヲ食ハナケレバ生キテ居ラレナイヤウニ考ヘテ來タ、ソコカラ段々米ノ不足問題ヲ起シテ來ル、併シ日本ノ歴史ヲ見マシテモ、天照大神以來米ヲ主食トシテ教ヘラレタノデハナイ、田ニ稻ヲ植エ、畑ニハ麥、粟、稗、豆ヲ植エテ、五穀ヲ等シク食糧トシテ民ヲ養ツテ行カネバナラスト云フコトヲ教ヘラレテ居ル、他ノ穀物ノ榮養比較ヲ見マシテモ、稗或ハ粟、蕎麥等ハ、米ニ比ベル遙カニ榮養價ガ高イ、稗ヲ多く食ベテ居ル東北ノ人ヤ、粟ヲ多く食ベテ居ル朝鮮ノ人達ハ、内地ノ或ル方面ノ人達ヨリモ遙カニ體格ガ良イノハ、ヤハリ米ヨリモ榮養價ノ高イモノヲ食べテ居ルカラデアル、ソレデ厚生省トシテハ、斯ウ云フ食糧問題ノヤカマシイ際ニ、米バカリニ集中シナイデ、米モヤハリ食物ノ一部分デアルガ、穀物——澱粉質トシテハ、五穀ヲ齊シク食ベルコトガ必要ダト云フコトヲ教ヘレバ畠デ出來ル穀物モ自ラ常ニ心配シテ居リマスケレドモ、野菜ヲ十

分食ペルヤウニスレバ「ヴィタミン」不足ノ氾濫スルコトハナイ、而モ野菜ト云フモノハ、ドンナ階級デモ自分ノ家ノ周圍ニ少シノ空地ガアレバ出来ル、其ノ野菜ヲ十分ニ食ハスヤウニスレバ「ヴィタミン」缺乏ノ問題モ解決スル、サウ云フヤウニ衣食住ニ對シテ厚生省ガ中心ニナツテ指導シテ行ケバ、衣服ノ材料ノ足ラナイ問題モ、米ノ足ラナイ問題モ解消出來、サウシテ病人ノ數ハ、ウント減ルト思ヒマス、サウ云フコトヲ一ツ御考ヘニナツテ、至急積極的ニヤツテ戴クト云フ考ハナイカ

ソレカラ序デアリマスカラ申シマスガ、世ノ中ニ薬價ト云フコトガヤカマシク言ハレマスケレドモ、私ハ醫者バカリデハナクシテ、一般ニ日本人ハ藥ヲ飲み過ギル、是モ一つ指導シテ、ドンヽ新聞ニ廣告ラシテ居ル賣藥ヲ、國民ガ高イ金ヲ出しシテ飲ンデ居ル習慣ヲ改メルコトガ、必要デアル、サウ云フ所カラ段々指導シテ行ケバ、今日醫者ガ治療スルニ使フ以外ノ藥ハ、ヤラナクテモ宜イ、診察ニ來タ患者ノ二割ハ、實際藥ヲヤラナクテモ濟ム、是モ一つ厚生省デ考ヘテ、藥ヲ無暗ニ飲ムナ、醫者ノ指導以外ノ藥ハ飲ム必要ガナイ、ソレカラ飽食暖衣ハ病ノ因デアルカラ、自然ニ還ツテ皆薄着ニナツテ、戻外へ出テ運動シロ、殊ニ年取ツタ者ハ、餘計ニ食フ必要ハナイ、米バカリニ主力ヲ注ガナイデ、五穀蔬菜ヲ十分ニ綜合的ニ食べルヤウニシロト云フ風ナ指導ヲスレバ、病人ノ數モウント減ル、何カ之ニ對シテオヤリニナツテ居ルコトガアレバ伺ヒタイ

第六類第十六號 貸家組合法案外二件委員會議錄 第五回

昭和十六年一月十三日

御示シニナリマシタ榮養ノ問題ハ、御承知ノヤウニ榮養研究所デ扱ツテ居ツタノデアリマスガ、今度厚生科學研究所ト云フモノガ出来マシタノデ、其ノ方ニ入レマシテ綜合的ノ研究ヲヤツテ居ルノデアリマスガ、マダ十分徹底シテ居ラナイ憾ミモアリマス、來年ハ豫算モ相當計上シテアリマスガ、一層指導ヲ徹底サセタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、或ハ又住宅ノ問題ニ付テモ、色々意見ガアリマスガ、住宅ニ付テモ住宅様式ノ改善ニ依ツテ、國民ノ疾病ヲ少クスルト云フ着眼モ持ツテ居リマス、サウ云フ一々ノ事例ヲ申上ゲレバ、ゴザイマスガ、全體的ニ生活ヲ指導スルト云フ行キ方トシテハ、例ハ、勞務者ノ生活指導ニ付テハ、勞働局ニ於テ、或ハ結核患者ノアル家庭ノ生活指導ニ付テハ、豫防局ニ於テ、或ハ又農村ノ全體的ノ生活指導ニ付テハ、隣保事業ヲ以テ色々考究致シテ居リマスガ、畢竟是等ヲ綜合シタ廣イ生活指導ヲシテヤルト云フコトニ付キマシテハ、今後一層注意ヲシテ、其ノ方面ニ向ツテ新生活運動トデモ言ヒマスカ、サウ云フコトヲヤツテ見タイト考ヘテ居リマス

○添田委員長 休憩ヲ致シマス、午後一時三十分ヨリ開會ヲ致シマス  
零時十分休憩

午後一時四十分開議

○添田委員長 午前ニ引續イテ會議ヲ開キ  
○土屋(清)委員 厚生科學研究所ノコトガ、厚生省午前中ノ御答辯ノ中ニ出マシタガ、厚生省トシテヤハリ科學的ノ審事機關ヲ持ツテ居ルコトハ、行政ヲ科學的ニ活カシテ行ク上ニ

必要ヲコトト思ヒマス、此ノ事デ私ガ不思議ニ思ツテ居リマスノハ、今我ガ國ガ食糧問題ガ非常ニ大キナ問題ニナツテ居ル際ニ、日本ガ世界ニ誇リトスル所ノ榮養研究所ガ、厚生科學研究所ノ中ニ吸收サレテシマツタ、其ノ爲ニ榮養研究所ノ生ミニ親デアリ、又我が國民榮養ニ付テノ最大ノ指導者デアル佐伯矩氏ヲ失ツタト云フコトハ、非常ニ遺憾ナコトダト思ヒマス、殊ニ此ノ問題ニ付テ見遁シ難キコトハ、榮養研究所ハ、元々佐伯博士ガ初メ私立デ、芝ノ金杉ニ極ク小サナ建物ノ中ニ經營ヲ始メタ、ソレヲ成程之ハ國家的ノ事業デ必要デアルト言フノデ、政府ガ取上げテ國立ニ移シ、サウシテ今日マデヤツテ參ツタ、其ノ間ノ功績ノ大キナコトハ、私ガ申上ゲルマデモナイコトデアリマス、先年「アメリカ」カラ或ル新聞記者ガ視察ニ參り、又「ドイツ」カラヤハリ同様ノ人ガ日本ニ視察ニ參ツタ時、日本國民ガ經濟戰、貿易戰ニゲン／＼外ニ伸ビテ行ク原因ハ、何處ニアルカト云フコトヲ研究シタ中ニ、榮養研究所ト云フノガ出來テ、合タ廣イ生活指導ヲシテヤルト云フコトニ付キマシテハ、今後一層注意ヲシテ、其ノ方面ニ向ツテ新生活運動トデモ言ヒマスカ、サウ云フコトヲヤツテ見タイト考ヘテ居リマス

○添田委員長 休憩ヲ致シマス、午後一時三十分ヨリ開會ヲ致シマス  
零時十分休憩

午後一時四十分開議

○添田委員長 午前ニ引續イテ會議ヲ開キ  
○土屋(清)委員 厚生科學研究所ノコトガ、厚生省午前中ノ御答辯ノ中ニ出マシタガ、厚生省トシテヤハリ科學的ノ審事機關ヲ持ツテ居ルコトハ、行政ヲ科學的ニ活カシテ行ク上ニ

アノ研究室ヤ何カガ出テ居リマシタ、之ハ外國ノ記者ガ見タ程、ソンナニ大キイ貢獻ヲシテ居ルカハ別ト致シマシテ、少クトモ榮養ノ問題ニ付テハ、國民ノ各階層ガ注意シテ、學校給食ニ於キマシテモ、工場給食ニ於キマシテモ、或ハ病院ノ給食ニ於キマシテモ、軍隊ノ給食ニ於キマシテモ、榮養ガ段々國民的ニ合理化スルヤウニナツタト云フコトハ、確力ニ榮養研究所、即チ之ヲテ見遁シ難キコトハ、榮養研究所ハ、元々佐伯博士ガ初メ私立デ、芝ノ金杉ニ極ク小サナ建物ノ中ニ經營ヲ始メタ、ソレヲ成程之ハ國家的ノ事業デ必要デアルト言フノデ、政府ガ取上げテ國立ニ移シ、サウシテ今日マデヤツテ參ツタ、其ノ間ノ功績ノ大キナコトハ、私ガ申上ゲルマデモナイコトデアリマス、先年「アメリカ」カラ或ル新聞記者ガ視察ニ參り、又「ドイツ」カラヤハリ同様ノ人ガ日本ニ視察ニ參ツタ時、日本國民ガ經濟戰、貿易戰ニゲン／＼外ニ伸ビテ行ク原因ハ、何處ニアルカト云フコトヲ研究シタ中ニ、榮養研究所ト云フノガ出來テ、合タ廣イ生活指導ヲシテヤルト云フコトニ付キマシテハ、今後一層注意ヲシテ、其ノ方面ニ向ツテ新生活運動トデモ言ヒマスカ、サウ云フコトヲヤツテ見タイト考ヘテ居リマス

○加藤政府委員 榮養研究所ノ佐伯博士ノ業務績ニ關シマシテ、極メテ御理解ノ深イ只ノ大キナ原因デアルト云フコトヲ發表シマシタ、今思ヒ出シタノデスガ、慥カ「ドイツ」ノ雑誌デハ「ウオッ」デス、「アメリカ」ノハ志レマシタガ大キナ寫眞ヲ入レテ、佐伯博士ヲ失ツテ、今ノヤウナ姿ニ榮養研究所ヲナクシテ、厚生科學研究所ニ併合シテシテ居ルカハ別ト致シマシテ、少クトモマツタコトハ、ドウ云フモノデアルカ、嘗テ厚生省ハ其ノ前身ノ社會局ト衛生局ガ内務省ニアリマシタ時代ニ、其ノ衛生ニ關スル唯一ノ審事機關デアル所ノ傳染病研究所ハ、シテモ、軍隊ノ給食ニ於キマシテモ、榮養研究所ハニモ、傳染病研究所ヲ、學閥關係、文部省ニ奪ハレテ、今御澤先生其ノ他ノ援助ニ依ツテ、私立ノ傳染病研究所ヲ建テマシタノヲ、ソレガ國家ノ率イテ研究指導サレタ佐伯博士ノ功績ダト考ヘマスガ、其ノ佐伯博士ヲ、アノ厚生科學研究所ガ出來ルヤウニナツタ爲ニ、境外出シテシマフヤウニシタト云フコトハ、私ハ制度ハ兎モ角トシテ——制度ハ人ニ依テ生キルコトヲ考ヘマスト、殊ニ科學研究所ハニモニモ人ガ中心デアリ、其ノ人ヲ失ツタト云フコトハ非常ニ殘念ニ思ツテ居リマスガ、此ノ點ハドウ云フコトデアリマスカ、而モ其ノ後ニ厚生科學研究所ヲ率イテ指導スル所ノ林博士ハ、成程我國ノ藥物學ノ權威デハアルガ、全然他ノ衛生ノ方トハ懸離レタ所ノ人デアリマス、其ノ人ヲ連レテ來テ指導者ニシテ居ツテ、果シテ旨ク行クカドウカ、林博士ハ藥物學ノ教授デアツテ、アノ有名ナ傳染病研究所ノ移管問題ノ起ツタ當時ニ所長トナリ、其ノ後遞信病院ガ出來マスト、其ノ病院長トナリ、ソレカラ公衆衛生院ガ出來ルト、其ノ院長ニナツテ、今度厚生科學研究所ガ出來マスト、又其ノ所長トナツテ居る、洵ニ八宗兼學デ、何處ニ行ツテモ便利ナ人デアリマスケレドモ、苟モ非常重大ナル時、國民厚生ノ科學研究ノ總本山ノ指導者トシテハ、ドウ云フモノデアルカ、佐伯博士ガ幸ヒニアツタナラバマダシモ、佐伯博士ヲ失ツテ、今ノヤウナ姿ニ榮養研究所ヲナクシテ、厚生科學研究所ニ併合シテシテ、非常ナ努力ヲセラレテ參ツタノデアリマシテ、今日事變下ニ於ケル食糧事情ノ、非常ナ困難ナ問題ニ打突カリマシテモ、兎

ニ角モ色々ナ榮養上ノ調査ガ出來テ居リマシタノハ、一ニ榮養研究所竝ニ佐伯君ノ御功績デアルコトハ、無論ノコトト思ツテ居ルマシテ、厚生科學研究所ニナリマシタ豫算ニ基テ、昨年ノ議會デ御審議ニナリマシタ譯テアリマス、是ガ公衆衛生院ト合體致シハ極メテ大切デアリマスガ、ソレダケニ又独立シタ榮養研究機關トシテ存置致シマスヨリモ、所謂國民保健衛生ニ關スル綜合的ノ、厚生科學研究所ト云フモノヲ作リマス以上、他ノ研究機關項目ト連絡ヲ執リマシテ、アリマス、尙ホ佐伯君ノ御力ヲ今後ニ於テモ活用スル爲ニハ、政府ト致シマシテヘ、特ニ官制ニ依リ厚生科學研究所ノ顧問ニ同アリマス、尙ホ佐伯君ノ御力ヲ今後ニ於テモ活用スル爲ニハ、政府ト致シマシテヘ、ヤウナコトニシタイ、斯ウ思ツテ現ニ發令ナツテ、引續キ御援助ヲ願ツテ居ルヤウナ次第デアリマス

○土屋(清)委員 厚生省トシテハ科學研究所ガ綜合的デアルベキコトハ、是ハ私モ其ノ方ガ宜イト思フ、其ノ爲ニハ獨リ榮養、若シクハ衣食住ノ問題バカリデナク、御承知ノ通り衛生試驗所モ藥物關係以外ニ、ヤリモ、所謂國民保健衛生ニ關スル綜合的ノ調査研究ヲヤラセマス方ガ、適當な研究機關項目ト連絡ヲ執リマシテ、合體致シタヤウナ次第デト云フモノヲ作リマス以上、他ノ研究機關項目ト連絡ヲ執リマシテ、アリマス、尙ホ佐伯君ノ御力ヲ今後ニ於テモ活用スル爲ニハ、政府ト致シマシテヘ、特ニ官制ニ依リ厚生科學研究所ノ顧問ニ同アリマス、尙ホ佐伯君ノ御力ヲ今後ニ於テモ活用スル爲ニハ、政府ト致シマシテヘ、ヤウナコトニシタイ、斯ウ思ツテ現ニ發令ナツテ、引續キ御援助ヲ願ツテ居ルヤウナ次第デアリマス

○土屋(清)委員 厚生省トシテハ科學研究所ガ綜合的デアルベキコトハ、是ハ私モ其ノ方ガ宜イト思フ、其ノ爲ニハ獨リ榮養、若シクハ衣食住ノ問題バカリデナク、御承知ノ通り衛生試驗所モ藥物關係以外ニ、ヤリモ、所謂國民保健衛生ニ關スル綜合的ノ調査研究ヲヤラセマス方ガ、適當な研究機關項目ト連絡ヲ執リマシテ、合體致シタヤウナ次第デト云フモノヲ作リマス以上、他ノ研究機關項目ト連絡ヲ執リマシテ、アリマス、尙ホ佐伯君ノ御力ヲ今後ニ於テモ活用スル爲ニハ、政府ト致シマシテヘ、ヤウナコトニシタイ、斯ウ思ツテ現ニ發令ナツテ、引續キ御援助ヲ願ツテ居ルヤウナ次第デアリマス

○川崎(巳)委員 佐伯博士ノ功績、人物等ニ付テ、土屋委員カラ熱心ナ御發言ガアリマシテ、私モ全部ソレニ同意ヲ致シマス、多クシナケレバナラヌ時ニハ、之ヲ工場方ハリ保健ニ關スル研究機關デモアリマスカラ、榮養研究所バカリデナク、衛生試驗所、ソレカラ病源検索ノ研究機關デアル所ノ傳染病研究所、ソレ等ヲ合體シテ初メテ綜合的ノ厚生科學研究所ト云フコトガ言ヘルノデアリマスガ、保健ノ方ノ衛生試驗所ハ其ノ儘ニシ、傳染病ノ方ノ傳染病研究所ヲ

其ノ儘ニシ、傳染病ノ方ノ傳染病研究所ヲト、私ハ決シテ綜合的ノモノニナツテ居ナイヤウニ思フノデアリマス、併シソレヲ今申シテモシヤウガナイノデアリマスト、ガ、是ハ將來ノ研究問題トサレマシテ、ドウカト云フ杞憂ヲ抱イテ居ル者デゴザイマス、併シ顧問トシテ御置キニナルナラバ、尙ホ其ノ能率ヲ十分分舉ガサセルヤウニ、御計ヒ願ヒタインデアリマス

佐伯博士ニ關シテハソレダケデゴザイマスガ、醫療保護法ノ大體ノ趣意ヲ見マスルト、村ノ隅マデ醫者及ビ藥ノナイ所ナカラシム設備デ、洵ニ結構デゴザイマスガ、醫者ト藥ノ外ニ榮養食ヲ配給スル——配給ト云ツテモ何モ中央カラ配ルノデハナクシテ、村ナリ何ナリニ教ヘテヤルコトガ必要デアル、二本建テデ行カナケレバ、國民ノ體力ガ増サヌト思ヒマスガ、是ト並ンデ津浦々マデ、榮養食ノ普及ヲ圖ツテ戴キタ伊思フノデアリマスガ、此ノ機會ニ當局ノ御意見ヲ一應承ツテ置キタイト思ヒマス

○加藤政府委員 榮養ガ國民ニ普及サレル必要ガアルガ、ドンナコトヲ考ヘテ居ルカト云フ御趣意ノ御尋ネデゴザイマシタガ、沟ニ御尤モデアリマシテ、從來ニ於キマシテモ段々座談會、講習會ヲ開キ、印刷物等ヲ配布シ、特ニ東北六縣ノ地方ハ榮養ガ大事ダト云フノデ、從前カラ全額國補デ縣ニ植ノ上ニ非常ナ障碍ヲ與ヘ、殊ニ女ガ結婚後此ノ病氣ニ罹ツテ不妊ニナリマスト、家庭悲劇ノ因ニナツテ、遂ニハ破鏡ノ歎ヲ嘗メナケレバナラヌト云フヤウナ始末ニナル、又男女ヲ通ジマシテ黴毒ニナリマスト一定年限後ニ精神病ノ因ニナル、若シ黴毒ト云カツタナラバ、婦人科病院ノ患者ノ大部分ハノモノガナカツタナラバ、精神病患者ノ大部分ハナクナルト言ハレル程、非常ナ關係ガアルノデアリマス、其ノ花柳病ニ對シテハ今マデ花柳病豫防法ガ出來、其ノ前カラ娼妓取締規則ガ出來テ居ルノデアリマスケレドモ、從來ノ花柳病豫防法ト云フモノハ、主トシテソレカラ娼妓取締規則ニ對シテハ、妙ナコ

トデアリマスケレドモ、ココ十數年來公然春ヲ鬻グ巷ノ存在許スト云フコトハ、  
座敷ト云フモノヲ廢シテ行ツテ居ル、體面論カラ行キマスト、五色ノ彩燈ヲ挂ゲテ、  
淘ニ面白クナイコトデアリマスケレドモ、一面ニハ是ガ又人間ノ弱點ノ所產デアツテ、  
而モソコカラ生レル所ノ悲劇ガ、只今申シタヤウナコトデアリマスト、體面ハ體面ト  
シテ、實際ニ如何ニシテ斯ウ云フ病毒ノ取  
引ノ市場ヲ、徹底ニ取締ツテ行クカト云  
フコトガ、一番問題デアルト思ヒマス、是  
ハ何處デモ賣笑ノ問題ハ文明ニ附キモノデ  
困ツテ居ルノデアリマスガ、日本ノ今マデ  
ノヤウニ、何故ニ賣笑婦ト云フモノガ、ド  
ンドン殖エテ行クカト云フ原因ヲ突止メナ  
イデ、サウシテ一面ニハ體面問題ニ囚ハレ  
テ、貸座敷ト云フモノヲ段々止メテ、サウ  
シテ曖昧ナル料理屋ニ賣笑婦ヲ置イテ、病  
毒傳染ノ機會ヲ多クシテ居ルト云フコトバ  
此ノ厚生上ノ施設ト、ドウシテモ矛盾シテ  
居ルト思フノデアリマス、是ハ公娼ヤ賣笑  
婦ノ主管官廳ガ、内務省ノ警保局デアツテ、  
サウシテ衛生上ノ取締官廳ガ、厚生省デア  
ルト云フ關係デアルト思ヒマスガ、是ハ風  
俗上ノ問題モ、今日ハ主トシテ國民衛生上  
ノ見地カラ、一切ヲ擧ゲテ厚生省ノ所管ニ  
移シテ厚生省ガ方針ヲ立テテ取締ツテ行ク  
ト云フコトニシナケレバイカヌ、斯ウ考ヘ  
テ居リマスガ、此ノ點ハドウ云フコトニナ  
ツテ居リマスカ、今年ハ議員提出法律案ヤ  
何カモ出マセヌケレドモ、年々公娼制度廢  
止案ト、禁酒ノ案トハ何時モ年中行事ノヤウ  
ニ議會ニ出テ居ル、サウシテ政府ノ態度ハ  
決定シナインデアリマスガ、之ヲ今ドウス

ル御考ヘデアリマスカ、其ノ點モ併セテ御方針ヲ伺ヒタイト思ヒマス  
○加藤政府委員 花柳病ノ對策ニ付キマシテハ、豫算ヲ持チマス外ニ法制方面ノコトデ、色々ト考究ノ餘地ガアルダラウト思ヒマス、政府トシテハ過般來法律方面ニ付テモ、將來ノ準備ヲ整ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、公娼制度ノ所管等ノ問題ニ付キマシテノコトハ、他ノ方面ニモ關係ヲ持ツテ居リマスノデ、御意見トシテ承リマシテ、尙ホ連絡ヲ取ルコトニ遺憾ノナイヤウニ致シタイト思ヒマス

○土屋(清)委員 私ハ自分ガヤハリ地方ノ衛生行政ノ關係ノ一人ニナツテ、花柳病取締ノ第一線ニ當ツテ、娼妓トカ密賣婦ト云モノノ事情ヤ何カモ能ク知ツテ居リマスガ、ヤハリ豫防ノ方カラ云ヒマスト、花柳病ヲ他ニ傳播サセナイト云フカラ行キマシテモ、又娼妓若シクハ密賣淫婦保護ノ方面カラ見マシテモ、ヤハリ公娼ト云フカ何ト云フカ、サウ云フ賣笑婦ト云フモノニ對シテハ、警察保護ノ下ニ登録サセテ、サウシテ病毒感染ノ機會ヲ監視シ、發病シタ場合ニハ、徹底的ニ治療シテヤルト云フコトガ、ドウシテモ必要デアル、其ノ意味ニ於テ公娼廢止ト云フコトハ、全ク花柳病ノ豫防ト云フコトヲ無視シタ宗教家的ノ考ヘデアル、ドウシテモヤハリ花柳病ガ存在スル以上ハ、之ヲ取締ル爲ニハ登錄ヲサシテ、來ル原因ヲ限ツテ警察監視ノ下ニ於テ、保護ヲ加ヘナケレバナラヌ、斯ウ考ヘテ居マス、ナイ、私ハ先年「ロシヤ」ノ賣笑制度ナルモノ場所ヲ限ツテ警察監視ノ下ニ於テ、保護ヲ

ヲ讀ミマシテ、ウマイコトヲ言ツテ居ルト  
思ヒマシタ、是ハ賣笑婦ヲ見付ケマスト、  
其ノ人間ニ職業ヲ興ヘテ、之ヲ保護シテヤ  
ル、賣笑婦ニ立派ニ生活出來ルヤウニシテ  
ヤル、サウシテ段々減シテ行ツテ、非常ニ  
數ガ少クナツタト報告ラシテ居リマス、ヨロ  
シヤ」ノ報告デアリマスカラ、其ノ儘信用ス  
ルコトハ出來マセヌケレドモ、大體密賣淫  
婦ニナリ、公娼ニナル者ノ身許ヲ調べテ見  
マスレバ、本人ノ不行跡カラ、サウ云フ奈  
落ノ淵ニ陥ツタ者モアリマスケレドモ、多  
クハ自分ノ家庭ガ貧シクシテ、而モ親ガ病  
氣デアルトカ、年寄デアルカラシテ、何ト  
カシナケレバ立行カナイト云フ所カラ、可  
憐ナル若イ娘ガ身ヲ犠牲ニシテ一家救濟ノ  
爲ニ賣ラレテ行ク、之ガ現狀デアル、ソレ  
ガ大部分ヲ占メテ居ル、故ニサウ云フ方面  
ニ保護ノ手ヲ伸バスト云フコトハ、氣ノ毒  
ナル賣淫婦ヲ保護スルト同時ニ、又賣ラレ  
テ行ツテ花柳病ノ媒介ラスルモノヲナクス  
ル所以デアル、此ノ方面ニ社會局ガ手ヲ延  
スコトガ、非常ニ必要ダト考ヘテ居リマスガ、  
之ニ付テ何カ御考ヘガゴザイマセウカ、今  
デモ東北方面カラ買ハレテ來ル娼妓ノ多イ  
コトヲ考ヘマスト、私ハ其ノ點ニ付テハ、マ  
ダ政府ノ溫イ手ガ伸ビテ居ナイヤウニ考ヘ  
ルノデアリマス、此ノ點ヲツ伺ヒマス

○土屋(清)委員　オ終ヒニ衛生局長ニ御伺  
ヒシタイト思ヒマス、先程私ニ醫藥制度調査  
會ノ問題ヤ、醫藥分業ノ問題ニ付テ申上ゲ  
マシタガ、今日ノ醫療保護法ヲ見マシテモ  
病氣ノ爲ニ醫者ニ掛レナイ、又醫者ニ掛ツ  
テモ本當ニ安心シテ治療ヲ受ケラレナイト  
云フ狀態ハ、實際悲シムベキコトデアルト  
思ヒマス、其ノ意味カラ私ハ、昨年以來醫  
藥制度調査會ノ答申案ニ對スル色々々ナ醫師  
ノ會ニ招バレマシテ、ソコデ話ヲシテ居リ  
マスルコトハ、醫藥制度調査會ノ案ニ對シ  
テ、反對スペキコトハ反對デアルガ、一面  
今日醫師ガ、澤山ニ出來テ居リ、患者モ濃  
山アツテ、而モ安心シテ醫師ニ掛レナイヨ  
トヲ嘆ク者ノアルコトハ、醫師ノ方ニ於テ  
モ責任ガアル、隨テ醫師ハ進ンデ國手ノ本  
分ヲ體シテ、政府ノ力ノ及ブ及バヌニ頗着  
ナク、吾々ノ力ノ及ブ限リノ手ヲ、貧シイシ  
者ノ爲ニ伸バシテヤルコトガ必要デアル、  
自分等ノ方デ出來ルダケノコトヲヤレバヨ  
ソ、政府モ成程醫者ガソレダケニヤツテ吳  
レルナト云フコトヲ理解シ、又社會モサウ  
理解スルデアラウ、サウシテ醫師ガ進ンデ  
藥劑師ノ方ニモ、產婆ノ方ニモ、看護婦ニ  
團體ニモ手ヲ伸バシテ、ソレ等ノモノガ一  
體トナツテ、衛生報國團體ヲ組織シテ、政  
府ト協力シテヤルト云フコトニシナケレバ  
ナラナイト思フ、モウ醫藥分業トカ、醫者  
ト藥劑師ガドウトカ、何トカヤツテ居ルヤ  
ウナ時代デハナイ、斯ウ云フ話ヲシマシタ  
ラバ皆非常ニ同感デ、其ノ際多クノ人カラ  
出マシタコトハ、若シ政府ガ吾々開業醫ヲ  
信賴シテ、吾々ニ任シテ吳レルナラバ、吾  
々ノ手デ無醫村ノ問題モ解決シヨウ、貧民  
救療ノ問題モ吾々ノ手デ解決シヨウ、先ヅ

醫者ノ間ニサウ云フ輿論ヲ作ラウト云フ意  
味デ、醫道報國全國醫師大會ト云フモノガ  
先般共立講堂ニ開カレタノデアリマス、是  
ハ醫藥制度調査會ト云フモノニ反對スルノ  
ガ主眼デハナイ、吾々ハ醫道ヲ以テ報國ヲ  
シヨウト云フコトノ決議ノ第一トシテ、御  
互ヒニ誓ヒ合ツタノデアリマス、數日前ニ  
モ地方カラ手紙ガ參リマシテ、サウ云フ意  
味デ、至急ニ全國ノ輿論ヲ喚起シテ、志ヲ  
同ジウスル全國ノ開業醫ガ一團トナツテヤ  
リタイ、吾々ガ率先シテヤレバ、政府モ欣  
然はト手ヲ握ツテヤツテ吳レルニ相違ナイ、  
斯ウ云フコトカラ段々機運ガ盛シニナツテ  
參リマシタ、昨日モ全國六万ノ產婆ヲ率ヰ  
テ居ル所ノ、大日本產婆會ノ會長ノ西田太  
一郎君ガ御訪ネニナリマシテ、其ノ話ヲシ  
マシタ所ガ、是モ大贊成デアリマシタ、政  
府ノ方カラ見マスト、何デモ金ヲ出サナケ  
レバ、民間ノモノハ動カナイト云フヤウニ  
御考ヘデアリマスガ、民間ノ方カラ言ヘバ  
皆人ニハ職業的ノ良心ガアルノデアツテ、  
殊ニ今日ノヤウニ百万ノ子弟ガ戰線ニ起ツ  
テ、アア云フ苦勞ヲシテ居ルコトヲ考ヘマ  
スト、銃後ニ何等ノ憂ノナイヤウニスル、殊  
ニ病氣ニナツタリ何カシテ居ル者ガ、段々考ヘ  
サウ云フ醫療ヲ受ケラレナイ、助產ヲ受ケ  
ラレナイト云フヤウナ心配ノナイヤウニス  
ルコトハ、其ノ天職ニアル者ガ、段々考ヘ  
テ居ル矢先デアリマス、此ノ全國ノ醫師團  
體ハ近ク結成スルコトニナツテ、直接御經驗ガ  
アリ、御理解ガアルコトヲ皆非常ニ喜ンデ  
衛生局長ハ、醫師、齒科醫師、藥劑師、產  
婆、看護婦等ノ衛生關係者ニハ、以前衛生  
局ノ醫務課ニオイデニナツテ、直接御經驗ガ  
アリ、御理解ガアルコトヲ皆非常ニ喜ンデ  
居ルヤウナ譯デアリマスカラ、サウ云フ場

合ニ進ンデ積極的ニ提携シテヤツテ戴ク御  
意思ガアルカ——ト云フコトヲ伺フノハ變  
デアリマスケレドモ、サウ云フヤウナ機運  
ニナツテ居ルノデアリマスガ、局長ノ御意  
見ハドウデアリマスカ、醫者ヲ取締ルト云  
フバカリガ能デナクシテ、醫者ト協力シ、  
醫者ヲ指導シテ國家ノ使命ニ同ジサセテ行  
クト云フコトガ、ヤハリアナタノ御職分ダ  
ト思ヒマス、一ツアナタノ御意見ヲ承リタ  
イ  
○加藤政府委員 時節柄全國醫人ガ自覺ヲ  
サレマシテ、醫療報國ト云フヤウナコトニ、  
段々御機運ガ向イテ來ラレルコトハ、邦家  
ノ爲ニモ、亦醫人ノ爲ニモ、極メテ結構ニ  
存ジマス、只今ノ新シク結成等ガ出來ルト  
云フ具體的ノ御話ニ付キマシテハ、他ノ機  
會ニ十分御話ヲ承リマシテ、其ノ上デ出来  
得ル限リ力ヲ致シタイ、斯様ニ存ジテ居リ  
マス

○添田委員長 清水君

○清水(留)委員 私ハ二、三點此ノ法案ニ  
關係アルコトニ付テ御伺ヒ致シタイト思ヒ  
マス、先づ最初ニ御伺ヒ致シタイノハ、此  
ノ法律ニ依リマシテ、醫療ヲ受ケタ者ハ公  
ノ給付ヲ受ケタト云フ風ニ御解釋ニナリマ  
スカ、若シ公ノ給付ヲ受ケタト致シマスル  
ナラバ、是ハ選舉權ニ影響ヲ生ズルト思フ  
ノデアリマス、詰リ此ノ法律ニ依リマシテ、  
醫療ヲ受ケタ者ガ、若シ選舉權ヲ喪失スル  
考ヘヲ承リタイノデアリマス

○熊谷政府委員 御答へ申上グマス、此ノ  
醫療保護法ニ依リマシテ醫療、助產ヲ受ケ  
マシタ者ハ、選舉權ヲ失フカドウカト云フ

ヤウナ御尋ネデアリマスガ、是ハ選舉權ヲ失ハナイ積リデ居リマス、此ノ點ニ付キマシテハ、前ノ救護法ノ時代カラ問題ガアリマシテ、救護法ノ扶助ノ中ニハ、生活扶助、醫療、助產、生業扶助、四ツアルノデアリマスガ、衆議院議員選舉法ノ第六條第一號ニ書イテアリマス公私ノ扶助ヲ受ケルト云フノハ、救護法第十條第一號ノ生活扶助ダケヲ指スノデアツテ、醫療ヲ受ケタモノハ選舉權ニハ何等關係セヌト云フ、明確ナル内務省カラノ通牒ガ出テ居リマス、此ノ醫療保護法ニ依ル醫療ヲ受ケマシテモ、選舉權ニ何等關係ナイ、サウ云フ取扱ニ致シタイト思ヒマス

○熊谷政府委員 御答へ申上ゲマス、入院ノ問題、ドウ云フ醫療内容デアルカト云フコトハ、此ノ法案ノ第十五條ニ依リマシテ、細カク勅令ヲ以テ規定スル積リデアリマス、其處ニ醫療ノ範圍、程度及ビ方法ト書イテアリマスガ、此ノ醫療ノ範圍、程度ハ、詰リ診察、往診カラ藥剤、醫療材料ノ支給、處置、手術、入院、或ハ重症ノ場合ニ擔荷デ運ブト云フコトマデヤリタイト思ツテ居リマス、何レ詳細ノコトハ勅令デ書キタイト思ツテ居リマス、ソレカラ第十四條ヲ御覽ニナリマスト、「事業者必要アリト認ムルトキハ第十一條ノ規定ニ依リ醫療又ハ助産ヲ受ケシムベキ者ヲ施設ニ收容シ又ハ他ノ事業ノ施設若ハ適當ナル診療所、產院等ニ收容ヲ、委託スルコトヲ得」トアリマシテ、病院ニ入院サセルコトハ勿論デアリマス  
ソレカラ榮養品ノ問題デアリマスガ、此ノ問題ハ第七條ニ「醫療又ハ助産ニ關シ必要ナル附帶事業ト云フノガアリマシテ、其ノ附帶事業ノ内容ハ同條第三項ニ「勅令ヲ以テ之ヲ定ム」ト云フ字句ガアルノデアリマシテ、附帶事業ト致シマシテハ、吾々通俗ニハ病院社會事業ト云フヤウナコトヲ言ツテリマス、例ヘバ病人ノ居宅ニ看護婦ヲ派出致シマシテ、色々治療ノ上ノ指導ヲヤル、或ハ只今御質問ノアリマシタ榮養品ノ配付等ノコトモ、附帶事業トシテ出來ルダケヤ

○清水(留)委員 サウ致シマスト、譬へテ見レバ、病人ニ依リマシテハ、醫療ガ非常ニ長引イテ、別ニ一々醫者ノ診療ヲ請ハズトモ、又醫者カラ藥ヲ貰ハズトモ差支ヘナイ病人モアラウト思ヒマスガ、ソレ等ノ人ニ對シテハ、或ル程度ノ賣藥ヲ給付シテモ濟ムト思ツテ居リマス、是等賣藥其ノ他ヲ給付スルコトニ付キマシテハ、ヤハリ附帶事業トシテ之ヲヤル御考ヘガアリマスカ、ドウデアリマスカ

○熊谷政府委員 只今ノ御質問ノヤウナ場合ニ、特ニ賣藥ヲヤルト云フコトハ考ヘテ居ナイノデアリマスガ、例ヘバ無醫村ノ地方ニ對シマシテ、第六條ニ「其ノ他適當ナル施設」ト云フ言葉ガアリマスガ、之ニ依リ巡回診療、或ハ出張診療所ヲ設ケマシテ、ソレゾレ治療ガ行届クヤウニシテ行キタイト考ヘテ居リマス、サウ云フ場合ニ餘り頻繁ニ廻レナイト云フコトカラ致シマシテ、醫者ノ指圖ニ依ツテ藥ヲ配給ヲシテヤルトカ、或八月ニ何回モ行ケナイナイト云フ風ナ、極ク僻陬ノ農村ニ對シマシテハ、特ニ簡易ナル藥品或ハ消毒ノ藥品ト云フヤウナモノ、醫者ノ指圖ニ依ツテ配給スル、サウ云フコトハ考ヘテ見タイト思ツテ居リマス

○清水(留)委員 此ノ法案ニ依リマシテ、貧困ニシテ生活困難ナ者ガ、醫療ヲ要スルト、手續ノ煩雜デアルコト、或ハ施設ガ不

○熊谷政府委員 廉恥心ガアツテドウシテモ受ケザル者ノ割合ガ、ドノ位ニナツテ居リマスルカ、御伺ヒ致シタイト思ヒマス  
○熊谷政府委員 廉恥心ガアツテドウシテモ受ケナイト云フ者ハ、ドウシテモ仕方ガナイカト思ヒマスガ、施設ガ悪イトカ、或ハ取扱ガ不公平デアルトカ、或ハ手續ガ非常ニウルサイト云フヤウナ點ハ、出來ルダケ改善シテ、容易ニ受ケ得ルヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス、本法ニ關シテサウ云フ廉恥心ガアル爲ニ、醫療ヲ受ケナイ者ノ數、是ハ一寸豫測致シ兼ネテ居リマス  
○清水(留)委員 今一つ簡単ニ伺ヒマス、第十六條ニアル埋葬ト云フコトニ關聯シテ伺フノデスガ、東京ナドニ於テハ埋葬ノ場合ニ、死人ニ對シテ特等、一等、二等ト云フヤウナ區分ヲシテ居リマス、苟モ人間ガ死ンダ以上ハ平等ニ取扱フベキモノデ、其ノ死骸ノ處分ニ對シテ等級ヲ設ケテ、營利的ニ之ヲヤラシムルコトハ、死者ニ對スル禮儀ヲ失スルコトト思ツテ居リマス、厚生省トシテハ斯フ云フ風ナ埋葬ニ等級ヲ以テ差別セシムルコトニ付テ、何カ御考ヘガアリマスカ

贊成デ、開業醫ト云フモノハ結論ニ於テハ「ブルジョア」階級ノ顧問醫ダト思ツテ居リマス、併シ日本ノ開業醫ニハ大キナ特色ガアリマス、他ノ何レノ國ニ於テモ眞似ノ出來ナイ特色ガアルノデアリマス、日本ノ開業醫程親切ナ開業醫ハ、世界中他ニナイト思ヒマス、夜中デモ何時デモ病人ヲ診ル、又開業醫ガ或ハ患者ヲ手術シ、或ハ患者ヲ診ル時ハ、殆ド神様ノ心ニナツテヤルノデアリマス、此ノ傾向ハ世界何レニモアリマセス、日本ノ開業醫ノ此ノ美風ハ、飽クマデモ尊重シナケレバナラヌ、併シサラバト言ツテ資產ノナイ、或ハ十分ノ餘裕ノナイ者ハ、現在ノ開業醫制度ノミニシテ置イタラ、實際多クノ民衆ガ困ルノデアリマス、農村ノ負債ト云フモノハ、殆ド其ノ半分以上ハ醫療費カラ來テ居リマス、殆ド中產階級以下ノ家ガ没落スルノハ、其ノ醫療費ノ多額ノ爲ニ苦シンデ居ルノデアリマス、此ノ爲ニ社會保險ノ制度モ必要デアリマセウ、少クトモ中產階級ニ於テハ、社會保險ニ悉ク這入レルヤウニ、之ヲ補ハシムルコトガ必要デアリマス、又無產階級デ、社會保險ニスラ入り得ザル階級ニ於テハ、本法ノヤウナモノヲ擴大致シマシテ、之ニ凡ユル恩典ヲ得セシムルコトガ必要ト思ツテ居リマス、私共ハ併シ出來ルナラバ現在ノ開業醫ハ、結局ハ金ノ有ル者ノ、所謂顧問醫ニ置キ、多クノ者ハ公營制度ニシテ社會保険ノ醫者デナリ、極ク貧困ナ者ハ此ノ法律ナリニ依ツテ、之ヲ補フヤウニスルコトガ、今後ノ醫藥問題ニ對スル根本ノ解決デハナイカト思ツテ居リマス、就キマシテハ此ノ法案ヲ是非擴大致シマシテ——唯餘リ擴大

此ノ用意ハ十分セシムルヤウニシテ置イテ、尙ホドウシテモ困ル者ニ對シテハ、益、之ヲ擴大致シマシテ、サウシテ一人ト雖モ病氣ノ爲ニ、醫者ニ掛ルコトノ出來ザル階級ヲ無カラシムルヤウニ、御配慮ヲ願ヒタイト思ツテ居リマス、之ヲ以テ私ノ質問ヲ終リマス

○添田委員長 杉山君

○杉山委員 委員ノ塙本君ガ急ニ家庭ノ事情デ歸省致シマシタノ代ツタ關係デ、前ノ委員諸君ノ質問ト重複スル點ガアルカモノリマセヌガ、若シサウ云フ點ガアリマシタナラバ、前ニ答ヘテアルト仰シヤツテ戴イテ結構デアリマス、簡單ニ本法案ニ對シテ質疑ヲ試ミテ見タイト存ジマス

曩ニ土屋委員ニ依ツテ、本法ノ對象者デアル被保護者ト申シマスカ、其ノ階級ハ方面委員ノ「カード」ニ載ツテ居ル階級デ第一種、第二種マデアルト云フヤウニ伺ツタノデアリマスガ、第二種「カード」階級マデアリマスカ、或ハ第三種マデアルカ、一寸他カラ聞イタ所デハ、第三種マデアルカノヤウニ聞イタノデアリマスガ、曩ニ土屋サンニ對スル御答辯ニハ、第一種マデアルト云フヤウニ伺ツタノデアリマシテ、其ノ點ヲ一ツ、ソレカラ其ノ他ニ肺病等ニ依ツテ規定ノ期日ヲ過ギテ、健康保險デ治療ヲ受ケルコトノ出來ナイ者ガ、本法ニ依ツテ其ノ對象ニナル、斯ウ云フコトモ伺ツテ居ツタノデアリマスガ、其ノ點ハ如何デゴザイマセウカ

○熊谷政府委員 御答ヘ申上グマス、先程

土屋サンノ御質問ニ御答へ申シマシタ時ハ、第一種、第二種等ト申上ゲタノデアリマシテ、第一種「カード」階級ガ九十八万、第二種ガ百八十万、準「カード」階級ガ百四十万、合計致シマシテ四百十七、八万カト思ヒマス、ソレ等ヲ對象トスル豫定デアリマス、ソレカラ健康保險法定期間満了シタ後ノ救濟ヲスルカト云フヤウナ御尋ねデアリマスガ、救濟致シタイト考ヘテ居リマス。○杉山委員・ソレデ對象者ガ分リマシタガ、ソレ等ノ階級ノ生活費調査ト云フモノガ、大體出來テ居ルノデアリマセウカ、唯曩ニ、同ヒマシタ所デハ、生活不能デアル、或ハ漸ク生活ガ出來テ醫療ノ負擔ガ出來ナイ者デアルト云フヤウナ御話ガゴザイマシタガ、醫療費ニ對シテ、普通一家ガ三十圓乃至四十圓ヲ要スル、ソレ等ノモノガ非常ニ負擔過重デアルカラ、生活安定ノ爲ニ、此ノ法案ヲ持ヘルト云フコトガ、其ノ本旨デアルヤウニ同ツテ居ルノデアリマス、其ノ生活費ト云フモノニ、醫療ニ要スル費用ノ剩餘ガアルカナイカト云フコトガ、一ツノ問題ニナツテ來ルト思フノデアリマス、モノウツハ此ノ階級ノ疾病ノ主ナルモノ、所謂要救濟ノ階級ノ疾病ノ種類ハ、ドウ云フモノガ主タルモノニナツテ居ルカ、此ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

「カード」階級ニナル、ソレカラ段々ト二人、三人、四人カラ八人位ニ至ルマデノ標準ヲ決メテアリマス、第二種ノ「カード」階級ノ者モ、一人暮シノ場合三十圓以下ト云フヤウニ、段階ヲ付ケテ取扱ヲヤツテ居ルノデアリマスガ、抽象的ニ申上ゲマスト、午前中申上ゲマシタヤウニ、第一種「カード」階級ト云フモノハ、其ノ日ノ生活ガ出來ナイ者デアリマス、第二種「カード」階級ハ、其ノ日ノ生活ハ辛ウジテヤツテ居ルケレドモ、病氣ヤ怪我ヲ致シマスト直グニ困ル、斯ウ云フヤウナ程度ノ者、準「カード」階級ハソレヨリ一寸上デアルガ、尙ホ第二種「カード」階級ニ準ジテ、イザト云フ場合ニ困ルト云フヤウナ觀念デアリマスガ、各府縣ニ依リマシテ、其ノ都市々々ノ生活費等ヲ調ベマシテ、大體ノ標準ヲ作リマシテ、ソレニ依ツテ取扱ヲシテ居ルノデアリマシテ、何レノ階級モ勿論イザトナリマスレバ、病氣ノ場合ニ直グ困ル階級デアリマス、ソレカラ只今此ノ「カード」階級ハ、如何ナル病氣ニ困ツテ居ルカト云フ御尋ネデアリマス、只今手許ニ詳細ノ統計ヲ持ツテ居リマセヌガ、一番多イノハ、特ニ「カード」階級ノミニ付テ調ベタノデハアリマセヌガ、昭和十二年ノ醫療救護ノ取扱ヒマシタ患者ニ付キマシテ——是ハ御承知ノヤウニ、ヤハリ「カード」階級ヲ取扱ツテ居ルノデアリマスガ、一番多イノハ流行性感冒、其ノ次ガ胃腸消化器系統ノ病氣ト云フ風ニ分レテ居ルノデアリマス、ソレガ主ナルモノデアリマス  
○杉山委員 今伺ツタヤウナ疾病デハ、極ク簡單ノモノノヤウデアリマスガ、私共、他ノ方面デ見テ居リマスノニハ、相當重イモ

ノガアリ、又念ノ入ツタモノも相當ニアル  
ヤウニ記憶致シテ居ルノデアリマス、例へ  
テ申シマスナラバ、肺結核ノヤウナモノ、  
或ハ其ノ他ノ疾病モ相當ニアルヤウニ思ツ  
テ居ルノデアリマスガ、其ノ點ハ何レ又伺  
フ致シマシテ、先刻清水委員ガ御尋ネ  
ナリマシタ診療券ノ問題デアリマスガ、今  
日マデノ實際ノ情勢ヲ見マスルト、手續ガ  
餘リニ煩瑣デアリ、又其ノ煩瑣ノ結果、何  
ト申シマスカ國民ノ自負心ヲ傷ケル、斯ウ  
云フ關係デ、實ハ非常ニ困ツテ居リナガラ  
貰ハナイデ居ル者ガ、相當アツタ思フノ  
デアリマス、ソコデ大體此ノ階級ガ本法ノ  
對象ニナルノダ、斯ウ云フコトガ分ツテ居  
ルナラバ、豫メ方面委員ダケデナシニ、其  
ノ家庭ニ或ハ一枚、二枚、三枚ト云フ風ニ  
適當ニ配付ラシテ、早ク診療ヲ受ケル、斯  
ウ云フヤウナ方法ヲ講ズルコトガ出來ナイ  
デアラウカ、寧ロサウ云フヤウニスルコト  
ノ方ガ、本法ノ目的ヲ達スル所以デナイカ  
ト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ對スル御  
意見ヲ御伺ヒシタイノデアリマス

キマシテハ篤ト研究致シマシテ、先づ地方  
長官ガ其ノ管内ノ要救護者ノ住居ノ分布状  
況、病氣ノ種類、罹病率等ヲ考ヘマシテ、  
其ノ管内ニドレ位ノ病氣ノ量ガアルカ、ソ  
レニ對シマシテドレグケノ醫療券ヲ發行セ  
ネバナラヌカ、其ノ各町村ニ對スル交付ヲ如  
何ナル方面、如何ナル程度ヤラナケレバナ  
ラヌカト云フコト等モ計畫的ニ立テマシテ  
出來ルダケ迅速ニ要救護者ノ手ニ入リマス  
ルヤウ、手續上ノ簡易化ト云フ點ニ重點ヲ置  
キマシテ、勅令ナリ省令ヲ作ツテ行キタイ  
ト考ヘテ居リマス

○杉山委員　ドウカ簡易ニ又欲スル時、直  
グニ得ラレル制度ニ、是非御願ヒ致シタイ  
ノデアリマス、今診療券ガ東京市ニ於テモ、  
七十五ノ種類ガ發行サレテ、其ノ手續ニ於  
テモ非常ニ迷惑ヲ、醫師會自體ガ感じ居  
ルト云フ御話デゴザイマシタノデ、此ノ際  
はト關聯致シマシテ、手續上ノ簡易化ノ問  
題トシテ、社會保險ノ整備ノ問題ヲ御伺ヒ  
シタイト思フノデアリマス

譬へテ申シマスト、健康保險ノ被保險者  
ガ、工場事業場、或ハ其ノ事業ニ使用セ  
ラル者、サウシテ一箇年ノ報酬ガ千二百  
圓ヲ超エナイモノ、斯ウ云フ被保險者ノ範  
圍ニ於テ決メラレル、サウシテ昭和十五年  
ノ契約ノ大要ハ、第一ガ人頭式契約、是ハ  
歯科醫ノ方ノ契約デアリマスガ、被保險者  
一人ニ付テ、年額ガ八十四錢三厘九毛、斯  
ウ云フコトデ決メ第三ニ診療擔當ノ歯科醫ヘ、  
普通歯科醫デモヤレルト云フコトニハナツ  
テ居ルガ、原則トシテハ保險歯科醫ガ之ヲ  
擔當スル、斯ウ云フコトニナツテ居ル、第  
三ニ被保險者ノ保険證ノ取扱ニ付テハ、診  
が完了スルマデ保險歯科醫ノ手許デ保管ス

ルガ、其ノ期間ニ於テ他ノ醫師ノ診療ヲ受ケル必要ガアル場合ニハ、療養證明書ヲ發行シテ行クヤウナ手續ニナツテ居ル、第四シタルモノヲ點數式ニ依ツテ、ソレヲ歯科醫師會ニ請求シテ、歯科醫師會カラ契約シタ金額ヲ受ケルト云フコトニナツテ居ル、ソレカラ第二ノ労働者災害扶助責任保険、是ハ御承知ノヤウニ昭和七年一月一日カラ實施サレテ居リマスガ、契約大要ハ大體健保保險ト能ク似テ居リマス、唯保険スペキ治療費ノ範圍ガ、五圓以内ハ事業主ニ於テ負擔スル、五圓ヲ超エタ金額ニ付テハ政府ニ於テ補償スル、五圓以内ノモノハ事業主又ハ請負人ニ請求シテ、五圓ヲ超過スル金額ハ政府ニ請求スル、斯ウ云フ手續ニナツテ居ツテ、此ノ方法ハ區々ニナツテ居ル、第三ニ國民健康保険ハ、御承知ノヤウニ昭和十三年七月一日カラ實施サレテ居リマスガ、此ノ契約内容ハ被保險者ガ、組合ガ町村ヲ區域トシテ設立サレタモノデアルナラバ被保險者ハ區域内ニ居住スル住民ヲ以テ組織スル、斯ウ云フ範圍ニナツテ居ル、診療範圍ハ健康保険ヨリ、多少擴大サレテ居ルヤウデアリマスガ、大體似テ居ル、診療擗當ノ歯科醫ハ町村ノ歯科醫全部ヲ以テ、診療ヲ擗當スルト云フコトガ原則ニナツテ居ルガ、希望者又ハ保険歯科醫ヲ以テスルコトモ出來ル、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、ソレカラ診療報酬ハ各組合區々デアルケレドモ、健康保険ニ依ル料金ニ、大體似テ居ルヤウデアリマス、職員健康保険ハ昭和十五年六月カラ契約サレテ居リマスガ、被保險者ノ階級ハ年收千二百圓以下ノ俸給生活者、保険契約ノ大要ハ、被保險者一部

負擔制定額ニ付キ、契約料金ハヤハリ點數式デ、大體一點ノ原價ガ十錢ト云フコトニナツテ居ル、治療ノ擔當ノ歯科醫ハ、契約ニ歯科診療ノ報酬ハ、保険歯科醫ノ診療シタルモノヲ點數式ニ依ツテ、ソレヲ歯科醫師會ニ請求シテ、歯科醫師會カラ契約シタ金額ヲ受ケルト云フコトニナツテ居ル、ソレカラ第二ノ労働者災害扶助責任保険、是ハ御承知ノヤウニ昭和七年一月一日カラ施行サレテ居リマスガ、契約大要ハ大體健保保險ト能ク似テ居リマス、唯保険スペキ治療費ノ範圍ガ、五圓以内ハ事業主ニ於テ負擔スル、五圓ヲ超エタ金額ニ付テハ政府ニ於テ補償スル、五圓以内ノモノハ事業主又ハ請負人ニ請求シテ、五圓ヲ超過スル金額ハ政府ニ請求スル、斯ウ云フ手續ニナツテ居ツテ、此ノ方法ハ區々ニナツテ居ル、第三ニ國民健康保険ハ、御承知ノヤウニ昭和十三年七月一日カラ實施サレテ居リマスガ、此ノ契約内容ハ被保險者ガ、組合ガ町村ヲ區域トシテ設立サレタモノデアルナラバ被保險者ハ區域内ニ居住スル住民ヲ以テ組織スル、斯ウ云フ範圍ニナツテ居ル、診療範圍ハ健康保険ヨリ、多少擴大サレテ居ルヤウデアリマスガ、大體似テ居ル、診療擗當ノ歯科醫ハ町村ノ歯科醫全部ヲ以テ、診療ヲ擗當スルト云フコトガ原則ニナツテ居ルガ、希望者又ハ保険歯科醫ヲ以テスルコトモ出來ル、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、ソレカラ診療報酬ハ各組合區々デアルケレドモ、健康保険ニ依ル料金ニ、大體似テ居ルヤウデアリマス、職員健康保険ハ昭和十五年六月カラ契約サレテ居リマスガ、被保險者ノ階級ハ年收千二百圓以下ノ俸給生活者、保険契約ノ大要ハ、被保險者一部

負擔制定額ニ付キ、契約料金ハヤハリ點數式デ、大體一點ノ原價ガ十錢ト云フコトニナツテ居ル、治療ノ擔當ノ歯科醫ハ、契約ニ歯科診療ノ報酬ハ、保険歯科醫ノ診療シタルモノヲ點數式ニ依ツテ、ソレヲ歯科醫師會ニ請求シテ、歯科醫師會カラ契約シタ金額ヲ受ケルト云フコトニナツテ居ル、ソレカラ被保險證ノ取扱ヘ、ヤハリ大體健保保險ト同ジヤウニ、被保險證ガ診療ノ都度新シイ事項ヲ記載ノ上、被保險者ニ返還スル、隨テ健康保險ノヤウニ被保險證ヲ何時デモ所持シテ居ル關係上、療養證明書ノ發行ヲスル煩ヒハナイ、診療報酬ノ規定ハ、ヤハリ一點何ボト、斯ウ云フ規定ニ大體ナシテ居リマス、其ノ他船員保險、政府職員共濟組合等今日六種類ノ社會保險ガ行ハレテ居リマスケレドモ、大體今概略ヲ讀ミマシタヤウニ、其ノ取扱ニ於テハ非常ニ區々デアリ、一々之ニ對シテ色々ノ調査ナドヲシテ、醫師會ナリ歯科醫師會ナリガ、其ノ所屬會員ニ對シテ診療ノ費用ノ要求額ヲ支拂ヒスル、斯ウ云フ手續ニナツテ居リマスガ、政府ノ方ニ於テ醫師會ナリ歯科醫師會ナリニ、御拂ヒニナツテ居ル斯ウ云フ社會保險ノ取扱ニ對スル補助費ト云フモノハ、非常ニ少額デアル、其ノ爲ニ事務員一人ヲ雇フコトスラモ出來ナイデ、非常ナ迷惑ヲ蒙ツテ居ル點ガアルト思フノデアリマス、サウ云フ意味合ニ於キマシテ、色々醫療ノ簡易化ヲ圖リ、手續ノ非常ナ簡易化ヲ圖ル、ソレカラ診療報酬ハ各組合區々デアルケレドモ、健康保険ニ依ル料金ニ、大體似テ居ルヤウデアリマスガ、大體似テ居ルヤウデアリマス、職員健康保険ハ昭和十五年六月カラ契約サレテ居リマスガ、被保險者ノ階級ハ年收千二百圓以下ノ俸給生活者、保険契約ノ大要ハ、被保險者一部

會バカリデナシニ、一般ノ歯科醫師會モサウデアリ、又之ヲ取扱ツテ居ル會社、或ハ屋委員カラ御話ガアリマシタケレドモ、折シテ居ル、治療ノ擔當ノ歯科醫ハ、契約ニ歯科診療ノ報酬ハ、保険歯科醫ノ診療シタルモノヲ點數式ニ依ツテ、ソレヲ歯科醫師會ニ請求シテ、歯科醫師會カラ契約シタ金額ヲ受ケルト云フコトニナツテ居ル、ソレカラ被保險證ノ取扱ヘ、ヤハリ大體健保保險ト同ジヤウニ、被保險證ガ診療ノ都度新シイ事項ヲ記載ノ上、被保險者ニ返還スル、隨テ健康保險ノヤウニ被保險證ヲ何時デモ所持シテ居ル關係上、療養證明書ノ發行ヲスル煩ヒハナイ、診療報酬ノ規定ハ、ヤハリ一點何ボト、斯ウ云フ規定ニ大體ナシテ居リマス、其ノ他船員保險、政府職員共濟組合等今日六種類ノ社會保險ガ行ハレテ居リマスケレドモ、大體今概略ヲ讀ミマシタヤウニ、其ノ取扱ニ於テハ非常ニ區々デアリ、一々之ニ對シテ色々ノ調査ナドヲシテ、醫師會ナリ歯科醫師會ナリガ、其ノ所屬會員ニ對シテ診療ノ費用ノ要求額ヲ支拂ヒスル、斯ウ云フ手續ニナツテ居リマスガ、政府ノ方ニ於テ醫師會ナリ歯科醫師會ナリニ、御拂ヒニナツテ居ル斯ウ云フ社會保險ノ取扱ニ對スル補助費ト云フモノハ、非常ニ少額デアル、其ノ爲ニ事務員一人ヲ雇フコトスラモ出來ナイデ、非常ナ迷惑ヲ蒙ツテ居ル點ガアルト思フノデアリマス、サウ云フ意味合ニ於キマシテ、色々醫療ノ簡易化ヲ圖リ、手續ノ非常ナ簡易化ヲ圖ル、ソレカラ診療報酬ハ各組合區々デアルケレドモ、健康保険ニ依ル料金ニ、大體似テ居ルヤウデアリマスガ、大體似テ居ルヤウデアリマス、職員健康保険ハ昭和十五年六月カラ契約サレテ居リマスガ、被保險者ノ階級ハ年收千二百圓以下ノ俸給生活者、保険契約ノ大要ハ、被保險者一部

會バカリデナシニ、一般ノ歯科醫師會モサウデアリ、又之ヲ取扱ツテ居ル會社、或ハ屋委員カラ御話ガアリマシタケレドモ、折シテ居ル、治療ノ擔當ノ歯科醫ハ、契約ニ歯科診療ノ報酬ハ、保険歯科醫ノ診療シタルモノヲ點數式ニ依ツテ、ソレヲ歯科醫師會ニ請求シテ、歯科醫師會カラ契約シタ金額ヲ受ケルト云フコトニナツテ居ル、ソレカラ被保險證ノ取扱ヘ、ヤハリ大體健保保險ト同ジヤウニ、被保險證ガ診療ノ都度新シイ事項ヲ記載ノ上、被保險者ニ返還スル、隨テ健康保險ノヤウニ被保險證ヲ何時デモ所持シテ居ル關係上、療養證明書ノ發行ヲスル煩ヒハナイ、診療報酬ノ規定ハ、ヤハリ一點何ボト、斯ウ云フ規定ニ大體ナシテ居リマス、其ノ他船員保險、政府職員共濟組合等今日六種類ノ社會保險ガ行ハレテ居リマスケレドモ、大體今概略ヲ讀ミマシタヤウニ、其ノ取扱ニ於テハ非常ニ區々デアリ、一々之ニ對シテ色々ノ調査ナドヲシテ、醫師會ナリ歯科醫師會ナリガ、其ノ所屬會員ニ對シテ診療ノ費用ノ要求額ヲ支拂ヒスル、斯ウ云フ手續ニナツテ居リマスガ、政府ノ方ニ於テ醫師會ナリ歯科醫師會ナリニ、御拂ヒニナツテ居ル斯ウ云フ社會保險ノ取扱ニ對スル補助費ト云フモノハ、非常ニ少額デアル、其ノ爲ニ事務員一人ヲ雇フコトスラモ出來ナイデ、非常ナ迷惑ヲ蒙ツテ居ル點ガアルト思フノデアリマス、サウ云フ意味合ニ於キマシテ、色々醫療ノ簡易化ヲ圖リ、手續ノ非常ナ簡易化ヲ圖ル、ソレカラ診療報酬ハ各組合區々デアルケレドモ、健康保険ニ依ル料金ニ、大體似テ居ルヤウデアリマスガ、大體似テ居ルヤウデアリマス、職員健康保険ハ昭和十五年六月カラ契約サレテ居リマスガ、被保險者ノ階級ハ年收千二百圓以下ノ俸給生活者、保険契約ノ大要ハ、被保險者一部

會バカリデナシニ、一般ノ歯科醫師會モサウデアリ、又之ヲ取扱ツテ居ル會社、或ハ屋委員カラ御話ガアリマシタケレドモ、折シテ居ル、治療ノ擔當ノ歯科醫ハ、契約ニ歯科診療ノ報酬ハ、保険歯科醫ノ診療シタルモノヲ點數式ニ依ツテ、ソレヲ歯科醫師會ニ請求シテ、歯科醫師會カラ契約シタ金額ヲ受ケルト云フコトニナツテ居ル、ソレカラ被保險證ノ取扱ヘ、ヤハリ大體健保保險ト同ジヤウニ、被保險證ガ診療ノ都度新シイ事項ヲ記載ノ上、被保險者ニ返還スル、隨テ健康保險ノヤウニ被保險證ヲ何時デモ所持シテ居ル關係上、療養證明書ノ發行ヲスル煩ヒハナイ、診療報酬ノ規定ハ、ヤハリ一點何ボト、斯ウ云フ規定ニ大體ナシテ居リマス、其ノ他船員保險、政府職員共濟組合等今日六種類ノ社會保險ガ行ハレテ居リマスケレドモ、大體今概略ヲ讀ミマシタヤウニ、其ノ取扱ニ於テハ非常ニ區々デアリ、一々之ニ對シテ色々ノ調査ナドヲシテ、醫師會ナリ歯科醫師會ナリガ、其ノ所屬會員ニ對シテ診療ノ費用ノ要求額ヲ支拂ヒスル、斯ウ云フ手續ニナツテ居リマスガ、政府ノ方ニ於テ醫師會ナリ歯科醫師會ナリニ、御拂ヒニナツテ居ル斯ウ云フ社會保險ノ取扱ニ對スル補助費ト云フモノハ、非常ニ少額デアル、其ノ爲ニ事務員一人ヲ雇フコトスラモ出來ナイデ、非常ナ迷惑ヲ蒙ツテ居ル點ガアルト思フノデアリマス、サウ云フ意味合ニ於キマシテ、色々醫療ノ簡易化ヲ圖リ、手續ノ非常ナ簡易化ヲ圖ル、ソレカラ診療報酬ハ各組合區々デアルケレドモ、健康保険ニ依ル料金ニ、大體似テ居ルヤウデアリマスガ、大體似テ居ルヤウデアリマス、職員健康保険ハ昭和十五年六月カラ契約サレテ居リマスガ、被保險者ノ階級ハ年收千二百圓以下ノ俸給生活者、保険契約ノ大要ハ、被保險者一部

ナ病院等ノ施設モ十分デナイコトハ、申上  
ゲルマデモナイノデアリマス、サウ云フ點  
是ハ是非必要デアラウト思ヒマス、公營ト  
ニ付キマシテ醫療設備ト云フカ、施設ト云  
カ何トカ云フ問題ヲ除キマシテモ、サウ云  
フ施設ハ益普及シテ行カナケレバナラスト  
思ツテ居リマス、ソレデ國民健康保險法ノ  
御話ガ出タノデアリマスガ、私ハ此ノ國民  
健康保險法ニ依リマシテ、其ノ健康保險組  
合ガ、各村ニ一日モ早ク出來ルコトヲ希望  
シテ居ルノデアリマス、サウシテ村民ガ一  
人残ラズ病氣ガ快クナルマデ掛リ得ルコト  
ヲ、希望シテ居ルノデアリマス、サウナリ  
マスレバ此ノ醫療方法ト云フモノモ、餘リ  
其ノ必要方ナクナルノデアリマスガ、御承  
知ノヤウニ一番初ニ出來マシタ健康保險  
ニ致シマシテモ、其ノ後出來マシタ各種ノ  
社會保險制度ニ致シマシテモ、醫療ノ期間  
ハ治ルマデデハナイノデアリマシテ半年、  
肺病ニ付キマシテハ健康保險法ナドハ一年  
ニナツテ居リマスガ、其ノ後ノ醫療ノコト  
ハ何ニモ考ヘテ居ラナイ、殊ニ農村本位ニ  
考ヘラレタ國民健康保險法ニシテモ、全村  
皆組合ニ加入シテ居ルト云フト、必ズシモ  
サウデハナイノデアリマス、ソレハ保險料  
ナ色々ノ關係モアリマセウシ、又特ニ富裕  
階級ノ者ガ入ツテナイト云フ點モアリマセ  
ウガ、兎ニ角下ノ方ノ人ガ皆殘ラズ入ツテ  
居ルカト云フト、サウデモナイ、又負擔ノ  
關係ヲ見マシテモ、御承知ノヤウニ三〇%  
ツテハ、中々掛リ得ナイト云フコトモ、考  
カラ高イ所ハ五〇%モ取ツテ居リマス、隨  
テイザト云フ場合ニ、ソレダケノ負擔ガア

得ラレルノデアリマシテ、私ハ先程申上  
ゲマシタヤウニ、國民健康保險ノソレ等ノ  
點ニ付キマシテノ改善ガ、全國的ニ行ハレ  
マシテ、斯クノ如キ醫療方法ニ依ツテヤル  
コトガ、ナクナルコトヲ希望シテ居ルヤウ  
ナ次第アリマス

ト思フノデアリマス  
○熊谷政府委員　社会保険、特ニ國民健康  
保険ニ付キマシテ、色々ト御同情ノアル御  
意見ヲ拜聽致シマシテ厚ク御禮ヲ申上ゲル  
次第デアリマス、今後トモ吾々ハ此ノ問題  
ニ付キマシテ十分ノ努力ヲナス積リデアリ

所謂所管争ヒガアツテ、折角ノ施設ト云フモノガ十分ノ機能ヲ發揮シナイ、例ヘテ申シマスルナラバ、衛生婦ト云フ名前デアツタモノガ、衛生ニ關スル事業ハ厚生省ノ所管デアツテ文部省ノヤルベキ問題デナイト云フコトカラ、名前マデモ養護婦ト云フ名前ニ

○ 杉山委員 御趣旨ノ點ハ能ク分ツタノテ  
アリマスガ、モツト早ク、モツト速カニ國  
民健康保険組合ト云フヤウナモノガ發達致  
シマスノニハ、政府ハヤハリモウ少シ助成  
ヲスル必要ガアルト思フノデアリマス、先  
程御話ノヤウナ一部負擔ノ問題ナドモ、サ  
ウ云フコトノナイヤウニ致シマスナリ、或  
ハ今一人當リ一圓、或ハ八十五錢ト云フコ  
トニ相成ツテ居ル補助費ノ如キモ、是ハア  
ノ當時ハソレデ宜カツタト存ズルノデアリ  
マスガ、モウ既ニ今日ノ圓ト云フモノノ  
購買力ノ點カラ御考へ戴キマスナラバ、ソ  
レハ非常ニ低イモノニ相成ツテ居ルト思フ  
ノデアリマス、私ハサウ云フ意味合ニ於テ  
厚生省ガ是等ノ補助費ヲモウ少シ御奮發ニ  
ナルナラバ、恐ラク國民健康保険組合ト云  
フモノハ非常ナ勢ヒデ興ルノデハナイカ、  
ソレデナクテモ今日ハ厚生省ノ豫定以上ニ  
殖エテ居ルコトハ御承知ノ通りデアル、吾々  
ガ寧ロ厚生省ノオ先棒ヲ擔イデ居ルカノ  
如ク、大藏省アタリニ色々要求ニ參ツタコ  
トモアルノデアリマスガ、是非一つ此ノ點  
ニ付テハ厚生省自體ガモウ一層ノ御盡力ヲ  
願ヒタイト共ニ、代行組合ノ如キモモウ少  
シ早クシ、又モツト簡易化シ、出來ルナラ  
バ町村或ハ都市ノ町内會ナドト云フモノデ  
モ出來ル位ニシテ行クコトガ、健康保険組  
合ヲ發達サセル所以デアルト思フノデアリ  
マス、北ノ點ニ寸テ尙示御意見ヲ伺ニタイ

マス、來年度ニ於キマシテモ相當ノ補助ハ取レテ居ルノデアリマシテ、國家財政上多端ナ折柄アノ程度デ已ムヲ得ナカツタノデハナイカト考ヘルノデアリマスガ、尙ホ今後一層努力ヲ致ス積リデアリマス  
○杉山委員 清水委員ノ要求致シマシタ資料ヲ拜見致シマスト、醫療關係ノ色々ノ新規要求ガゴザイマスガ、其ノ中ニ於テモ特ニ結核方面ニ非常ニ色々ノ要求ガアルコトヲ見マシテ、非常ニ喜バシク考ヘル者デアリマス、此處デーツ伺ヒタイ問題ハ、學校ノ結核ノ問題デアリマス、既ニ御承知ノヤウニ小學校デモ二%、或ハ三%、多イ所ハ七%、中學校ハ文部省デ調査シタモノニ依ツテモ七%幾ラ、上ヘ參リマス程其ノ率ガ高イ、斯ウ云フ狀態ニナツテ居リマス、又學校教師ノ結核罹病率ト云フモノも相當ニ高イノデアリマスガ、斯ウシタ集團生活ト肺結核トガ、非常ナ關係ガアルコトハ既ニ御承知ノ通リデアリマス、是ハ學校デアルカラ、文部省關係デアルト云フノデ捨テ置ケンコノカ、或ハ學校ニ於ケル結核ト云フモノモ、厚生省ガ之ヲ取扱ツテ行クノデアルカ、此ノ點ガ一ツデアリマス  
又サウシタ者ヲ早期診斷ヲ致シマスル學校醫、或ハ衛生婦ト云フ問題デアリマスガ、此ノ問題ナドモ曾テ伺ツタノデ、今日ハモウ既ニ解消シテ居ルカドウカ分リマセヌガ、下ウモ文部省ト厚生省トノ間ニ於テ、

○加藤政府委員　學校方面ノ結核ノ問題ハ、文部省ガ主トシテ主管ヲ致シテ居リマス、學校職員ノ療養施設デアリマストカ、校内ノ診斷等ニ要スル經費ハ、文部省所管デ要求ヲ申上ガテ居ル關係デアリマス、其ノ他ノ問題ニ付キマシテ、何カ兩省間ニ色々ナコトガアツタカノヤウナ御話デゴザイマシタガ、私共今日承知致シマス所デハ、左様ナ事柄ハ餘リ承知ヲ致シテ居ラヌノデアリマス、御話ノ通リニ是等ハ極メテ大切ナコトデアリマスカラ、ソレ等ノ點ニ遺憾ノナイヤウニ十分連絡ヲ執ツテ參リタイト考ヘテ居リマス

○杉山委員　全ク解消出來タナラバ大變結構ト思ヒマス、先年サウシタ問題ガ相當深刻ニアリマシタシ、現ニ地方ニ於キマシテハ、個々ニ私共見受ケテ居ル問題デアリマスガ、兩省能ク連絡ノ下ニオヤリ下サルト云フノデアリマスカラ、是非一つ此ノ點ヲ御盡力願ヒタタイト思ヒマス

ノモ、厚生省ガ之ヲ取扱ツテ行クノデアル  
カ、此ノ點ガ一ツアリマス  
又サウシタ者ヲ早期診斷ヲ致シマスル學  
校醫、或ハ衛生婦ト云フ問題ニアリマスガ、  
此ノ問題ナドモ曾テ伺ツタノデ、今日ハモ  
ウ既ニ解消シテ居ルカドウカ分リマセヌ  
ガ、ドウモ文部省ト厚生省トノ間ニ於テ、

構ト思ヒマス、先年サウジア問題ガ相當深刻ニアリマシタシ、現ニ地方ニ於キマシテハ、個々ニ私共見受ケテ居ル問題デアリマスガ、兩省能ク連絡ノ下ニオヤリ下サルト云フノデアリマスカラ、是非一つ此ノ點ヲ御盡力願ヒタタイト思ヒマス

○熊谷政府委員 従來ノ公立ノ癩療養所ノ全部ガ移管サレルコトニナツテ居リマス  
○杉山委員 ソレナラ大變結構デアリマス、同ジヤウナ働くヲシテ置キナガラ、一方デハ國立デアリマス爲ニ、高等カラ位階、色色ノモノヲ優遇サレテ居リマスニ拘ラズ、公立ノ人達ハ非常ニサウシタ精神的ナ待遇ノ點ニ於テ劣ツテ居ツタト思フ、是非國立ニ引直シテ貰ヒタイト云フ 非常ニ要求ガアツタノデアリマス、幸ヒニ全部移管サレルコトニナレバ非常ナ喜ビデアラウト思フノデアリマス

次ニ土屋サンガ色々御伺ヒニナツテ居リマシタガ、精神病及ビ花柳病ノ補助費ノ増加ガアリ、ソニコニ公娼ノ問題モアツタ、私ハ今日ハ其ノ問題ニ觸レヤウト思ヒマセヌガ、前ニ土屋サンノ御話ノ中ニモ、精神病ノ多クノ部分ニ黴毒ノ關係ガアル、斯ウ云フ御話ガアリ、又花柳病ノ關係ニ於キマシテ、其ノ裏ニ酒ノアルコトヲ私共ハ知ラナケレバナラスト思フノデアリマス、先般學術振興會ガ川崎市ニ於テ労働者ノ方々ノ色情染シタ、斯ウ云フコトヲ發表サレテ居ルノデアリマス、サウ致シマスト、私ハ精神病ノ居ル人ノ状態ヲ調査致シマシタ時ニ、八・七%マデハ所謂酒氣ヲ帶ビテ居ツタ時ニ感染シタ、斯ウ云フコトヲ發表サレテ居ルノデスルト云フコトニ對シテ、別段異論ヲ唱ヘル者デハナイノデアリマスケレドモ、其ノ

本源ヲ成ス、厚生省自體が民族毒デアルト  
ハツキリ申シテ居リマス所ノ酒ノ問題ニ付  
テ、モウ少シハツキリトシタ意見ガアリ、  
サウ云フ問題ニ對シテ、モウ少シハツキリ  
ト態度ヲ決メテ行クベキデヘナイカ、先程  
モ土屋サンガ、公娼廢止ト禁酒ノ問題ガ毎  
年出テ來ル、斯ウ申シマシタガ、私共ハ今日  
ノヤウナ人的資源ヲ要スル時ニソレヲ毒ス  
ル民族毒デアル、斯ウ云フコトガハツキリ  
分ルナラバ、ヤハリ之ニ對シテ徹底シタ態  
度ヲ執ルベキダ、斯ウ云フ考ヘヲ持ツテ居  
ルノデアリマシテ、議案ニ載ルカ載ラヌカ  
ハ存ジマセスケレドモ、本年モ成年ノ禁酒  
法ヲ提案致シテ居ル譯デアリマス、詰リ未  
青年禁酒法ガ出來マシテカラ、今年ハ丁  
度二十年目ニナリマシテ、ソレヲ一年ヅツ  
延バシテ行ツテ、二十五歳デ止メヨウ、斯  
ノダトカ、斯ウ云フ御考ヘガアルヤウデ  
ウ云フノガノ案デアリマシテ、ヨクアノ  
案ニ付テモ一般ノ方ガ誤解ヲ致シテ居リ  
マシテ、直グニ二十五歳マデニ擴大スル  
アリマスガ、サウデハナイ、丁度今年ハ  
アノ未青年禁酒法ガ出來テカラ二十年ニ該  
當スルノデ、今之ヲヤラナケレバ、折角今  
マデヤツテ來タモノガ中絶スル虞ガアル、  
故ニ是非ヲ連續シテ二十五歳マデ引延  
バシタイ、斯ウ云フ熱意ヲ持ツテ居ルノデ  
アリマスガ、此ノ民族毒ト稱シテ居ル所ノ  
酒ニ對シテ、厚生省ハドウ云フ態度ヲ執ル  
ノカ、或ハ民族優生ノ場合ニ、此ノ問題ニ  
關シテ研究委員會ヲ作ル、斯ウ云フコトデ  
スル形ヲ取ラレタヤウニ思フノデアリマス  
委員會ヲ御作リニナツタヤウデアリマスガ、

○加藤政府委員 禁酒ノ問題ニ付キマシテハ、度々當議會ニ於テモ御論議が重ネラレテ參ツテ居ル所デアリマス、政府當局ト致シマシテモ、此ノ問題ノ處理ニ付テハ、始終關係者ト連絡モ取り考究ヲ進メテ參ツテ居ル次第デアリマスガ、影響スル所ノ廣イ問題デモアリマスルシ、此ノ席デ直チニ彼此レト結論メイタコトヲ申上ゲルコトハ、御許シヲ願ヒタイト思ヒマスガ、段々ノ御話ニ付キマシテハ、今後尙ほ慎重ニ考究シテ参リタイト考ヘテ居リマス

○杉山委員 私モ此處デ問題ハ本法外デアリマスカラ、諄々シクハ申シマセヌガ、既ニ民族毒トシテ、ハツキリ厚生省ガ御認メニナツテ居ルノデアリマスカラ、此ノ點ニ對スル徹底シタ態度、措置ヲ是非御執リ願ヒタイト云フコトヲ申述ベテ置キマス

曩ニ榮養ノ問題デ土屋委員、川崎委員カラノ御話ガゴザイマシタガ、私ノ此ノ際御伺ヒ致シタイト思ヒマス點ハ、今日生産力ヲ擴充シナケレバナラナイ……

○添田委員長 杉山サン、成ベク醫療保護法案ニ直接關係ノアル問題ダケニシテ戴キタイ、若シ他ノ問題ナラ簡単ニ願ヒマス

○杉山委員 承知シマシタ、生産力ヲ擴充シナケレバナラナイ、ソレニハ體位ヲ向上シ話デアリマスガ、今日ノ工場ノ勞働時間ト云フモノハ非常ニ過重デアツテ、今ノヤウナ狀態デアルナラバ、短ケレバ宜シイガ、長期戰ニナレバ寧ロ體力ハ、非常ニ低下シテ來ルノデハナイカト云フコトヲ、心配致シテ居ルノデアリマス、最近ノ勞働者ノ状況

ハドウ云フヤウナ状態ニナツテ居ルカ、ソレカラ米ノ配給ノ問題デスガ、小サイ工場デ今マデ給食ヲ致シテ居ル、職工ハ下宿屋ニ居ルガ、唯泊メテ賃ツテ居ルダケダ、食事ハ工場デ食べテ居ツタ、斯ウ云フモノガ中小工場ニ澤山アルト思フノデアリマス、所ガ今度ハ一元配給ノ結果、サウ云フ給食ヲ止メルヤウニナツタ、斯ウ云フ關係デ、サウ云フ方面ニ居ル職工ガ食事ノ上ニ非常ニ困難ヲ感ジテ居ルト云フ問題ガ起ツテ居ルノデアリマスガ、是ハ農林省關係、或ハ商工省關係ト話合ノ上デ、何等カノ方法デ解決ヲ付ケルコトが出来ルノデハナイカ、或ハ労働者ニ對スル榮養食配給ノ問題ナドモ、此ノ點ニ付キマシテハ、住宅、食事ノ方面共ニ十分ノ留意ヲ拂ツテ參リタイト考マスガ、此ノ點ヲドウ云フヤウニ御取扱ヒニナルノカト云フ點ヲ伺ヒマシテ、私ノ質問ヲ打切ルコトニ致シマス

離レタコトデアリマスガ、醫療ノコトデアリマス、ソレハ前々議會以來斯ウ云フ委員會デ御願ヒ致シマシタ物理療法ニ關スル療術行爲、例ヘバ太陽光線、可視線燈ノ如キデアリマスガ、昨年末衛生局長ノ名デ地方長官ニ、其ノ療術者ノ取締ヲ緩和セラレテ、ソシテ昨年ノ十二月マデニ廢業セシムルト云フ者モ、當分ノ間之ヲ認メルコトニスルト云フ御通牒ガアリマシテ、非常ニ當業者ノミナラズ、其ノ療治ヲ受ケテ居ル者ガ、喜ンデ居ツタノデアリマスケレドモ、マダ局長ノ通牒ガ徹底ヲ致シマセヌデ、無理ニ廢業セシメラレルヤウニ、訓戒ヲ受ケタリナドシテ居リマシテ、非常ニ困ツテ居ル者ガアリマスルカラ、是ハドウカ御通牒ニ基イテ、其ノ人達ガ立ツテ行クコトが出来、又其ノ治療ヲ受ケテ居ル者ガ、非常ニ多イノデアリマスルカラ、是等ノ人々ヲ満足セシムルヤウニ、尙ホ一層御取締ノ點ニ付テノ御緩和ヲ戴キタイト云フコトヲ御願ヒ致シマス

尙ほ私ハ御願ヒヲ致シマスルケレドモ、今日醫療ノ中デモ、日本ニ於ケル物理療法ガ非常ニマダ幼稚デアルト云フコトハ、衛生局長御承知グト私共ハ信ジテ居リマス、ソレカラ又此處ニモアル通り、全國ニ醫師ノナイ村モアル、アル所デモ中々オ醫者ニ掛ルコトガ出來ナイ人ガ多イカラ、ココデスウ云フ法案ガ出來テ參ツテ居ルノデアリマス、隨テ中流以下ノ家デハ、殊ニ地方ニ於テハ醫療ヲ受クルコトガ出來ナイデ、サウシテ極ク簡単ニ、殊ニ醫療ニ掛ツテ居リマシテモ、此ノ物理療法ニ依ル者ガ多カツタリ、其ノ次ニ至ルト、オ呪ヒトカ、オ水トカ云フコトニナル譯デ、オ呪ヒヤオ水ニナルト、危険性ガ隨分伴ツテ居リマスケレドモ、按摩サンダトカ物理療法ニ依ルモノデハ、私共ノ實際ノ實驗ノ上カラハ、オ醫者サンニ賴ラナイデ、オ醫者サンノ來ルマデノ間ニ於テモ、之ヲ救助スルコトガ出來ル、實際ノ効キヲ見テ居ルト、如何ニオ役所デ御止メニナリマシテモ、之ヲヤラナケレバナラナイヤウニナツテ居ルノデス、斯ウ云フコトヲ本當ニ申上ゲナイト、御取締ガ嚴重ニナツテ參リマシテ、洵ニ困ルノデアリマス、丁度大臣モオ見エニナリマシタカラ、尙ホ大臣ノイラツシヤル所デ、一言繰返サセテ戴キマス、ソレハ此ノ物理療法ニ依ル療法ノコトニ付キマシテハ、厚生大臣ニモ其ノ人達ガ陳情ヲ致シ、私共モ亦陳情ヲ致シタ場合ガアリマスガ、日本ノ醫療ハ此處ニアリマス通り、治療ヲ受ケルコトノ出來ナイ者ガ澤山アル、ソレヲ救濟スル爲メノル場合ト、出來ナイ場合トガアリ、療術行

爲ガ非常ニ役立ツ場合ガアツテ、而モ此ノ可視線燈ニ依ルトカ、太陽光線燈ニ依ルトカ云フ者ニ對シテハ、治療ヲシテハイケナレルナラバ意義ヲナシマスケレドモ、例ヘバ「自ラノ魂」ノ如ク、新聞ニ大々的廣告ヲ出シテ賣ツテ居ツテ、ソレヲ利用シタ者ハ大變宜カツタト云フコトニナツテ居ルノデスガ、併シ私共が見タ場合ニハ、斯ウ云フ器械ヲ取扱フニ、慣レタ人ガヤリマスト非常ニ工合好クヤルノデアリマス、實際ニ於キマシテ私共工場ヲ經營シテ居リマスガ、私ノ所デハ鑄物屋、デスカラ、火ヲ澤山使ヒマス、隨テ往々ニシテ火傷ナドヲスル場合ガアル、オ醫者サンノ來ルマデニ、此ノ物理療法ニ依ツテ、其ノ火傷ヲシタ所へ三十分、一時間掛ケレバ、モウ其ノ火傷ノヒリ／＼スルノガスツカリ取レテ、後デオ醫者サンノ治療ヲ受ケルノニ、非常ニ樂ニナツテ行ク實情ガアル、サウ云フモノデアリマスル力ヲ、木村代議士、世耕代議士其ノ他ノ方々ガ、數年前カラモ此ノ議會デ申述ベラレテ、サウシテ此ノ取締ニ付テ緩和ヲシテ戴クコトニナツテ參ツテ居ル、サウンシテ其ノ療術者ヲ昨年ノ十二月限り廢業セシメラレルト云フコトニナリマシタケレドモ、更ニソレ等ヲ急激ニ廢メサセルコトニ付テ、尙ホ氣ノ毒ナ場合ガアルカラ、サウ云フ後レタ者ニ對スル爲ニ、御緩和ヲシテ戴クヤウナ通牒ガ出テ、只今御話ガアリマシタケレドモ、是ハ啻ニ今日ノ斯ウ云フ時代ニ於キマシテ、醫療ヲ受ケルコトガ出來ナイ人ガ澤山アリ、而モオ醫者サンヲ迎ヘニ行ツテモ、中々自

○添田委員長 鹽川君  
○鹽川委員 簡單ニ

致シマス、厚生省ニ於テ御制定ニナリマスル所ノ法律ハ、醫師ト密接ナ關係ノアル法令ガ非常ニ多イヤウデアリマス、併シナガラ最近ノ傾向ヲ見マスルト、ドウモ醫者ノ數ガ減ツテ來ル、大學ニシマシテモ醫科ノ志望者ハ非常ニ減少シテ居ル、或ハ高等學校ニ致シマシテモ同様デアル、サウ云フ傾向ガ續キマスレバ、ココ五年ナリ又十年ナリ先ニ於テハ、醫者ノ數ガ非常ニ減ルコトニナルト思フノデアリマス、其ノ原因ハ何處ニアルカト云フコトハ、是ハ私能ク存ジマセヌガ、兎ニ角サウ云フ現象ヲ來スト云フ事柄ハ、是ハ國民保健ト非常ナ關係ヲ持ツテ、醫療ノ普及ト云フ上ニ於テ、最モ憂慮スベキ事柄デハナイカト考ヘルノデアリマス、隨テ是ガ救濟策トシテハ、何等力御考ヘガゴザイマスルカ、或ハ陸海軍ニ於テ

ハ、委託生ト云フヤウナモノヲ募集シテ、學生時分カラ費用ヲ給與スルト云フヤウナ方法ヲ執ラレテ居リマスルガ、何等カサウ云フコトニ對シテ、對策ヲ御持チニナツテ居リマスルカドウカ、サウ云フ點ニ付テ御伺ヒヲシタイト思ヒマス

○加藤政府委員 只今ノ御尋ネデゴザイマスガ、醫者ノ數ハ私共ノ手許デ調ベマシタ所デハ、年々少シヅツヤハリ増加ヲ致シテ居リマスケレドモ、併シソレハ醫者全體ノ數ガ少シヅツ殖エテ居ルト云フ程度デアリマシテ、之ニ國家ナリ國民ノ期待スルノハ、御話ノヤウニモツト餘計欲シト云フヤウナ所ニアルノカト存ジマス、只今卒業ヲ致シマスル者ハ、年々三千數百名ヅツズツト續イテ居リマスルガ、御承知ノヤウニ臨時専門部ガ十三校出來テ居リマシテ、是ハ近ク明年度ニナリマスルト、臨時ノ學校デハアリマスルガ、十八年三月ニハ約八百八十名——千名近クノ者ガ餘計ニ卒業スルト云フヤウナコトニ相成ツテ居リマシテ、政府ト致シマシテモ、文部省アタリトモ連絡ヲ取リマシテ、醫者ノ數ニ不足ヲ來スト云フヤウナコトノナイヤウニト心掛けテ居リマス

○鹽川委員 私モ現在不足致シテ居ルト云フコトヲ申シタ譯デハアリマセヌ、唯今日ノ醫科大學等ノ志望者ガ、非常ニ減ツテ居ルト云フヤウナコトヲ聞キマス爲ニ、今後ニ於テ、或ハ五年ナリ十年ナリ先ニ於テハ、不足スルヤウナコトニナリハセヌカト云フコトヲ心配致シマシテ、御尋ネシタ譯デアリマスルガ、併シソレニ對シテハ十分ニ考慮シテ、斯カルコトノナイヤウニスルト云フ御話デアリマシテ、其ノ點ハ能ク諒承ス

ル譯デアリマス 次ニ厚生大臣ニ御伺ヒシタイト思ヒマス

○加藤政府委員 只今ノ御尋ネデゴザイマスガ、其ノ最大ノ原因ト云フモノヲ考ヘテ見マスルト、即チ日本ノ國ト云フモノハ、皆殆ド全國民ガ同ジ民族デアツテ、又殆ド國民ハ血族ト申シテモ宜イ位ニ密接ナ關係ヲ持ツテ居ル、隨ヒマシテ皇室ト云フモノハ吾々ノ總本家デアル、斯ウ云フ風ナ考ヘマシテ此ノ大和民族ト申シマスルカ、日本ノ民族ト云フモノハ、益之ヲ保存シ、愈之ヲ擴張シテ行カナケレバナラヌ、ソレニ付テハドウシテモ民族ノ純潔、即チ大和民族ニハ、他ノ血ガ入ツテ來ルコトハ、是亦念モ盛ンデアリ、國民ノ團結モ固イ、斯ウ云フコトニナルト思フノデアリマス、隨ヒマシテ此ノ大和民族ト申シマスルカ、日本ノ民族ト云フモノハ、益之ヲ保存シ、愈之ヲ擴張シテ行カナケレバナラヌ、ソレニ付テハドウシテモ民族ノ純潔、即チ大和民族ノ政策ヲ執ツテ、サウシテ愈、固有ノ日本民族ヲ殖ヤシテ行カナケレバナラヌ、幾ラ產メヨ殖ヤセヨト言ツテモ、混血兒ト云フヤウナモノハ、何處マデモ除外シテ行カナケレバナラヌ、斯フ云フ風ニ考ヘルノデアリマス、是ハ「ドイツ」ノ話ヲ聞イテモ「ヒトラー」ガ第一回ノ戰爭以後、最モ骨ヲ折ツテ居ル所ハ、即チ純然タル「ドイツ」民族ヲ殖ヤス、サウシテ民族ノ血液ヲ何處マデモ純潔ニシテ行クコトガ、非常ニ重要ナ政策ノ一ツデアルト云フ風ニ聞イテ居ルノデアリマス、サウ云フ點カラ考ヘマスルト、私ハ大和民族ト云フモノハ、益之ヲ純潔ニ保存スル必要ガアルト思フノデアリマス、然ルニ今日ノ日本ノ國運ノ發展ト云フモノハ、スルニ付キマシテハ、只今御意見中ニゴザ

云フモノヲココデ作ツテ行ク、斯フ云フヤウナ風ニ益、日本ガ對外的ノ發展ヲ致ス事法ヲ執リテ居リマス、斯フ云フヤウナコトニナリマスレバ、今マデ日本ノ國ハ島國デアツテ、即チ海ヲ以テ圍マレテ居ルカラ、民族ノ純潔ヲ保ツコトガ出來タケレドモ、併シ海外ニ發展スルコトヲ、國ノ運命トスルト云フコトニナリマスレバ、自然トソコニ他ノ民族ノ血ガ入ツテ來ルコトハ、是亦已ムヲ得ナイカト思フノデアリマス、サウ云フ點ニ付テハ是ハ一年、二年ノ問題デハ勿論ナイ、數十年或ハ國家百年ノ大計ニ關係スルコトデアリマシテ、俄カニ之ヲ改メ云フコトハ出來ナイノデアリマスルカラ、今日ニ於テ確乎タル方針ヲ立テ、或ハソレジテ法律ヲ作ツテモ宜シイシ、或ハ又國民ノ自覺ニ懇ヘテモ宜シイシ、兎ニ角何等力ノ方法ヲ執ツテ、日本民族ノ血液ノ純潔ヲ保ツテ行クコトガ必要デアラウト思ヒマス、要スルニ人間ノ思想ト言ヒ、肉體ト言ヒ、斯ウ云フヤウナモノハ、ヤハリ民族カラ生ジテ來ル所ノ、自然ノ產物デアルト思ヒマスルカラ、其ノ根本ノ民族ノ純潔ヲ保ツコトニ重キヲ置カナケレバナラヌト思フノデアリマス、斯ウ云フ點ニ付キマシテ 厚生大臣ノ御意見ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス

○金光國務大臣 民族ノ血ノ純潔ト云フ考テ居ル所ハ、即チ純然タル「ドイツ」民族ヲ殖ヤス、サウシテ民族ノ血液ヲ何處マデモ純潔ニシテ行クコトガ、非常ニ重要ナ政策ノ一ツデアルト云フ風ニ聞イテ居ルノデアリマス、サウ云フ點カラ考ヘマスルト、私ハ大和民族ト云フモノハ、益之ヲ純潔ニ保存スル必要ガアルト思フノデアリマス、然ルニ今日ノ日本ノ國運ノ發展ト云フモノハ、スルニ付キマシテハ、只今御意見中ニゴザ

云フモノヲココデ作ツテ行ク、斯フ云フヤウナ風ニ益、日本ガ對外的ノ發展ヲ致ス事法ヲ執リテ居リマス、斯フ云フヤウナコトニナリマスレバ、今マデ日本ノ國ハ島國デアツテ、即チ海ヲ以テ圍マレテ居ルカラ、民族ノ純潔ト云フ政策ノ下ニ、徹底的ニ此ノ方針ヲ執リ得ルカ、又執ルコトガ善イカズ、可能ナリヤ否ヤト云フ點ニ付テハ、外地ニ於ケル民族ト申シマスカ、住民ノコトモ考ヘ合セマシテ、微妙ナ關係モアリマスノデ、篤ト考慮ヲ要スル必要ガアルト思フノデアリマス、開闢以來三年ノ歴史、又日向朝廷時代ノ長期間ノ歴史等カラ考ヘ合ハセマシテ、大別的ニハ同ジ民族デアリマセウガ、細別的ニハ各方面カラ渡來シタ民族モゴザイマセウシ、ソレ等ガ今日ノ如ク渾然同化サレテ、茲ニ世界ニ誇ルベキ大和民族ナル偉大ナル民族ヲ形成シタト云フコトハ、吾々ノ誇リデアリマシテ、將來是マデノ歴史ト同ジヤウナ經過ヲ辿ルコトアリトスルモ、吾々ノ優性民族トシテノ發展ニ、憂慮スベキ程ノコトハ萬々アルマイトハ思ヒマスガ、併シ御意見ノ點ハ非常ニ重キヲ置カナケレバナラヌト思フノデアリマス、斯ウ云フヤウナモノハ、ヤハリ民族カラ生ジテ來ル所ノ、自然ノ產物デアルト思ヒマスルカラ、其ノ根本ノ民族ノ純潔ヲ保ツコトニ重キヲ置カナケレバナラヌト思フノデアリマス、斯ウ云フ點カラ考ヘマスルト、私ハ御意見ヲ伺フダケニシテ、是レ以上ハリトスガ、昨日來ノ御質問ヲ伺ヒマスルニ付キマシテハ、只今御意見中ニゴザ

○鹽川委員 只今厚生大臣ノ御意見ヲ伺ヒマシタガ、此ノ問題ハ全ク日本ノ異民族ニ對スル政策如何、或ハ又日滿支三國ニ關スル外交上ノ政策等ノ關係モアリマスルノデ、研究ヲ進メタイト思ヒマス、此ノ程度デ御諒承ヲ願ヒマス

○鹽川委員 只今厚生大臣ノ御意見ヲ伺ヒマシタガ、此ノ問題ハ全ク日本ノ異民族ニ對スル政策如何、或ハ又日滿支三國ニ關スル外交上ノ政策等ノ關係モアリマスルノデ、研究ヲ進メタイト思ヒマス、此ノ程度デ御諒承ヲ願ヒマス

○鹽川委員 只今厚生大臣ノ御意見ヲ伺ヒマシタガ、此ノ問題ハ全ク日本ノ異民族ニ對スル政策如何、或ハ又日滿支三國ニ關スル外交上ノ政策等ノ關係モアリマスルノデ、研究ヲ進メタイト思ヒマス、此ノ程度デ御諒承ヲ願ヒマス

アルヤウデアリマスルガ、唯吾々素人トシテ考ヘマスルト、醫者ガ診斷ヲシタカラ必ズ之ニ對シテ處方箋ヲ交付シナケレバナラヌ、貰ツタ患者ハソレヲ他ノ藥劑師ノ所ニ持ツテ行カウガ、或ハ又其ノ醫者カラ直グソコデ調剤シテ貰ハウガ、何レデモ構ハナイ、斯ウ云フ風ニ答申案ハ決メラレテ居ルサウデアリマスガ、併シ第三者トシテ公平ニ考ヘテ見マスト、是ハ強制シテ無理ニ處方箋ヲ交付シナケレバナラスト云フ必要ハ、常識上ドウシテモ考ヘ得ラレヌト思フノデアリマスガ、ドウ云フ譯デサウ云フヤウナコトニ答申案ガナサレテ居ルノデアリマスカ、門外漢ニ分リ易イヤウニ、御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

#### ○加藤政府委員 處方箋ノ發行ノ問題ニ付

キマシテハ、政府ト致シマシテハ、既ニ大臣カラモ御答ヘニナリマシタヤウニ、今後ニ於キマシテ十分ニ研究ヲ致シテ見タイト

云フ考ヘデ居ルノデアリマスガ、醫藥制度

調査會ニ於テ、ドウ云フヤウナ事由デ、ア

マシテ直接詳シコトヲ承知致シテ居ル譯デモアリマセヌガ、之ニ付キマシテハ色々議論ノ分レル所デアリマシテ、唯結論ダケ

ヲ申上ゲルコトモ如何カト思フノデアリマス、是ハ此ノ問題ノ沿革ニ鑑ミマシテモ、

又現在ノ開業醫ノ醫療ノ現狀ニ徵シマシテ

モ、左様ニスルコトガ最モ適當デアラウト

云フヤウナ、色々ノ經緯ヲ經マシタ調査會ニ於ケル慎重ナル考究ノ結果デアルト云マ

コトダケヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス

#### ○鹽川委員 帝國大學ハ入ラナイト云フヤ

ウナコトデアリマスガ、其ノ外私立醫科大學ハ入ルコトニナリマスカ

#### ○高橋政府委員 御答ヘ致シマス、私人ノ

經營致シテ居リマス大學ハ、ドウカト云フ

御話デゴザイマスガ、私人ト致シマシテハ、

只今御話ノヤウニ第五條デ主務大臣ノ認可

ヲ受ケテ事業者ニナレルノデアリマスガ、大

學病院トシテ患者ヲ取ルカ取ラヌカト云フ

問題ハ、又別ニ文部省トカ、サウ云フ關係

#### ○鹽川委員 第十三條第一項第三號ニ「性

行著シク不良ナル者」トアリマシテ、此ノ

者ハ即チ醫療ヲ受ケルコトガ出來ナイ、斯

ウ云フ風ニナツテ居リマスガ、此ノ「著シ

ク」ト云フコトハ、例ヲ舉ゲテ申シマス

ト、例ヘバ花柳病ニ罹ツタ人ト云フモノ

ハ、多クハ性行ガ不良ト見ナケレバナラス

ト思ヒマス、サウスルト花柳病ニ罹ツテ居

ル人ハ、是ハ治療ヲ受ケルコトガ出來ナ

イ、斯ウ云フ風ナコトニナリハセヌカト思

フノデアリマスガ、「著シク不良ナル者」ト

云フノハ、ドウ云フ風ナ意味デゴザイマス

カ、其ノ點ヲ御聽キシタイト思ヒマス、

○熊谷政府委員 昨日モ御質問ガアツタノ

デアリマスガ、此ノ十三條ヲ設ケマシタ趣

旨ハ、是ハ大體教育規定ト言ヒマスカ、サ

ウ云フヤウナ意味合ヲ持ツノデアリマス、

此ノ法律ヲ施行シテ行ク上ニ於キマシテ、

私共ト致シマシテハ、ドウモ怠惰ノ者ヲ養

成スルヤウナ結果ニナツタリ、或ハ濫慾ノ

弊ニ陥ルヤウナコトハ避ケネバナラヌノ

デアリマシテ、今御話ノ博奕ヲ打ツタリ、

女ヲ買ツタリ、酒ヲ飲ンダリシテ、普通ニ

良クシテ居レバ、病氣シタリシタ時ニチ

ツトモ困ラナイ人デアルニ拘ラズ、サウ云

フコトデ非常ニ金ヲ使ツテ、イザト云フ場合

ニ困ルト云フヤウナ者ニハ、シテヤラヌゾ

ナイコトモアルノダゾト云フ意味合ノ、斯

シテ考ヘマスルト、醫者ガ診斷ヲシタカラ必ズ之ニ對シテ處方箋ヲ交付シナケレバナラヌ、貰ツタ患者ハソレヲ他ノ藥劑師ノ所ニ持ツテ行カウガ、或ハ又其ノ醫者カラ直グソコデ調剤シテ貰ハウガ、何レデモ構ハナイ、斯ウ云フ風ニ答申案ハ決メラレテ居ルサウデアリマスガ、併シ第三者トシテ公平ニ考ヘテ見マスト、是ハ強制シテ無理ニ

程質問ガ濟ンデ居リマシテ、勅令ヲ以テ定ムルノハ濟生會ヲ指スノダト云フ答辯デアリマシタ

○添田委員長 鹽川君、其ノ問題ハ實ハ先程質問ガ濟ンデ居リマシテ、勅令ヲ以テ定ムルノハ濟生會ヲ指スノダト云フ答辯デアリマシタ

○鹽川委員 サウデスカ、ソレデハ宜シウゴザイマスガ、尙ホ赤十字トカ、或ハ實際ニ醫療保護ヲヤツテ居ルヤウナ各醫科大學ノ附屬病院トカ、或ハ聖路加病院トカ云フヤウナモノハ入ラナイコトニナリマスカ

○熊谷政府委員 御答ヘ申上ゲマス、御尋ネノ各大學ノ附屬病院ガ、斯ウ云フ醫療保護事業ヲヤレルカトウカニ付キマシテハ、附屬病院ガ出來マシタ性質上、一寸問題ガアルト思ヒマスガ、只今御尋ネノ聖路加病院トカ、其ノ外色々公益法人トカ、或ハ個人ノ方ガヤツテ居ラマスノハ、第五條ノ規定ニ依リマシテ、主務大臣ノ認可ヲ受ケテ、醫療保護事業ヲヤツテ戴クコトニナルノデアリマス

○鹽川委員 帝國大學ハ入ラナイト云フヤウナコトデアリマスガ、其ノ外私立醫科大學ハ入ルコトニナリマスカ

○高橋政府委員 御答ヘ致シマス、私人ノ

經營致シテ居リマス大學ハ、ドウカト云フ

御話デゴザイマスガ、私人ト致シマシテハ、

只今御話ノヤウニ第五條デ主務大臣ノ認可

ヲ受ケテ事業者ニナレルノデアリマスガ、大

學病院トシテ患者ヲ取ルカ取ラヌカト云フ

問題ハ、又別ニ文部省トカ、サウ云フ關係

○鹽川委員 其ノ問題ハソレダケニシテ置キマス

次ニ醫療保護法ノ第三條ニ「市町村及

第六類第十六號 貸家組合法案外二件委員會議錄 第五回 昭和十六年一月十三日

唯從來學用患者ト申シテ施療ヲ取ツテ居リマスガ、此ノ方面ガ今御話ノゴザイマシタ

リマスガ、勿論是ハ社會通念デ取扱フベキ問題

設ニナルカドウカノ問題ニ付キマシテハ、

更ニ文部省方面ト協議ノ上決定致シタイト

考ヘテ居リマス

○鹽川委員 第十三條第一項第三號ニ「性

行著シク不良ナル者」トアリマシテ、此ノ

者ハ即チ醫療ヲ受ケルコトガ出來ナイ、斯

ウ云フ風ニナツテ居リマスガ、此ノ「著シ

ク」ト云フコトハ、例ヲ舉ゲテ申シマス

ト、例ヘバ花柳病ニ罹ツタ人ト云フモノ

ハ、多クハ性行ガ不良ト見ナケレバナラス

ト思ヒマス、サウスルト花柳病ニ罹ツテ居

ル人ハ、是ハ治療ヲ受ケルコトガ出來ナ

イ、斯ウ云フ風ナコトニナリハセヌカト思

フノデアリマスガ、「著シク不良ナル者」ト

云フノハ、ドウ云フ風ナ意味合ヲ持ツノデアリマス

カ、其ノ點ヲ御聽キシタイト思ヒマス、

○熊谷政府委員 昨日モ御質問ガアツタノ

デアリマスガ、此ノ十三條ヲ設ケマシタ趣

旨ハ、是ハ大體教育規定ト言ヒマスカ、サ

ウ云フヤウナ意味合ヲ持ツノデアリマス、

此ノ法律ヲ施行シテ行ク上ニ於キマシテ、

私共ト致シマシテハ、ドウモ怠惰ノ者ヲ養

成スルヤウナ結果ニナツタリ、或ハ濫慾ノ

弊ニ陥ルヤウナコトハ避ケネバナラヌノ

デアリマシテ、今御話ノ博奕ヲ打ツタリ、

女ヲ買ツタリ、酒ヲ飲ンダリシテ、普通ニ

良クシテ居レバ、病氣シタリシタ時ニチ

ツトモ困ラナイ人デアルニ拘ラズ、サウ云

フコトデ非常ニ金ヲ使ツテ、イザト云フ場合

ニ困ルト云フヤウナ者ニハ、シテヤラヌゾ

ナイコトモアルノダゾト云フ意味合ノ、斯

ガ、大體ノ意味合ハ、サウ云フ意味デアリ

マス、ソレカラ「著シク不良ナル者」デアリ

マス、勿論是ハ社會通念デ取扱フベキ問題

設ニナルカドウカノ問題ニ付キマシテ、ソレ

更ニ文部省方面ト協議ノ上決定致シタイト

考ヘテ居リマス

○鹽川委員 大體醫療保護法ト云フノハ、

是ハ社會事業トシテ行フ趣旨デアルコトハ、

モウ分リ切ツタコトデアリマス、シテ見レ

バ現在病氣ニナツテ、モウ生キルカ死ヌカ

ト云フ患者ガアリマス場合ニ、是ハドウモ

昔カラ性質ガ宜クナインダ、ダカラ今生キ

ヤウト死ナウト、サウ云フコトハ構ヘナリ、

斯ウ云フコトハ言ヘル者デナイト思フノデ

アリマス、サウ云フ者ヲ救フコトコソ即チ

社会事業デアル、サウ云フ者デモヤハリ是

ハ陛下ノ赤子デアル、國民ノ一人デアル、

スウ云フコトハ言ヘル者デナイト思フノデ

アリマス、サウ云フ者ヲ救フコトコソ即チ

アル壽命アラバ何處マデモ助ケテヤリタイ、

斯ウ云フノガ即チ人情デアツテ、又此ノ法

律ヲ作ツタ精神モソコニナケレバナラスト

思フノデアリマスガ、ソレニ對シテドウ云

フヤウナ御考ヘ持ツテ居リマスカ

○熊谷政府委員 只今申上ゲマシタヤウ

ニ、十三條ノ意味ハ教育的、道徳的ノ規定

デアリマシテ、勿論死ヌルカ生キルカノ境

ニ、捨テテ置クト云フヤウナコトヲ致ス積

リハナインデアリマスケレドモ、唯日頃非

常ニ身持チガ悪クテ、相當收入ガアルノニ、

八一

ウ云フ規定ヲ置イテオクコトハ、色々指導スル上ニ於テ都合ガ好カラウ、斯ウ云フ

教育的ノ意味ニ於テ置イタ譯ニアリマス

○鹽川委員 第十三條ノ第一項第三號ト云

モノハ、是ハ教育的ノ意味デ、餘リヲ

適用スルヤウナ場合ハ極メテ稀タ、斯ウ云

フ風ニ伺ツテ宜シウゴザイマスネ

○熊谷政府委員 尚ホ説明ガ足リマセヌデ

シタガ、斯ウ云フ規定ハ救護法其ノ他ノ社

會立法ニハ皆アルノデアリマシテ、大體指

導ト云ヒマスカ、教育的ノ立法デアツテ、

其ノ運用ニ付テハ、只今ノ御意見ノ通り、

十分注意シナケレバナラヌ、斯ウ云フ風ニ

考ヘテ居リマス

○鹽川委員 斯ウ云フ醫療ヲ無料デヤルト

カ、或ハ極ク低廉ニ行フト云フヤウナ、サ

ウ云フ機關ニ於テハ、ドウシテモ患者ヲ粗

末ニ取扱フ普通ノ病人デアレバ丁寧ニ取扱

フガ、ドウシテモ此ノ醫療保護法ニ依ルモ

ノデアルトカ、或ハ健康保険法ニ依ル患者

デアルトカ云フヤウナ者ニ對シテハ、自然

トソコニ粗末ニナリ易イ、隨テ患者ハ非常

ニソレニ對シテ不平ヲ持ツト云フヤウナコ

トガ、往々ニシテ起リ易イノデアリマスガ、

サウ云フ患者ヲシテ僻ミ根性ヲ起サセルヤ

ウナコトノナイヤウニ、此ノ法律ヲ適用セ

ラレルヤウニ希望致スノデアリマス、又醫

師ノ方カラ申シマスト、此ノ保護法ナリ、

或ハ其ノ他ノ救護法ニ依ツテ、救護サレル

患者ト云フモノハ、ヤハリ一面ニ於テハ國

家ガ費用ヲ負擔スルノデアリマスガ、一面

ニ於テハ醫師ノ方モヤハリ幾分ノ負擔ヲス

ルト云フヤウナコトハ、是ハ事實免レナイ

コトト思フノデアリマス、サウ云フ關係デ

アリマスカラ、醫師ノ方ヲ非常ニ犠牲ニス

ルト云フヤウナ事柄ハ、勿論此ノ醫療救護法ノ趣旨デハナイト思フノデアリマスカラ、

サウ云フ點ニ付テモ御斟酌相成リマシテ、

或ハ既ニ前カラ行ハレテ居リマス健康保險

法ト云フヤウナ、アア云フ程度ノ保護ヲ與

ヘルヤウニ致サレタイト云フコトヲ希望致

シテ置キマス、是デ私ノ質問ヲ打切リマス

○川崎(巳)委員 審議モ午前中カラ長イ時

間續キマシタノデ、私ハ簡單ニ一點ダケ御

伺ヒ致シタイト思フノデアリマス、此ノ保

護ヲ受ケル人々ハ、醫療券ヲ貰ツテ醫者ニ

掛リ、藥ヲ無代デ貰フノデアリマスガ、其

ノ藥ハ詰リ西洋式ノ藥ダケニ限ルノカ、今

醫者ノ吳レルノハ大抵西洋式ノモノバカリ

デアルガ、此ノ方モ西洋式ノ普通ニ行ハレ

ル藥ト解シテ宜シイノデアリマスカ

○熊谷政府委員 勿論私ノ方デ西洋式ノ藥

ヲ盛レト限定スル譯デハナイノデアリマシ

テ、個々ノオ醫者サンノ判斷ニ依リマシ

テ、時ニ依ツテハ西洋式ノ藥ヲヤリマセウ

シ、時ニ依ツテハ和漢ノ藥ヲヤルコドモア

リマセウ、ソレハ醫者ニ御任セスル積リデ

アリマス

○川崎(巳)委員 ソコデ厚生大臣カラ、此

ノ場合ハツキリシタ御考ヘヲ伺ツテ置キタ

イノデアリマスガ、今ノ醫者ノヤリ方ハ、

解剖學カ何カノ西洋式ノモノモ無論結構デ

アリマスガ、此ノ藥ヲ西洋式、殊ニ鑛物性

バカリニ限ツテ行ツテ居ルガ、是ハ日本人

ノ體ニ向カナイ、西洋人ノ體ニハ向クデセ

ウガ、何千年來菜食ヲシテ育ツテ來タ日本

人ニハ向カナイ、殊ニ鑛物性ハ逆作用ガ下

ルト云フヤウナコトハ、是ハ事實免レナイ

コトト思フノデアリマス、サウ云フ

鮮カラ輸入シタモノハ、榮養藥デモ、ソレ

スウ云フ話ヲ聞イテ居ルノデアリマス、隨

リマス、過去ノ實際ニ徵シテ見マスレバ、斯

カラ治療ニ用ユル藥デモ、非常ニ良いモノガアツタノヲ、一時ノ勢ヒデ明治ノ初メ頃

西洋流ニ走ツテシマツタ、丁度思想問題ガ

個人主義、自由主義ニ行キマシタヤウニ、

シマツタ、ソコデ極端ニ走ラナイデ踏止ル

思召カラ、明治天皇ニ於カセラレテハ、

色々宮中ニ御不幸ガアリマシタ際、淺田宗

伯師ニ依リマシテ、大正天皇ヲ御健全ニ

セサセ給ウタト云フ實例モアルノデアリマス

ガ、其ノ他顯著ナ例ガ、其處ニモ此處ニ

モ澤山アルノデアリマス、今日日本のト

云フコトデ、色々精神ナドヲ引緊メヨウ

ト云フ時、此ノ藥剤ノ方デモ十分サウシ

テ行カナケレバナラスト思ヒマス、ソ

コデ厚生大臣ノ管轄下ニアリマスル厚

生科學研究所等ニ於テ、草根木皮ヲ今一應

用ユルヤウナ風ニ調査ヲサセテ居ルカドウ

カ、ソレガハツキリシナケレバ、大イニサ

セルト云フ御方針デアルカドウカ、ソレカ

ラ帝國大學ニ於キマシテモ、最近數年間和

漢藥ヲ研究スル研究費カ何カガ、計上サレ

テアルヤウニ承ツテ居リマスガ、此ノ際厚

生大臣カラ文部大臣ニ御交渉ヲ下サツテ、

其ノ方デモ漢方藥ノ研究ヲ盛ニシテ、仍テ

以テ事變ノ急ニ應ズルヤウニシテ下サル御

考ヘガアルカドウカ、ソコデ承レバ下熱劑

ノ「キニーネ」ナドガ、或ル方面カラ大量來

熱劑ハ戰地ニ於テモ不足シテ居ルト云フ、

ル筈デアツタノガ、其ノ船ニ故障ガアツテ

日本ニ來ナクナツタ、代リノモノヲ別ナ方

面カラ取ラウトシテモ取レナイ、ソコデ下

熱劑ノ助産ヲ受ケシムルニアルコトハ明カデア

リマス、過去ノ實際ニ徵シテ見マスレバ、斯

ヲ入レテ戴キタイト云フ希望ヲ持ツテ居ルノデアリマス、此ノ際厚生大臣ノ御考ヘヲ篤ト承ツテ置キタイト思ヒマス

○金光國務大臣 精神文明ニ於テハ、我ガ

國ハ世界ニ冠タル誇リヲ持ツテ居ルノデア

リマスガ、御承知ノ通り物質文明、又今御

二ノ腑分ノ法ト云フテ、猿ニ依ル解剖術等、

醫術ハ相當進歩シテ居ツタノデアリマスケ

ト云フ所カラ、漢方醫術ガ盛ニナリ、又輓

近ニハ西洋醫術ガ入ツテ參リマシテ、此ノ

方ガ進歩シタ部分モアルト思ヒマス、ソレ

ニ方ガ我ガ國ノ醫術ヨリ進歩致シテ居ル

ト云フ所カラ、漢方醫術ガ忘レラレタ傾

ニナツタ爲ニ、和漢ノ醫術ガ忘レラレタ傾

向ニアルコトハ御意見ノ通りデアリマスガ、ソレ

併シ忘レラレタ和漢醫術ノ中ニモ採ルベキ

モノガ多々アルコトハ、間違ナイト思フノ

デアリマス、殊ニ近來ハサウ云フコトガ各

方面ニ唱ヘラレテ居ルノデアリマスカラ、

此ノ點ハ大ニ研究シテ見タイト思ヒマス、

又今御話ノ和漢藥、所謂植物ヲ原料トスル

藥品等ニ付テモ、相當ノ研究ヲ致シタイト

存ジマシテ、衛生試驗所デ栽培培ノ他研

究ヲ行ヒツツアルノデアリマス、明年度ハ

特ニ豫算ヲ増加シテ、此ノ點ニ力ヲ注ギタ

イト思ヒマス、御質問ノ御趣旨ニ副フベク

「カード」階級竝ニ準「カード」階級ノ醫療竝

リマス、過去ノ實際ニ徵シテ見マスレバ、斯

トガ一番徹底スル、町醫者ニ醫療券ヲ通ジテ施療サセルノデハ、ドウモ親切ヲ缺クト云フノガ定論ノヤウデアリマス、ソコデ本法ノ第六條第二項ニ「主務大臣必要アリト認ムルトキハ事業者ニ對シ施設ノ經營ヲ命ズルコトヲ得」トアリマスガ、此ノ施設ノ經營ヲ命ズル爲ニ、今年ドノ位ノ豫算ガ目論マシテアルカ、此ノ参考書類ニ依リマスト、百五十万圓ガ醫療保護法施行ニ要スル經費トナツテ居リマスガ、其ノ中デ施設ヲ特ニ市町村等ノ團體ヲシテ行ハシムルモノニ付テ幾許ヲ見テ居ラレルカ、又年々ドレ位ノモノヲ施設サセル御積リデ計畫ヲ立テラレテ居ルノデアルカ、差當ツテ厚生省トシテハ、サウ云フ積極的ナ計畫ハ立テ居ラヌガ、市町村ガヤル場合ニハ補助ラズベク、此ノ規定ヲ運用セラレル方針デアラレルノカ、之ヲ承リタイノデアリマス、次ニ第一十條ノ關係デアリマスガ、方面委員ガ要ナル經費ヲ出シタ場合ニ於テハ、之ヲ市町村ガ負擔スルト云フ建前ニナツテ居リマス、併シ事實ハ斯ウ云フ費用ハ、事前ニ市町村ノ許可ヲ得テ行フコトガ出來ナイ場合ガ多イノデアリマス、大抵ノ場合ハ方面委員ガ自腹ヲ切ツテ、自動車ニ收容シテ運搬シリ、或ハ自分で旅費ヲ出シテ應急ノ措置ヲスルコトガ多イノデアリマス、サウスルト其ノ費用ハ全部必要ナル經費トシテ見ルコトニナリマスト、可ナリノ金額ニナルデアリマセウ、方面委員トシテハ、サナキダニ十分手抜カリノナイ方法ヲ取リタイノガ、イノガ人情デアリマス、ソコデ斯ウ云フ問題

ニ付テハ、市町村内デ斯ウ云フ場合ニハ、斯シテ欲シイト云フヤウナ内規デモ作ツテ居ツタ場合ニハ、其ノ内規ノ範圍内ニ於テハ負擔ヲ意味スルモノデアルカ、此ノ二十二條ノ適用ノ範圍ハ、ドノ程度マデノコトヲ考ヘテ居ラレルノデアルカ、ソレカラ又第十四條關係デ「他ノ事業者ノ施設若ハ適當ナル診療所、産院等ニ收容ヲ委託スルコトヲ得」トアリマスガ、此ノ場合ニ其ノ委託サレタル病院等ノ費用ヲ、治癒スルマデ全部市町村ガ負擔スルカ、サウナリマスレバ市町村ノ負擔ハ可ナリノ額ニ及ビマセウ、無論國庫ハ其ノ十二分ノ七ヲ補助シテヤルト云フコトニナツテ居リマスルカラ、十二分ノ五ヲ市町村ハ負擔スレバ宜イヤウナモノデアリマスガ、斯ウ云フ費用ガ相當ノ額ニ上リマスレバ、市町村モ困ルコトガアリハセヌカト思ヒマス、社會立法トシマシテハ、サウ云フコトヲ徹底的ニシテヤルコトガ理想デアリマスガ、當局ハドノ程度ノコトヲ考ヘテ居ラレマスカ

満ニヤツテ行キタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス、此ノ百五十万圓ト云フ豫算ハ、本法ハ大體本年ノ十月一日カラ施行スルノデ、半年分ノ豫算デアリマシテ、其ノ百五十万圓ノ豫算ノ中デ、六條ノ第一項及び第二項關係ノ補助ノ豫算ト致シマシテハ、五万二千圓ヲ見込ンデ居リマス、其ノ箇所數ハ極ク少イノデアリマシテ、創設ノ費用ハ診療所、病院共ニ二箇所、改良ノ方ガ三箇所、擴張ノ方ハ二箇所、其ノ他多少ノ豫算ヲ見込ンデ居ルノデアリマス、只今ハ申上ゲルマデモナク非常ニ物資ノ必要ナ時代デアリマシテ、斯ウ云フ方面ハ出來ルダケ既存ノ物ヲ利用シテ行キタイト考ヘテ居リマスガ、豫算ノ許シマス限り、將來段々ト擴張シテ参リタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ第二十條ノ方面委員ノ實費辨償デアリマスガ、之ニ對シマシテモ第二十二條ニ依リマシテ國庫ノ補助ガアルノデアリマス、是ハ年額一万六千圓ノ國庫ノ補助デアリマシテ、來年度ハ半年分デアリマスカラ、八千圓ト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、此ノ方面委員ノ方々ハ非常ニ忙ガシイノニ、一人デ大體平均致シマスルト、「カード」階級ノ世帶人員四十四人位受持ツテ居リマシテ、月平均六件位ノ仕事ヲヤツテ居ラレルト致シマシテ、相當ノ世話ヲ掛ケテ居ルノデアリマス、御話ノヤウニ手持チデヤツテ戴クマスノハ、只今御話ニアリマシタヤウナ實費ノ費用ニ對シマスル市町村ノ負擔トナリマシテ、是ハ大體市町村ニ於キマシテ内規ヲ

持ツテ居リマシテ、内キリデヤツテ居ルト  
云フヤウナ状況デアリマス、其ノ市町村ガ  
負擔シタ費用ニ付キマシテハ、第二十二條ニ  
ニ依リマシテ補助ヲスル、斯ウ云フコトニ  
ナツテ居ルノデアリマス、次ニ第十四條ニ  
付テノ御尋ネデアリマシタガ、是ハ事業者  
ガ入院ヲサセタイト云フ場合ニ、自分ノ病  
院ガ一杯デ入レナイト云フ場合ニ、他ノ保  
護事業ヲヤツテ居ル事業者ニ委託ガ出来ル  
ト云フヤウナ譯デアリマシテ、之ニ要シマ  
スル費用モ、本法ニ依リマシテ負擔ヲシ、  
且ツ補助モ致ス積リデ計畫シテアルノデア  
リマス

○野口委員 本醫療保護法案ニ關シマシテ  
ハ、十分ニ質疑ヲセラレタモノト考ヘラレ  
マス、仍テ此ノ程度ヲ以テ質疑ヲ打切フレ  
ンコトノ動議ヲ提出致シマス

○添田委員長 野口君ノ動議ニ御異議アリ  
マセヌカ

〔「異議ナシ」と呼ブ者アリ〕

○添田委員長 ソレデハ之ヲ以テ醫療保護  
法案ニ對スル質疑ヲ打切リマス、此ノ際暫  
時休憩ヲ致シマシテ、大臣ト各委員諸君ト  
ノ間ノ懇談會ヲ開クコトニ致シマス

午後四時二十分休憩

午後四時五十七分開議

○川崎(巳)委員 私ハ討論ニ入ルニ先ダツテ  
此ノ際厚生大臣ノ御意同ヲ確カメテ置キタ  
イ點ガゴザイマス、ソレハ引續キ開カレマ  
シタ此ノ審議ノ模様ニ依リマシテ、吾々委



シマシテモ、本法ノ法案ニ此ノ定義ヲ御規定ニナルコトガ本筋デヤナイカト思ツタカラ伺ツタノデアリマス、近頃立法技術ト言ヒマスト、此ノ種ノ法案ガ澤山ニ出テ參ルノデアリマスガ、ドウモ法律ト、ソレカラ之ニ基ク命令ノ規定スベキ對象事項ノ範圍ガ混淆サレテ居ルヤウニ思ヒマスノデ、私共ハ之ヲ頗ル遺憾ニ思ツテ居ルノデアリマス、本法ニ謂フ所ノ貸家トハ何々ヲ言フ、或ハ貸家ノ經營ヲナス者トハ何々ヲ言フト云フコトヲ此ノ法律ニ明カニセラレルコトガ、私ハ本筋デアルト思フノデアリマスガ、之ヲモシ亦命令ニ譲ツテ、サウシテ特ニ法律ニハ其ノ定義ヲ明カニセラレスト云ファウナ立法ノ方法ハ、ドウ云フ必要ニ基イテナサレルカ、斯ウ云フ習慣ト言ヒマスカ、是ハ此ノ頃ノ立法ノ習慣デアリマスガ、是ハ私ハ頗ル遺憾ニ存ズルノデアリマスガ、此ノ必要ナル事項ト云ファウナ文句ハ必要ノナイル事項ト云ファウナコトハ、此ノ種ノ立法者ノ範圍ハ命令ヲ以テ定ムト云ファウニナニ規定サレテアルノデアリマスガ、此ノ必要ナル事項ト云ファウナ文句ハ必要ノナイコトデアリマス、貸家及貸家ノ經營ヲ爲ス者ノナイコトデアル、又根本カラ申シマスサレバ、ソレデ宜シイノデアツテ、必要ナス

○中島(賢)政府委員 自己ノ名ニ於テト言ヒマスノハ、計算ニ於テドモ違フノデアリマス、自分ノ名義ヲ使ツテ、實際貸手トシテノ名ヲ出ス譯デアリマス、貸手ト云フ名ヲ出サヌデ、計算上ハ自分ノ收入トシテ懷口ニ入ツテ來ルト云フ場合モアリマセウガ、其ノ場合ハ違フノデアリマス、自分ノ名ヲ出シテ、貸手トナル場合ヲ言フノデアリマスガ、是ハ私カラウカ、サウ云フ意味ヲ以チマシテ、斯ウ云フ規定ノ仕方ヲシタノデアリマス、隨テ「關シ必要ナル事項」ハト出テ來マスノハ、サウ云フ思想カラ出テ來ル譯ナノデアリマス、デスカラ貸家ノ所有者ニアラズシテ、貸家ノ經營ヲナス者、之ヲ分ケテ居ル譯ナノデアリマスガ、貸家ノ所有者デナクシテ、貸家ノ經營ヲナスト云フノハ、經營者ト言ヘバ分ルノデアリマスガ、其ノ中ニ單純ナル差配ノ行爲ヲスルニ止マルヤウナモノハ困ルカラ、サウ云フモノヲ除カウ、ソレヲ言ヒ現ハスノニ命令ノ一つ、先刻申シマシタヤウニ法律ニハ明カニラズニ法律ニ書イタ方ガ宜シイト云フコトニ承リマスガ、ソレハ法律ニ凡ユル場合ヲ書クノハ煩瑣デアルカラ、ソレデ命令ニ譲ツタノデハナイカト思ヒマス、命令ニ譲ル命令ニ委任ヲセラルベキモノデハナイ、命令ニ委任セラルベキ事項ハ大綱ヲ法律ニ定メマシテ、其ノ細目ヲ命令ニ委任致シマシテ、法律制定ノ手續ヲ執ラズシテ、簡単ニ其ノ時代ニ合ツタヤウニ、何時デモ直シテ

○添田委員長 法制局ノ人ハ居リマセヌ、是ハ十分分ツテ居リマスノデ、其ノコトアリマス、其ノ點ニ付テ伺ツタ次第デアリマス。時間ヲ急ギマスカラ、序ニ此ノコトヲモウ一つ伺ツテ置キマスガ、此ノ命令要綱ニアリマス所ノ、今御説明ニナリマシタ貸家経営者トハ、自己ノ名ニ於テ貸家ノ貸付ヲナス者ヲ言ヒト云フ、此ノ自己ノ名ニ於テト云フコトハ、自己ノ計算ニ於テト云フノト同ジコトデアリマスカ

○中島(賢)政府委員 自己ノ名ニ於テト言ヒマスノハ、計算ニ於テドモ違フノデアリマス、自分ノ名義ヲ使ツテ、實際貸手トシテノ名ヲ出ス譯デアリマス、貸手ト云フ名ヲ出サヌデ、計算上ハ自分ノ收入トシテ懷口ニ入ツテ來ルト云フ場合モアリマセウガ、其ノ場合ハ違フノデアリマス、自分ノ名ヲ出シテ、貸手トナル場合ヲ言フノデアリマスガ、是ハ私カラウカ、サウ云フ意味ヲ以チマシテ、斯ウ云フ規定ノ仕方ヲシタノデアリマス、隨テ「關シ必要ナル事項」ハト出テ來マスノハ、サウ云フ思想カラ出テ來ル譯ナノデアリマス、デスカラ貸家ノ所有者ニアラズシテ、貸家ノ經營ヲナス者、之ヲ分ケテ居ル譯ナノデアリマスガ、貸家ノ所有者デナクシテ、貸家ノ經營ヲナスト云フノハ、經營者ト言ヘバ分ルノデアリマスガ、其ノ中ニ單純ナル差配ノ行爲ヲスルニ止マルヤウナモノハ困ルカラ、サウ云フモノヲ除カウ、ソレヲ言ヒ現ハスノニ命令ノ一つ右スルト云フヤウナコトデナクテ、ヤハリ此ノ法律デハツキリシテ置クコトガ必需要アル、而モ立法技術ノ上ニ於テ法律デハツキリスルコトガ困難デアルト云フナラバ、是ハ已ムヲ得ヌノデアリマスケレドモ、少シモ其ノ間ニ困難ナ事情ハナイ、現ニ今アナタノ方デ命令要綱デ御定メニナラウトスレバ定メル肚ハ決マツテ居ル、之ヲ法律ニ書カズニ命令ニ書クト云フコトハ――私ノ今言フコトハ實益ノナイコトデアルカラ知レマセヌカ、體系トカ云フモノガ大分亂調ニナ裁トカ、體系トカ云フモノガ大分亂調ニナツ御諒承ヲ願ヒマス

○小畠委員 法制局ノ方ハ今此處ニオイデガ、其ノ心持ハ能ク分ツテ居ルノデアリマ

行ケル、斯ウ云フ必要ノアル事柄ヲ命令ニ

讓ラレルト云フノガ、私ハ憲法ガ法律ト命

令トノ區別ヲ定メタ本旨デアラウト思フノ

ス、通常貸家ト稱セラレルモノヲ全部入レ

テ

ハイカヌ、其ノ中ニ制限シナクチヤナラ

ヌ、是ハ十分分ツテ居リマスノデ、其ノコ

トモナカツタノデアリマス、私共ノ氣持ト致

シマシテハ、狡ク構ヘルト云フ氣持ハチツ

トモナカツタノデアリマス、即チ貸家ト言

ヘバ分ツテ居ルデヤナカラウカ、是ハ大體

ニ於テ住宅ノ供給ト云フコトヲ主眼ニシテ

居リ、又經營ト云フコトヲ主眼ニシテ居ル

住宅政策ノ一ツノ現ハレナノデアリマスカ

ラ、其ノ貸家ト云フ中ニ住宅ニ關係ナイモ

ノヲ除ク必要ガアルノデハナカラウカ、專

ラ店舗ノ用ニ供セラレテ居リ、専ラ工場ノ

用ニ供セラレテ、其處ニハ人ガ住ンデ居ラ

ナイト云フヤウナノハ除ク必要ガアルカ

ラ、其ノ範圍カラ除クノダト云フコトヲ書

分ケル、貸家ト言ヘバ概念トシテ分ツテ居

ルノデヤナカラウカ、サウ云フ意味ヲ以チ

マシテ、斯ウ云フ規定ノ仕方ヲシタノデア

リマス、隨テ「關シ必要ナル事項」ハト出テ來

マスノハ、サウ云フ思想カラ出テ來ル譯ナ

ノデアリマス、デスカラ貸家ノ所有者ニア

ラズシテ、貸家ノ經營ヲナス者、之ヲ分ケ

テ居ル譯ナノデアリマスガ、貸家ノ所有者

デナクシテ、貸家ノ經營ヲナスト云フノ

ハ、經營者ト言ヘバ分ルノデアリマスガ、

其ノ中ニ單純ナル差配ノ行爲ヲスルニ止マ

ルヤウナモノハ困ルカラ、サウ云フモノヲ

除カウ、ソレヲ言ヒ現ハスノニ命令ノ一つ

ツキリスルコトガ困難デアルト云フナラ

バ、是ハ已ムヲ得ヌノデアリマスケレドモ、

少シモ其ノ間ニ困難ナ事情ハナイ、現ニ今

アナタノ方デ命令要綱デ御定メニナラウト

スレバ定メル肚ハ決マツテ居ル、之ヲ法律

ニ書カズニ命令ニ書クト云フコトハ――私

ノ今言フコトハ實益ノナイコトデアルカラ

知レマセヌカ、體系トカ云フモノガ大分亂調ニナ

裁トカ、體系トカ云フモノガ大分亂調ニナ

ツ御諒承ヲ願ヒマス

ガ、其ノ心持ハ能ク分ツテ居ルノデアリマ

デアルカ知リマセヌケレドモ、北浦サンカラ御話ノアリマシタヤウニ、アノ罰則ノ問題等ニ付キマシテモ、ドウモ議會ニ御提出ニナル所ノ法案ヲ作ラレルニ付キマシテ、其ノ準備ガ、出セバ議會ハ通ルノダト云フ所デ昔程ノ慎重サヲ缺イテ居ルノヂヤナインカ、是ハ厚生省ニ對シテノミ申上ゲルコトデハナイノデアリマスケレドモ、ドウモ今マデ本議會ニ提案ヲセラレ、既ニ通過ヲ致シテ居リマス法律案ヲ見マシテモ、一般ニ難ヲ言ヒマスナラバ、昔ノ法律ト比べ合スカラ、此ノコトヲ申上ゲルノデアリマシテ、決シテ厚生省ガ狡イ考ヘ持ツテ居ルト云フヤウナコトヲ考ヘテ居ル譯デヤナインデアリマス、一般ニドウモ立法ヲサレルニ付キマシテノ用意ガ多少粗慢ニナツテ居ル、斯様ニ考ヘタカラ申上ガタ次第アリマスソレカラ第二條ノ第一項第一號「組合員ノ貸家ノ建設ニ必要ナル土地及資材ノ取得其ノ他貸家の建設ニ關スル共同施設」ト云フモノデアリマスガ、是ハ組合其ノモノガ土地及ビ資材ノ所有權ヲ取得スルト云フコトデアルノデアリマスカ

○中島(賢)政府委員 此ノ前段ノ今御話ノ引掛リハスウ云フ風ニナルノデアリマス、必要ナル土地及資材ノ取得ニ關スル共同施設ニ付キマシテ、今御話ノアリマシタヤウニ纏メ組合ノ名ニ於テ買ツテ、ソレカラ配ツテヤルト云フコトモ出來ルヤニ考ヘテ居リマス

○小畠委員 第四條ノ「必要ナル事業」ト云フモノノ實例ヲ一ツ仰シャツテ戴キタイト思フ、誰か前ニ聽イタ方ガアリマシタラ御注意ヲ戴キタイ

○中島(賢)政府委員 是ハ實ハ次官カラノ説明ノ時ニ一例ヲ引キマシテ申上ゲマシタ

○小畠委員 ソレデハ結構デス、第五條ノ組合員ト非組合員、雙方ニ對シテ何レニモ組合ノ統制ニ從フベキコトヲ行政官廳ガ命づルコトヲ得ルト云フ規定デアリマスガ、組合ノ組合員が組合ノ統制ニ從フト云フコトハ、是ハ行政官廳ノ命令ヲ待ツマデモナク當然ノコトデアルト思フノデアリマスガ、次ニ定メラレタ罰則トノ關係カ何カデ斯ウ云フコトニナツテ居ルト思ヒマスガ、一寸御説明願ヒタイト思ヒマス

○中島(賢)政府委員 全ク其ノ通リデゴザイマス、即チ組合ガ統制ヲ設シマス場合ニハ統制規定ヲ作リマシテ、ソレニ違反シタモノニハ定款ノ定ムル所ニ依リマシテ過怠金が取ラレルコトニナリマス、所ガ過怠金ハ限度ガアリマスシ、其ノ額モ制裁ノ效果モ違フ譯デアリマス、此ノ命令ヲ發シマスト、罰則トシマシテ千圓以下ノ罰金ガ科セラレル、ソレニ依ツテ遵守ヲ强行シテ行カウ、斯ウ云フ趣旨デアリマス

○添田委員長 ソレデハ討論ニ入りマス、討論ハ通告ニ依リマシテ、野口君ニ發言ヲ許シマス

○野口委員 討論ニ入りマシタノデ私ハ茲ニ三案トモ原案ノ如ク無修正ニテ之ヲ承認スルコトニ贊意ヲ表スルコトヲ明カニ致シマス、時間モ経ツテ居リマスノデ、其ノ理由ヲ簡單ニ申述べマス、今ヤ工業日本ハ躍進更ニ躍進ヲ加ヘマシテ、所謂殷賑産業地帶ナルモノヲ形成シ、茲ニ産業戰士ハ猛烈ナル勢ヒヲ以テ集マリツツアリマス、隨テ職域ニ交通スル爲ニ「ラッシュアワー」ノ如キハ殺人交通事故トマデ言ハレテ居ル事實、殷賑産業地帶ニ於ケル各種住宅ハ、各部屋々々ハ分割サレテ、各々産業戰士ノ住居ニ充テラレテ居ルト云フヤウナ、此ノ住宅難ノ實情ヲ見マシテ、私等ハ此ノ法案ノ提案セラレマシタコトヲ喜ブノデアリマスガ、寧ロウニ考ヘテ居リマス

○中島(賢)政府委員 第一ノ登記ノ點ニアリマスガ、今度設立ノ場合ニ於テ、設立ノ要件ニ登記ハ致シマシタ、是ハ新商法ノ例

ニ倣ツタモノデアリマス、從來ハ御承知ノ如ク登記ハ總て對抗要件デアツタノデアリマスガ、新商法ノ例ニ倣ヒマシテ、茲ニ新シク十六條ノ規定ヲ置キマシテ、設立ノ要件ニナリマシタ

○中島(賢)政府委員 はテ居ルガ、得ラレヌ場合ハドウスルナツテ居ルガ、得ラレヌ場合ハドウスルナツテ居ルガ、私ハ妥當ナル所ノ同意ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス」トナツテ居ルガ、創立總會ハ生レト云フコトニナリマスガ、創立總會ハ生レル前ノ極メテ大切ノ會議デアリマスノデ、總テノ組合立法ト同ジニ此ノ點モ嚴重ニ守ラセマシテ、其ノ點ニ議ガ合ハナケレバ組合ガ出來ナイト云フ結果ニナル譯デアリマス

○小畠委員 第八條ノ登記ハ對抗要件ニナツテ居リマスガ、第十六條ノ登記ハ成立要件ニナツテ居ル、是ハ何故デアルカト云フコトト、ソレカラ第十四條ノ定數ノ同意ヲ得ルコトガ出來ナカツタ時ハドウスルノカト云フコトヲ伺ヒマス

○中島(賢)政府委員 第一ノ登記ノ點ニアリマスガ、今度設立ノ場合ニ於テ、設立ノ要件ニ登記ハ致シマシタ、是ハ新商法ノ例

シナガラ唯工業產業地帶ノミヲ考慮スルノシニアラズシテ、政治ハ即チ全體行政ヲ十シク六條ノ規定ヲ置キマシテ、設立ノ要件ニナリマシタ

○中島(賢)政府委員 はテ居ルガ、得ラレヌ場合ハドウスルナツテ居ルガ、私ハ妥當ナル所ノ住宅營團、各地域ヲ限ツテ尙ほ住宅行政ヲ積極助長セシムル所謂貸家組合法、是等ヲ通覽致シマシタ時、最モ茲ニ感ジマシタノハ、資材ノ供給ト技術勞務者ノ人的資源デアリマス、此ノ供給ニ對シマシテ、當局ニ於カレテハ管轄省デアル商工省、企畫院ト十分ナル話合が濟ミ、而シテ此ノ法案ノ實現ニ關シテハ此ノ物ガ相伴ウテ完全ニ配給セラレ得ル確信ガアルト云フ答辯ヲ得マシタ、人的資源ノ技術員ニ付テ現在ニ於テノ實情ハ、大工左官ハ工場勞働者ニ轉業シツツアル實情デアリマシテ、修繕其ノ他ニサヘ手不足ヲ來シテ居ル今日、是ダケノ大キナル計畫ガ直チ打ツタノデアリマス、此ノ技術員ノ勞務者ニ出來得ルカドウカ、先ヅ人的資源ト物的資源ノニツガ車ノ兩輪ノ如ク吾々ノ腦裡ヲ對シテハ十分ナル養成ヲ致シ、又其ノ他待遇改善ノ方法ヲ講ズルト云フ御答辯ニ接シタノデアリマス、是等ハ言フハ易ク、行フハ難キ結果ヲ生ジタ場合ニ於テハ、何ニモナラナイコトニ屬シマス、若シ是ダケノ法律が可決セラレ、日本國民ニ適用セラレル時、此ノ物的ト人的一トガ兩々相俟ツテ供給シ得ラレマシタコトヲ喜ブノデアリマスガ、政府ノ仰シヤル如キ實例ガアルコトハ勿論期待

シ、信頼ヲ致シテ居リマスガ、萬一滯滯ヲ來  
スヤウナコトガアツタ場合ニハ、大キナ騒亂  
ガ起ルベキ傾向ガアリマス、此ノ點ヲ政府  
ニ於カレテハ十分ニ御納得ノ上、更ニ強キ  
御検討ヲ加ヘ、完成セラレンコトヲ望ンデ  
已ミマセヌ、尙ホ先程川崎君ノ申シマシタ  
四ツノ要點ハ既ニ厚生大臣ノ御言明ヲ得マ  
シタ故、討論ニ於テ之ヲ詳細ニ議論スルコ  
トヲ止メマス、私等ハ川崎君ノ申シマシタ  
四ツノ論點、厚生大臣ノ言明セラレタル點、  
是等ヲ唯一路邁進、其ノ實現ヲ期シテ已ミ  
マセヌ

私ハ住宅營團ニ關シマシテ、住宅營團ガ  
建築致シマスル地點ト、勞務省ガ通勤致シ  
マスル職域ノ地點ト地理的ニ間隔ガアツタ  
場合、是ニハ餘程然ルベキ設備ガナケレ  
バナラスト思ヒマス、「ガソリン」ガ配給セ  
ラレ得ルカドウカ、特別ナル「バス」ヲ持ヘ  
ルカドウカ、更ニ又大ナキ住宅營團ニ依ツ  
テ建築セラレタル所ノ所謂住宅集團中ニ、  
教育施設、娛樂施設、運動施設ノ他ノ文化  
化施設等ヲヤハリ十分ニ加味セラレテ、勞  
務者、庶民階級ニ對スル有難キ御代ノ文化  
ニ浸サシメナケレバナラスト思フノデアリ  
マス、此ノ點ニ付テモ政府ニ於テハ十分ニ  
ソレ等ヲ考慮シ、且ツ實現スル積リデアル  
ト云フ御答辯デアリマシタカラ、吾々ハ茲  
ニ修正的意見ヲ用ヒナカツタノデアリマス  
モウーツ私ガ申上ゲタイノハ、貸家組合  
法關係ニ付キマシテ、家賃ノ統制令ニ依ツテ  
家賃ハ適正ニ統制セラルト承リマシタ  
ガ、貸家投資家ノ受ケマスル所ノ利潤ハ極  
メテ低利ナルモノデアリマス、貸家投資家  
ハ少クトモ七年間ニ於テ全部ヲ償却シ得ル  
ダケノ計畫ヲ立テテ貸家ト云フモノハ大抵

ヤルノデアリマス、只今ノ適正利潤ニ依リ  
マスル家賃統制令ニ參リマスルト、保險料、  
公租、公課、其ノ他貸家ニ關係スル諸支出  
ヲ差引キマシテ七分カ八分位ノ利廻ニナル  
ノデヤナイカト思ハレマス、サウ致シマス  
ルト年々ト腐り行ク所ノ木造建築デアリマ  
シテ、中々貸家投資家ト云フモノハ投資シ  
ナイ、私ハ憂ヒハ茲ニアルト思フノデアリ  
マス、貸家組合法ヲ以テ十分ニ監督シ、鞭  
撻シ、金融シ、助長シ——方法ハ成程立派デ  
アリマスルガ、民間ノ投資家ハ算盤デ來ル  
ノデアリマス、茲ニ利益ノ打算ガ出來ナイ  
以上ハ、如何ニ立派ナ法律ト雖モ、結局一  
戸ノ貸家モ建タナイ、斯ウ云フコトノ結論ニ  
逢着スル憂ヒガアリマス、家賃統制令ニ適  
正家賃デ參リマスト、中々貸家投資家ガ投資  
シナイ、即チ貸家ヲ中々造フナイ、斯ウ云  
フ憂ヒガ歴然ト想定シ得ラレルノデアリマ  
ス、此ノ點ヲ十分ニ政府ニ於カレテハ考慮  
シテ、資材ノ供給、其ノ他ノ便宜ヲ特別ニ  
與ヘテ、此ノ貸家投資家ヲ有利ニ導クヤウ  
ニ致サナケレバ、結局貸家組合ト云フモノ  
ハ任意設立デアリマスカラ、中々完全ナル、  
成績ヲ期待スルコトハ困難ノヤウニ見受ケ  
ラレルノデアリマス、斯クノ如キ點ヲ十分  
ニ御考慮ノ中ニ加ヘラレテ戴キタイト思フ  
ノデアリマス

○添田委員長 起立總員、仍テ各案トモ原  
案ノ通り可決ヲ致シマス(拍手)  
此ノ場合御挨拶ヲ致シマス、此ノ三法案  
ガ本特別委員會ニ付議セラレマシテ以來、  
私ハ身不肖デアルニ拘リマセズ、皆様ノ格  
別ノ御援助ニ依リマシテ大過ナク終了ヲ告  
ゲマシタコトヲ深ク感謝スル次第デアリマ  
ス、尙ホ此ノ會議ニ於キマシテハ、期日ハ  
短クアリマシタケレドモ、此ノ期間ニ於テ  
皆様ガ極メテ熱心ナル態度ヲ以テ眞摯ナル  
御質問ヲ重ねラレテ、極メテ圓満裡ニ是ガ  
解決致シマシタコトモ、併セテ深ク感謝ノ  
意ヲ表スル次第デアリマス、之ヲ以テ散會  
致シマス(拍手)

午後五時四十一分散會

昭和十六年一月十四日印刷

昭和十六年一月十四日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局